

平成 25 年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
平成 25 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	6
(4) 都市計画税の用途	8
(5) 全会計市債等現在高	8
(6) 平成 25 年度 普通会計決算状況調書	9
(7) 普通会計における財務書類 4 表	11
部門別決算成果概要	
1 市長公室	16
2 政策経営部.....	26
3 総務部	33
4 市民環境部.....	41
5 健康福祉部.....	79
6 建設部	165
7 都市整備部.....	183
8 上下水道部.....	199
9 消防本部	204
10 教育部	208
11 その他	250
議会事務局	250
選挙管理委員会事務局	251
監査委員事務局	252
公平委員会事務局	252
固定資産評価審査委員会事務局	253
農業委員会事務局	254
12 用品調達基金運用状況表	255

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第 5 項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模並びに総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業、飲料水供給施設事業の各特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、平成 25 年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

平成 25 年度の決算概要

平成 25 年度各会計歳入歳出決算の状況は、（１）各会計決算額のとおりとなっている。

また、平成 25 年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から 5,321 万 2 千円（ 0.2%）の減額となった。また、国庫支出金は、地域の元気臨時交付金や災害復旧の影響などにより、前年度から 12 億 5,526 万 3 千円（13.3%）の増額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、民生費が 8 億 2,517 万 9 千円（3.3%）の増額となり、教育費が宇治黄檗学園整備事業の影響などにより、6 億 9,963 万 2 千円（ 10.4%）の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、職員給与の影響などにより、前年度から 1 億 1,273 万 9 千円（ 1.0%）の減額、扶助費は、前年度から 4 億 4,144 万 1 千円（2.8%）の増額、公債費は、前年度から 2 億 4,128 万 9 千円（4.7%）の増額となり、義務的経費全体で、前年度から 5 億 6,999 万 1 千円（1.8%）の増額となった。なお、豪雨災害などの影響により、災害復旧事業費は、前年度から 6 億 9,334 万 5 千円（65.4%）の増額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成 25 年度	60,908,826	60,291,828	616,998	306,467	310,531	31,077
	平成 24 年度	59,945,736	58,926,639	1,019,097	677,489	341,608	22,952
	差引	963,090	1,365,189	402,099	371,022	31,077	8,125
国民健康保険 事業特別会計	平成 25 年度	20,721,574	20,079,288	642,286	0	642,286	81,488
	平成 24 年度	20,019,651	19,295,877	723,774	0	723,774	292,180
	差引	701,923	783,411	81,488	0	81,488	373,668
後期高齢者医療 事業特別会計	平成 25 年度	2,238,252	2,227,675	10,577	0	10,577	66,682
	平成 24 年度	2,177,146	2,099,887	77,259	0	77,259	9,913
	差引	61,106	127,788	66,682	0	66,682	76,595
介護保険事業 特別会計	平成 25 年度	12,373,086	12,040,700	332,386	0	332,386	54,088
	平成 24 年度	11,643,848	11,365,550	278,298	0	278,298	137,406
	差引	729,238	675,150	54,088	0	54,088	83,318
墓地公園事業 特別会計	平成 25 年度	63,437	63,437	0	0	0	0
	平成 24 年度	59,435	59,435	0	0	0	0
	差引	4,002	4,002	0	0	0	0
簡易水道事業 特別会計	平成 25 年度	477,024	476,882	142	142	0	0
	平成 24 年度	337,620	337,507	113	113	0	0
	差引	139,404	139,375	29	29	0	0
飲料水供給施設 事業特別会計	平成 25 年度	10,606	10,476	130	130	0	0
	平成 24 年度	6,567	6,567	0	0	0	0
	差引	4,039	3,909	130	130	0	0
公共下水道 事業特別会計	平成 25 年度	8,326,822	8,286,699	40,123	40,123	0	0
	平成 24 年度	7,210,204	7,139,103	71,101	71,101	0	0
	差引	1,116,618	1,147,596	30,978	30,978	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	平成 25 年度	3,904,554	3,888,163	16,391	/		
	平成 24 年度	3,751,416	3,754,498	3,082			
	差引	153,138	133,665	19,473			
水道事業会計 (資本的収支)	平成 25 年度	250,132	796,374	546,242			
	平成 24 年度	151,442	752,159	600,717			
	差引	98,690	44,215	54,475			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	25年度決算額 (千円)	構成比 (%)	24年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	23,265,709	38.3	23,318,921	39.0	53,212	0.2
うち個人市民税	9,794,884	16.1	9,936,094	16.6	141,210	1.4
うち法人市民税	1,284,237	2.1	1,277,874	2.1	6,363	0.5
うち固定資産税	9,171,016	15.1	9,201,084	15.4	30,068	0.3
地方譲与税	349,740	0.6	366,311	0.6	16,571	4.5
利子割交付金	85,213	0.1	92,324	0.2	7,111	7.7
配当割交付金	134,163	0.2	71,904	0.1	62,259	86.6
株式等譲渡所得割交付金	211,779	0.3	17,667	0.0	194,112	1,098.7
地方消費税交付金	1,629,493	2.7	1,643,501	2.7	14,008	0.9
ゴルフ場利用税交付金	25,933	0.0	33,531	0.1	7,598	22.7
自動車取得税交付金	129,695	0.2	151,283	0.2	21,588	14.3
地方特例交付金	166,821	0.3	177,468	0.3	10,647	6.0
地方交付税	6,845,925	11.3	6,652,874	11.1	193,051	2.9
普通交付税	6,379,408	10.5	6,004,046	10.0	375,362	6.3
特別交付税	466,517	0.8	648,828	1.1	182,311	28.1
交通安全対策特別交付金	33,720	0.1	35,932	0.1	2,212	6.2
分担金及び負担金	902,425	1.5	854,644	1.4	47,781	5.6
使用料	1,361,881	2.2	1,362,431	2.3	550	0.0
手数料	138,939	0.2	138,992	0.2	53	0.0
国庫支出金	10,694,078	17.6	9,438,815	15.8	1,255,263	13.3
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	66,053	0.1	69,517	0.1	3,464	5.0
府支出金	4,892,882	8.0	4,709,714	7.9	183,168	3.9
財産収入	51,824	0.1	84,345	0.1	32,521	38.6
寄付金	141,678	0.2	98,990	0.2	42,688	43.1
繰入金	246,439	0.4	1,101,034	1.8	854,595	77.6
繰越金	1,019,097	1.7	573,767	1.0	445,330	77.6
諸収入	2,799,194	4.6	2,798,790	4.7	404	0.0
地方債	5,635,500	9.3	6,045,300	10.1	409,800	6.8
うち臨時財政対策債	3,691,300	6.1	2,909,400	4.9	781,900	26.9
歳入合計	60,828,181	100.0	59,838,055	100.0	990,126	1.7
うち一般財源等	38,606,788	63.5	38,658,935	64.6	52,147	0.1
うち経常一般財源等	31,211,095	51.3	30,709,298	51.3	501,797	1.6

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	25年度決算額 (千円)	構成比 (%)	24年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	450,971	0.8	465,085	0.8	14,114	3.0
総務費	5,261,771	8.7	4,946,268	8.4	315,503	6.4
民生費	26,125,369	43.4	25,300,190	43.0	825,179	3.3
衛生費	4,043,728	6.7	4,033,972	6.9	9,756	0.2
労働費	85,361	0.1	107,873	0.2	22,512	20.9
農林水産業費	268,411	0.5	294,449	0.5	26,038	8.8
商工費	1,848,937	3.1	1,853,558	3.2	4,621	0.2
土木費	6,753,700	11.2	6,832,490	11.6	78,790	1.2
消防費	2,183,436	3.6	2,030,706	3.4	152,730	7.5
教育費	6,025,876	10.0	6,725,508	11.4	699,632	10.4
災害復旧費	1,753,161	2.9	1,059,816	1.8	693,345	65.4
公債費	5,410,332	9.0	5,169,043	8.8	241,289	4.7
歳出合計	60,211,053	100.0	58,818,958	100.0	1,392,095	2.4

性質別決算状況

	25年度決算額 (千円)	構成比 (%)	24年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	11,184,066	18.6	11,296,805	19.2	112,739	1.0
物件費	5,494,838	9.1	5,586,015	9.5	91,177	1.6
維持補修費	656,754	1.1	663,820	1.1	7,066	1.1
扶助費	16,240,788	26.9	15,799,347	26.9	441,441	2.8
補助費等	4,235,044	7.0	4,796,945	8.2	561,901	11.7
公債費	5,410,332	9.0	5,169,043	8.8	241,289	4.7
積立金	387,087	0.7	116,591	0.2	270,496	232.0
投資及び出資金	19,441	0.0	4,900	0.0	14,541	296.8
貸付金	2,383,451	4.0	2,417,215	4.1	33,764	1.4
繰出金	6,672,698	11.1	6,511,750	11.0	160,948	2.5
普通建設事業費	5,773,393	9.6	5,396,711	9.2	376,682	7.0
災害復旧事業費	1,753,161	2.9	1,059,816	1.8	693,345	65.4
歳出合計	60,211,053	100.0	58,818,958	100.0	1,392,095	2.4
うち義務的経費	32,835,186	54.5	32,265,195	54.9	569,991	1.8
経常的経費	46,990,937	78.0	45,781,924	77.8	1,209,013	2.6

ウ 財政構造

平成 25 年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去 3 カ年平均）は 0.755（24 年度 0.789）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は 0.9%（24 年度 1.0%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は 92.9%（24 年度 91.4%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は 91.3%（24 年度 90.6%）

エ 基金現在高

基金全体の平成 25 年度末現在高（普通会計）は、79 億 4,161 万 3 千円で、前年度から 1 億 7,425 万 2 千円の増加となった。繰入については、公共施設等整備基金を 2 億 957 万 3 千円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に 2 億 1,645 万 4 千円、減債基金に 3,826 万円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に 6,815 万 7 千円を積み立てた。また、市民からの寄付金を原資とし、本市の図書館における図書等の整備を行うため、図書館図書等整備基金を創設し、2,850 万円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は 14 億 1,897 万 6 千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
公共施設等整備基金	209,573	河川改修事業	7,537
		排水路改良事業	85,036
		公園バリアフリー整備事業	5,000
		消防機械器具整備事業	5,000
		中学校雨水流出抑制対策事業	50,000
		宇治中学校改築事業	57,000
国際交流基金	164	カムループス市交流促進事業	164
文化事業基金	1,670	文化センター文化事業補助金	1,670
ふるさと創生基金	2,676	源氏物語ミュージアム企画展示	2,676
地域福祉振興基金	4,004	一人暮らし高齢者給配食サービス補助金	4,004
社会福祉事業基金	551	在宅要援護老人対策事業	551
母子福祉基金	90	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	90
玉井高齢者福祉事業基金	137	在宅要援護老人対策事業	137
高齢者活動基金	664	高齢者活動事業	365
		生涯学習センター高齢者活動事業	299
篤志者奨学基金	80	奨学資金貸与	80
国際ソロプチミスト宇治 交通遺児奨学基金	40	交通遺児激励事業	40
スポーツ振興基金	5,531	スポーツ振興基金活用事業	5,135
		全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	396
中小企業振興基金	435	中小企業振興対策事業	435
大気質測定基金	16,883	自動車排出ガス監視測定局運営事業	16,883
交通安全事業基金	219	交通安全対策事業	219
火災予防等事業基金	159	火災予防等事業基金活用事業	159
ふるさと応援基金	500	源氏ろまん事業	500
合計	243,376		

オ 地方債現在高

平成 25 年度末における地方債の現在高は 451 億 5,444 万 6 千円となり、前年度から 8 億 353 万 1 千円の増加となった。発行額は、一般債が 19 億 4,420 万円、特例債である臨時財政対策債が 36 億 9,130 万円で、総額 56 億 3,550 万円となり、前年度から 4 億 980 万円の減額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成 19 年 6 月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成 19 年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の 4 つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4 つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第 5 条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	25年度 決算	24年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	-	-	11.64%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標(一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率)
連結実質赤字比率	-	-	16.64%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標(全会計の赤字の標準財政規模に対する比率)
実質公債費比率	3.1%	3.5%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標(一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率)
将来負担比率	-	-	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標(一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率)

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「-」で表示している。

将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「-」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	25年度決算	24年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.0%
簡易水道事業特別会計	-	-	20.0%
公共下水道事業特別会計	-	-	20.0%

資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「-」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

平成 25 年度に実施した都市計画税充当対象事業費 30 億 335 万 6 千円（下水道事業含む）に対して、都市計画税 16 億 4,844 万 7 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	大久保駅周辺地区整備	3,202
	府営事業負担金	5,257
下水道事業	下水道事業	264,255
その他事業	名木川改修 他	33,880
公債費（下水道事業分含む）		1,341,853
合 計		1,648,447

(5) 全会計市債等現在高

	25 年度末 (千円)	24 年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	92,549,549	91,205,206	1,344,343	1.5
一般会計	45,903,794	45,128,824	774,970	1.7
墓地公園事業特別会計	60,150	72,781	12,631	17.4
簡易水道事業特別会計	936,075	625,000	311,075	49.8
飲料水供給施設事業特別会計	45,904	44,771	1,133	2.5
公共下水道事業特別会計	40,986,540	40,544,492	442,048	1.1
水道事業会計	4,617,086	4,789,338	172,252	3.6

(6) 平成25年度 普通会計決算状況調査

262048	宇治市
市町村類型	- 1

(単位:千円)

人口	国調	22年	189,609人	0.0%	面積		67.55km ²	産業構造	交付税種地			- 5	
		17年	189,591人	0.3%	人口密度	22国調	2,807人/km ²		22国調	第1次	第2次	第3次	
		12年	189,112人	2.3%		17国調	2,807人/km ²			496人	20,332人	55,538人	
	住基	H26.3.31	191,267人	0.5%	人口集中地区人口	22国調	185,499人	17国調	0.6%	26.6%	72.7%		
		H25.3.31	192,188人	1.1%		17国調	185,370人		533人	24,219人	59,560人		
		H24.3.31	190,158人	0.2%	世帯数	H26.3.31	81,449世帯	0.6%	27.9%	68.6%			

区分		平成25年度	平成24年度	増減率	区分	平成25年度	平成24年度
歳入総額	A	60,828,181	59,838,055	1.7%	財政力指数(単年/3力年)	0.739	0.755
歳出総額	B	60,211,053	58,818,958	2.4%	歳出決算倍率	1.762	1.735
歳入歳出差引(A-B)	C	617,128	1,019,097	39.4%	実質収支比率	0.9 %	1.0 %
翌年度に繰り越すべき財源	D	306,597	677,489	54.7%	経常一財等比率	91.3 %	90.6 %
実質収支(C-D)	E	310,531	341,608	9.1%	公債費負担比率	13.3 %	13.1 %
単年度収支	F	31,077	22,952	35.4%	公債費比率(単年/3力年)	8.0%	8.1%
積立金	G	205,405	6,815	2914.0%	起債制限比率(単年/3力年)	5.8%	5.9%
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率	132.1 %	130.9 %
積立金取崩し額	I	0	740,000	皆減	実質債務残高比率	142.5 %	144.0 %
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	174,328	756,137	123.1%	経常収支比率	92.9 %	91.4 %
基準財政収入額		18,037,391	18,709,599	3.6%	経常収支比率(臨財・減税除)	103.9 %	103.5 %
基準財政需要額		24,416,799	24,713,645	1.2%	健全化判断比率	平成25年度	平成24年度
標準税収入額等		23,399,911	24,177,298	3.2%	実質赤字比率	-	-
標準財政規模		34,170,629	33,893,796	0.8%	連結実質赤字比率	-	-
地方債現在高		45,154,446	44,350,915	1.8%	実質公債費比率(単年/3力年)	2.3%	3.1%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		3,551,137	4,469,664	20.6%	将来負担比率	-	-

一般職の状況(H26.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし			
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	京都市		
一般職員	38.23 歳	837 人	302,254 円	市長	1,065,000 円	H21.12.1より			城南衛生管理組合	淀川木津川水防事務組合
教育公務員	44.16 歳	32 人	352,231 円	副市長	885,000 円	"			京都府自治会館管理組合	京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合
消防関係職員	38.02 歳	208 人	317,892 円	教育長	775,000 円	"			京都府後期高齢者医療広域連合	京都府後期高齢者医療広域連合
技能労務職員	41.38 歳	191 人	312,527 円	議長	635,000 円	H15.12.1より			京都府後期高齢者医療広域連合	京都府後期高齢者医療広域連合
臨時職員	-	-	-	副議長	585,000 円	"			京都府後期高齢者医療広域連合	京都府後期高齢者医療広域連合
合計	38.82 歳	1,268 人	307,628 円	議員	535,000 円	"			京都府後期高齢者医療広域連合	京都府後期高齢者医療広域連合
ラスパイレース指数(H25.4.1)			109.0				京都府後期高齢者医療広域連合	京都府後期高齢者医療広域連合		

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,446,466	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
21,411,475	6,158,113	9,864,290	減債	2,011,206	国保特会	20,721,574	20,079,288	1,263,730
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,418,976	後期高齢特会	2,238,252	2,227,675	373,341
0	7,720,568	45,154,446	退職手当	11,329	介護特会	12,373,086	12,040,700	1,691,760
減収補てん債	臨時財政対策債	その他	3,472,612	簡水特会	476,911	476,882	57,271	
発行額	0	発行額	3,691,300	合計	9,360,589	下水特会	8,314,038	8,345,016
								1,913,521

(単位:千円・%)

歳入						歳出(性質別)						
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比		区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常 収支比率	
地方税	23,265,709	38.3	21,617,262	69.3		人件費	11,184,066	18.6	10,213,499	9,861,279	28.3	
地方譲与税	349,740	0.6	349,740	1.1		うち職員給	7,669,486	12.7	6,912,350	6,826,501	19.6	
利子割交付金	85,213	0.1	85,213	0.3		扶助費	16,240,788	26.9	4,935,755	4,913,175	14.1	
配当割交付金	134,163	0.2	134,163	0.4		公債費	5,410,332	9.0	5,118,395	5,118,395	14.7	
株式等譲渡所得割交付金	211,779	0.3	211,779	0.7		元利償還金	5,377,803	8.9	5,085,866	5,085,866	14.6	
地方消費税交付金	1,629,493	2.7	1,629,493	5.2		一借利子	32,529	0.1	32,529	32,529	0.1	
ゴルフ場利用税交付金	25,933	0.0	25,933	0.1		(義務的経費計)	32,835,186	54.5	20,267,649	19,892,849	57.1	
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0.0		物件費	5,494,838	9.1	4,367,714	3,884,191	11.1	
自動車取得税交付金	129,695	0.2	129,695	0.4		維持補修費	656,754	1.1	637,437	637,437	1.8	
地方特例交付金	166,821	0.3	166,821	0.5		補助費等	4,235,044	7.0	3,789,815	3,199,401	9.2	
地方交付税	6,845,925	11.3	6,379,408	20.5		うち一組負担金	1,733,881	2.9	1,733,881	1,404,531	4.0	
普通交付税	6,379,408	10.5	6,379,408	20.5		積立金	387,087	0.7	286,283	-	-	
特別交付税	466,517	0.8	-	-		投・出・貸付金	2,402,892	4.0	10,075	134	0.0	
小計	32,844,471	54.0	30,729,507	98.5		繰入金	6,672,698	11.1	5,850,632	4,823,960	13.8	
交通安全対策特別交付金	33,720	0.1	33,720	0.1		前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額		
分担金及び負担金	902,425	1.5	0	0.0		投資的経費	7,526,554	12.5	2,780,055	38,606,788		
使用料	1,361,881	2.2	353,122	1.1		うち人件費	131,509	0.2	115,153	経常一般財源等		
手数料	138,939	0.2	0	0.0		普通建設	5,773,393	9.6	2,407,159	31,211,095		
国庫支出金	10,694,078	17.6	-	-		補助	2,694,684	4.5	352,252	臨時一般財源等		
国有提供施設等交付金	66,053	0.1	66,053	0.2		単独	2,978,942	4.9	2,044,640	7,395,693		
府支出金	4,892,882	8.0	-	-		府営事業負担金	99,767	0.2	10,267	経常経費充当一財等		
財産収入	51,824	0.1	28,079	0.1		災害復旧	1,753,161	2.9	372,896	32,437,972		
寄付金	141,678	0.2	-	-		歳出合計	60,211,053	100.0	37,989,660			
繰入金	246,439	0.4	-	-		歳出(目的別)						
繰越金	1,019,097	1.7	-	-		区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等		
諸収入	2,799,194	4.6	614	0.0		議会費	450,971	0.8	0	450,971		
地方債	5,635,500	9.3	-	-		総務費	5,261,771	8.7	696,720	4,639,194		
歳入合計	60,828,181	100.0	31,211,095	100.0		民生費	26,125,369	43.4	1,123,042	12,283,145		
市町村税の状況						衛生費	4,043,728	6.7	64,522	3,703,508		
						労働費	85,361	0.1	0	17,226		
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	268,411	0.5	30,598	217,147	
	市民税	個人均等割	252,805	1.1	0.1	252,749	-	商工費	1,848,937	3.1	1,278	415,412
		所得割	9,542,079	41.0	1.5	10,360,388	-	土木費	6,753,700	11.2	1,527,027	4,552,490
		法人均等割	359,724	1.6	4.5	336,403	59,323	消防費	2,183,436	3.6	295,210	1,917,703
		法人税割	924,513	4.0	2.6	-	150,311	教育費	6,025,876	10.0	2,034,996	4,301,573
	固定資産税	9,171,016	39.4	0.3	8,894,477	-	災害復旧費	1,753,161	2.9	-	372,896	
	うち純固定資産税	9,070,452	39.0	0.3	-	-	公債費	5,410,332	9.0	-	5,118,395	
	軽自動車税	216,607	0.9	2.9	220,417	-	諸支出金	0	0.0	0	0	
	市町村たばこ税	1,150,518	4.9	10.6	1,133,580	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0	
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	合計	60,211,053	100.0	5,773,393	37,989,660	
	計	21,617,262	92.9	0.2	21,198,014	209,634	市税収入率					
目的税	都市計画税	1,648,447	7.1	0.3	-	-	うち市民税	うち資産税		合計		
	計	1,648,447	7.1	0.3	-	-	現年	98.58%	98.17%	98.45%		
合計	23,265,709	100.0	0.2	21,198,014	209,634	合計	94.50%	93.90%	94.42%			

(7) 普通会計における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類の作成を行っている。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常行政コスト」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分を計上している。

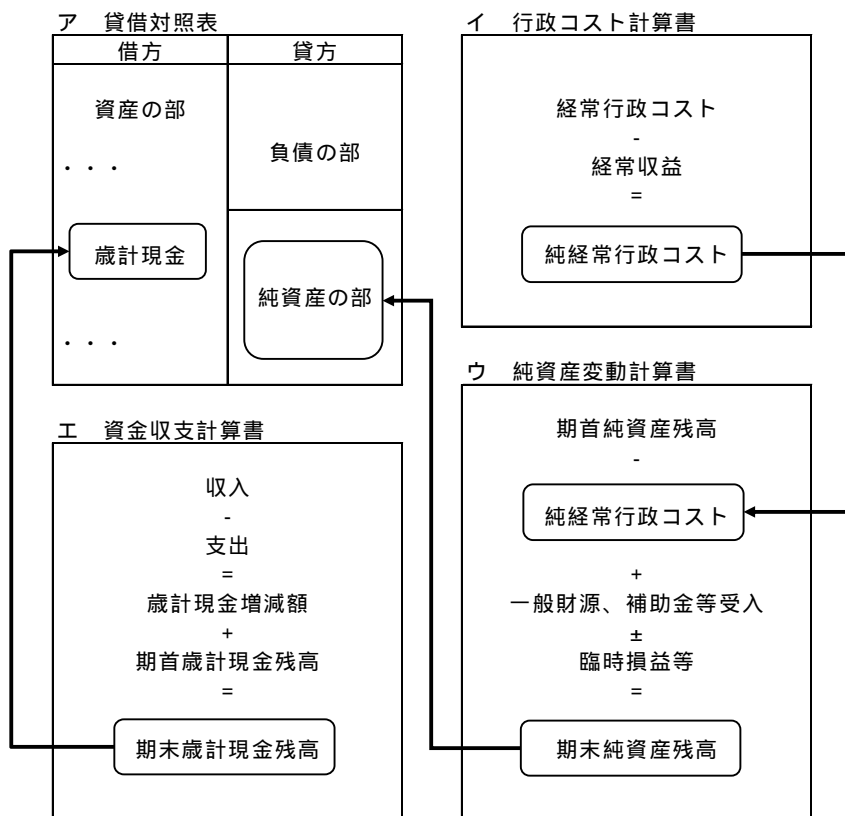
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純経常行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「一般財源」、国・京都府からの「補助金等受入」等が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「期首歳計現金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「期末歳計現金残高」は当該年度普通会計の形式収支と一致する。

<財務書類4表の関連図>



貸借対照表
(平成26年03月31日現在)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方債	40,174,958
生活インフラ・国土保全	99,982,272	(2) 長期未払金	
教育	61,881,861	物件の購入等	0
福祉	6,845,640	債務保証又は損失補償	0
環境衛生	3,097,653	その他	0
産業振興	3,076,683	長期未払金計	0
消防	2,700,727	(3) 退職手当引当金	8,160,528
総務	12,470,935	(4) 損失補償等引当金	649,576
有形固定資産合計	190,055,771	固定負債合計	48,985,062
(2) 売却可能資産	103,958	2 流動負債	
公共資産合計	190,159,729	(1) 翌年度償還予定地方債	4,979,488
2 投資等		(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金)	
(1) 投資及び出資金		(3) 未払金	
投資及び出資金	478,030	(4) 翌年度支払予定退職手当	936,284
投資損失引当金		(5) 賞与引当金	640,890
投資及び出資金計	478,030	流動負債合計	6,556,662
(2) 貸付金	112,979	負債合計	55,541,724
(3) 基金等			
退職手当目的基金	11,329	[純資産の部]	
その他特定目的基金	3,472,612	1 公共資産等整備国庫補助金等	30,802,302
土地開発基金	1,418,976	2 公共資産等整備一般財源等	146,297,143
その他定額運用基金	6,000	3 その他一般財源等	30,745,703
退職手当組合積立金		4 資産評価差額	31,210
基金等計	4,908,917	純資産合計	146,384,952
(4) 長期延滞債権	1,167,736		
(5) 回収不能見込額	299,170		
投資等合計	6,368,492		
3 流動資産			
(1) 現金預金			
財政調整基金	2,446,466		
減債基金	2,011,206		
歳計現金	617,128		
現金預金計	5,074,800		
(2) 未収金			
地方税	361,980		
その他	80,180		
回収不能見込額	118,505		
未収金計	323,655		
流動資産合計	5,398,455		
資 産 合 計	201,926,676	負債・純資産合計	201,926,676

1 他団体及び民間への支出金により形成された資産

生活インフラ・国土保全	2,334,150 千円
教育	12,789 千円
福祉	4,481,628 千円
環境衛生	349,383 千円
産業振興	1,190,816 千円
消防	3,924 千円
総務	2,139,393 千円
計	10,512,083 千円

2 債務負担行為に関する情報

物件の購入等	2,715,996 千円
債務保証又は損失補償	7,535,000 千円
(うち共同発行地方債に係るもの)	0 千円
その他	853,141 千円

3 地方債残高(翌年度償還予定額を含む)のうち 39,485,759千円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。

4 普通会計の将来負担に関する情報

項目	金額	[内訳]	
		負債計上 【(翌年度償還予定) 地方債・(長期) 未払金・引当金】	注記 【契約債務・偶発債務】
普通会計の将来負担額	79,436,400 千円		
[内訳] 普通会計地方債残高	45,154,446 千円	45,154,446 千円	
債務負担行為支出予定額	1,812,069 千円	0 千円	1,812,069 千円
公営事業地方債負担見込額	21,258,184 千円		21,258,184 千円
一部事務組合等地方債負担見込額	1,465,313 千円		千円
退職手当負担見込額	9,096,812 千円	9,096,812 千円	
第三セクター等債務負担見込額	649,576 千円	649,576 千円	千円
連結実質赤字額	0 千円		千円
一部事務組合等実質赤字負担額	0 千円		千円
基金等将来負担軽減資産	86,450,525 千円		
[内訳] 地方債償還額等充当基金残高	10,056,845 千円		
地方債償還額等充当歳入見込額	15,054,670 千円		
地方債償還額等充当交付税見込額	61,339,010 千円		
(差引)普通会計が将来負担すべき実質的な負債	7,014,125 千円		

5 有形固定資産のうち、土地は78,376,994千円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は 84,983,270千円です。

行政コスト計算書

〔 自 平成25年04月01日
至 平成26年03月31日 〕

(単位：千円)

【 経常行政コスト 】

	総額	(構成比率)	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	議会	支払利息	回収不能 見込計上額	その他
1	(1) 人件費	9,747,901	19.4%	1,237,188	1,394,847	2,098,964	905,141	1,628,163	1,875,020	388,939			0
	(2) 退職手当引当金繰入等	694,571	1.4%	89,282	44,877	147,491	63,602	114,409	192,146	27,330			0
	(3) 賞与引当金繰入額	640,890	1.3%	67,137	89,488	127,450	54,961	98,863	166,038	23,617			0
	小計	11,083,362	22.1%	1,393,607	1,529,212	2,373,905	1,023,704	1,841,435	2,233,204	439,886			0
2	(1) 物件費	5,494,838	11.0%	527,605	1,636,975	732,694	1,234,327	125,664	1,054,150	24,163			0
	(2) 維持補修費	656,754	1.3%	560,648	75,854	5,433	172	813	13,275	0			
	(3) 減価償却費	4,277,354	8.5%	1,832,487	1,259,533	210,047	231,942	166,557	427,123	0			
	小計	10,428,946	20.8%	2,920,740	2,972,362	948,174	1,466,441	293,034	1,494,548	24,163	0		0
	(1) 社会保障給付	16,240,788	32.4%		156,439	16,070,431	13,918						
	(2) 補助金等	4,227,660	8.4%	96,675	526,271	1,209,133	1,694,880	29,096	300,637	14,679			0
3	(3) 他会計等への支出額	6,678,590	13.3%	1,913,521	0	4,700,414	64,655	0	0	0			0
	(4) 他団体への (4) 公営資産整備補助金等	863,647	1.7%	142,342	0	653,505	1,742	23,695	42,363	0			0
	小計	28,010,685	55.9%	2,152,538	682,710	22,633,483	1,775,195	29,096	343,000	14,679			0
4	(1) 支払利息	578,363	1.2%								578,363		
	(2) 回収不能見込計上額	50,648	0.1%									50,648	
	(3) その他行政コスト	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0			0
	小計	629,011	1.3%	0	0	0	0	0	0	0	578,363	50,648	0
	経常行政コスト a	50,152,004		6,466,885	5,184,284	25,955,562	4,265,340	937,877	4,070,752	478,728	578,363	50,648	0
	(構成比率)			12.9%	10.3%	51.8%	8.5%	1.9%	8.1%	1.0%	1.2%	0.1%	0.0%

【 経常収益 】

1	使用料・手数料	b	1,501,646	247,528	204,619	207,836	256,541	29,462	90,283	0	111,631		0	353,122
2	分担金・負担金・寄附金	c	1,036,525	0	52,204	833,414	8,616	0	85,145	0	0		0	56,991
	経常収益合計	d	2,538,171	247,528	256,823	1,041,250	265,157	29,462	175,428	0	111,631		0	410,113
	(b + c)			3.8%	5.0%	4.0%	6.2%	3.1%	4.3%	0.0%	19.3%		0.0%	
	d / a		5.1%											
a	(差引) 純経常行政コスト	d	47,613,833	6,219,357	4,927,461	24,914,312	4,000,183	908,415	3,895,324	478,728	466,732	50,648	0	410,113

純資産変動計算書

〔 自 平成25年04月01日
至 平成26年03月31日 〕

(単位：千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	146,797,548	30,407,291	144,841,257	28,424,730	26,270
純経常行政コスト	47,613,833			47,613,833	
一般財源					
地方税	23,198,716			23,198,716	
地方交付税	6,845,925			6,845,925	
その他行政コスト充当財源	3,347,837			3,347,837	
補助金等受入	15,586,960	1,135,715		14,451,245	
臨時損益	1,835,681			1,835,681	
災害復旧事業費	1,753,161			1,753,161	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損失	45,450			45,450	
損失補償等引当金繰入等	37,070			37,070	
科目振替					
公共資産整備への財源投入			2,362,522	2,362,522	
公共資産処分による財源増		0	7,685	7,685	
貸付金・出資金等への財源投入			2,779,220	2,779,220	
貸付金・出資金等の回収等による財源増		0	2,630,088	2,630,088	0
減価償却による財源増		740,704	3,536,650	4,277,354	0
地方債償還に伴う財源振替			2,721,857	2,721,857	
資産評価替えによる変動額	57,480				57,480
無償受贈資産受入	0				0
その他	0		233,290	233,290	
期末純資産残高	146,384,952	30,802,302	146,297,143	30,745,703	31,210

資金収支計算書

〔自 平成25年04月01日
至 平成26年03月31日〕

(単位：千円)

1 経常的収支の部	
人件費	11,315,575
物件費	5,494,838
社会保障給付	16,240,788
補助金等	4,222,215
支払利息	578,363
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	4,805,066
その他支出	2,409,915
支出合計	45,066,760
地方税	23,265,709
地方交付税	6,845,925
国県補助金等	14,129,126
使用料・手数料	1,500,820
分担金・負担金・寄附金	1,021,409
諸収入	2,797,894
地方債発行額	4,266,000
基金取崩額	21,548
その他収入	492,877
収入合計	54,341,308
経常的収支額	9,274,548

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	4,778,237
公共資産整備補助金等支出	863,647
他会計等への建設費充当財源繰出支出	112,874
支出合計	5,754,758
国県補助金等	1,455,083
地方債発行額	1,369,500
基金取崩額	221,828
その他収入	24,217
収入合計	3,070,628
公共資産整備収支額	2,684,130

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	2,383,451
基金積立額	387,087
定額運用基金への繰出支出	1,492
他会計等への公債費充当財源繰出支出	1,785,536
地方債償還額	4,831,969
長期未払金支払支出	0
支出合計	9,389,535
国県補助金等	2,751
貸付金回収額	2,386,712
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	7,685
その他収入	0
収入合計	2,397,148
投資・財務的収支額	6,992,387

翌年度繰上充入金増減額	0
当年度歳計現金増減額	401,969
期首歳計現金残高	1,019,097
期末歳計現金残高	617,128

1 一時借入金に関する情報

資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
平成25年度における一時借入金の借入限度額は10,000,000千円です。
支払利息のうち、一時借入金利子は32,529千円です。

2 基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

収入総額	59,809,084
地方債発行額	5,635,500
財政調整基金等取崩額	0
支出総額	60,211,053
地方債償還額	5,377,803
財政調整基金等積立額	236,770
基礎的財政収支	422,896

部門別決算成果概要

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	市民と市長の対話ミーティング事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	192千円
事業内容	市民と市長の対話を通し、市民参画・協働を推進するとともに地域力の向上を図ることにより、新しい宇治に向けたまちづくりを推進する。		
成果・実績	<p>それぞれの分野で活躍する市民と活発な議論を行った。</p> <p>開催状況</p> <p>第1回 テーマ これからの宇治市の教育について 日 時 5月25日（土）午後2時～3時30分 場 所 西小倉地域福祉センター</p> <p>第2回 テーマ ワーク・ライフ・バランス実現のために 日 時 8月21日（水）午後7時～8時30分 場 所 JR宇治駅前市民交流プラザ ゆめりあうじ</p> <p>第3回 テーマ 宇治茶の振興について 日 時 11月9日（土）午後3時～4時30分 場 所 宇治公民館</p> <p>第4回 テーマ 健康長寿日本一を目指して... 日 時 平成26年3月8日（土）午後2時～3時40分 場 所 木幡公民館</p>		
事業評価	各分野で活躍している市民と活発な議論を行い、市民参画・協働を推進することができた。今後も、市民との意見交換を通し、市民意見を市政に反映させるよう努める。		



事務事業名	市政だより発行費	所管課	秘書広報課
		決算額	24,430千円
事業内容	市政に関することを市民に知らせるため、広報紙「宇治市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。		
成果・実績	<p>写真やイラストを活かし、見やすくわかりやすい市政情報の提供に取り組んだ。ポスティングにより、市内全戸へ配布している。</p> <p>年間発行部数 1,956,000部 ポスティング配布部数 1,938,034部 その他 17,966部</p>		
事業評価	今後も見やすく、わかりやすい市政情報の発信に努めるとともに、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	23,530千円
事業内容	<p>災害時において、有効な情報伝達媒体として活用することができるコミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアである。また、特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。</p>		
成果・実績	<p>エフエム宇治放送に月曜日から金曜日まで毎日30分間、市政情報を伝える番組を提供したほか、環境問題や男女共同参画などの啓発スポットを流した。平成25年9月の台風第18号接近時には、災害時の情報伝達媒体としてその役割を果たした。</p>		
事業評価	<p>市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送によって、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も市民にとって有用な情報発信を行うとともに、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。</p>		

事務事業名	映像広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	3,179千円
事業内容	<p>15分テレビ番組を制作（委託）して、行政の施策をはじめ市民生活、イベント、文化、体育などの行政情報を、映像でわかりやすく放映する。また、手話通訳を画面に取り入れ、聴覚障害者にとってもわかりやすい番組づくりとしている。</p>		
成果・実績	<p>テレビによる広報活動として、15分番組「さわやか宇治」を年2回、新春特別番組を1回、KBS京都で放送して市の情報発信に努めた。「さわやか宇治」では、夏の風物詩である宇治川の鶺鴒を取り上げPRするとともに、59年ぶりに宇治市で開催された全国お茶まつり京都大会の様子を題材とし、本市ならではの情報発信を行うことや記録としての映像を残すことに努めた。</p>		
事業評価	<p>テレビを活用した広報活動により、市内外の多くの人に宣伝を図ることができた。今後も時宜に応じた番組づくりを行い、市の広報に努めるとともに、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	2,595千円
事業内容	広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページの運用などを行う。		
成果・実績	宇治日刊記者クラブ（8社）と宇治日刊地方記者クラブ（2社）に対し、報道資料の提供や市長定例会見をはじめとする記者発表を行った。 また、宇治市宣伝大使ちはや姫の積極的な活動にも取り組んだ。		
事業評価	市ホームページ、報道機関への報道連絡などによる情報提供により、市内外の多くの人に市政情報を発信し、市の宣伝に努めることができた。今後も、キャラクターの活用を行うなど広報活動の充実に努める。		

事務事業名	市民カレンダー等発行費	所管課	秘書広報課
		決算額	4,382千円
事業内容	市民生活に関わりの深い情報や市政情報を提供するため、市民カレンダーを毎年発行する。		
成果・実績	市民カレンダーを86,000部発行し、ポスティングによる全戸配布を行った。市の行事予定のほか、災害時避難場所・給水場所マップ・福祉避難所、市内公共施設等マップ、資源ごみの分別収集方法、各種相談あんない、保健予防年間日程、主な市の施設・市内の官公署一覧を掲載し、情報発信に努めた。		
事業評価	市民への市政情報を提供することができた。今後も創意工夫をし、市民により有用な情報を提供し利便性を向上させる。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献
小分類	01 国際化・広域交流活動の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	国際交流促進事業	所管課	秘書広報課
		決算額	6,754千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、相互の友好交流を促進する。		
成果・実績	<p>ヌワラエリヤ市からの公式訪問団来訪、咸陽市への公式訪問団派遣、カムループス市からの公式訪問団来訪と中学生訪問団派遣、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <p>ヌワラエリヤ市交流促進費 641千円 ・ヌワラエリヤ市公式訪問団来訪 8人 平成26年1月21日～1月24日</p> <p>咸陽市交流促進費 816千円 ・宇治市公式訪問団の派遣 行政訪問団員 4人 11月11日～11月15日 市民訪問団員に随行の行政訪問団員 1人 11月11日～11月18日</p> <p>カムループス市交流促進費 5,297千円 ・カムループス市公式訪問団来訪 16人 10月15日～18日</p> <p>・中学生訪問団の派遣 中学生 11人及び引率者 2人 7月29日～8月5日</p> <p>・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 2人</p>		
事業評価	公式訪問団や中学生の派遣などによって、市民間の国際交流を促進し、友好を深めることができた。今後は、より多くの分野での市民間交流が発展していくよう、交流手法とその支援のあり方について検討する。		



平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成

所管部局
市長公室

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
		決算額	8,002千円
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>団塊の世代から受け継いだノウハウを発展的に活用するため、「第2次宇治市人材育成実施計画」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>主な研修</p> <p>新任監督者研修...監督者の役割を把握し、マネジメントの要素とリーダーシップの要素の両面を実践で活用できる資質の向上を図った。</p> <p>新任管理職研修...職場の労務管理やサービス、また地方公務員に必要な労働基準法について研修を行い、管理職としての資質の向上を図った。</p> <p>管理職研修...所属長を対象に、各職場における事務の適正な処理及び職員の仕事と生活の調和の実現を目指し意識改革を図った。</p>		
	<p>「第2次宇治市人材育成実施計画」</p> <p>人材育成の重点目標 ~ ノウハウの継承・実践から、発展的活用に向けて ~</p> <p>(1)ベテラン職員から引き継いでいる知恵や知識を、実践し、活用・発展させる</p> <p>(2)新規採用・初級・中級といった各階層職員の実務能力向上を図る</p> <p>(3)管理監督者の管理能力向上を速やかに図る</p>		
事業評価	<p>各種研修の実施によって、職務の遂行に必要な知識、技能の向上等を図った。今後も、階層別職員の実務能力の向上や管理監督者の管理能力の向上のための研修などにより計画的な人材育成に取り組むとともに、研修効果について検証していく。</p>		



新任監督者研修
(4月23・24日)



理事者と語る
(平成26年2月17日)

平成25年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	20,380千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健診業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務等を実施する。		
成果・実績	<p>定期健康診断等（文書報告含む）の受診率は99.4%であり、生活習慣改善教室や産業医による個別指導等の事業を実施し、職員の意識向上に努めた。</p> <p>メンタルヘルス対策については、平成18年に策定した「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき予防から再発防止までのメンタルヘルス対策の推進を図った。</p> <p>労働安全衛生法の改正に伴い、月45時間以上の超過勤務者（延べ475人）に対し健康調査を実施し、健康状態の把握に努めるとともに、特に月80時間超（延べ34人）及び月100時間超（延べ2人）の超過勤務者を含む80人に対して産業医による面接指導を実施し、メンタルヘルス不調や疾病予防に努めた。</p> <p>職員健康管理医師報酬 1,440千円 安全衛生委員会の運営等（産業医・安全・衛生管理業務、安全衛生小委員会の開催）、長時間超過勤務者の面談</p> <p>心の相談等医師謝礼（メンタルヘルス対策） 585千円 相談事業の実施、メンタルヘルス研修会、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>職員（嘱託含む）健診手数料 11,862千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査・ワクチン接種、深夜業務健康診断等</p> <p>委託料 6,156千円 二次健診、生活習慣改善教室・個別指導、頸腕・腰痛健康診断、VDT作業従事者健康診断、各種健診の有所見者事業、卒煙セミナー等禁煙指導</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として本市職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握と増進を図ることができた。今後も心身の両面にわたり、職員の健康保持増進に努める必要がある。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理課												
		決算額	11,331千円												
事業内容	地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施するとともに、町内会や自治会を中心とした自主防災組織の育成に向けて、自主防災組織が防災資機材を購入する場合の購入費を補助する。また、本市の備蓄品等の計画的な更新整備や医療品等の点検、交換を行う。														
成果・実績	防災や災害発生時の対応に関する知識を身につけ、いざという時には自治会等地域防災において中心的に活動できる人材を増やすことを目的として、平成26年2月22日、3月1日に防災リーダー養成講習会を実施した。（参加者64人） また、発電機・毛布・マンホールトイレ等の備蓄用資機材や、おむつ・生理用品等の要配慮者生活用品を新たに購入した。														
	防災リーダー養成講習会等開催費 66千円 備蓄用食糧更新費 767千円 備蓄用資機材購入費 7,165千円 要配慮者生活用品購入費 716千円 自主防災活動事業補助金 1,084千円														
	活動補助金実績（過去3力年）														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 35%;">補助金交付額 (千円)</th> <th style="width: 50%;">交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>1,645</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>1,018</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>1,084</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>			年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数	23	1,645	18	24	1,018	11	25	1,084	11
年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数													
23	1,645	18													
24	1,018	11													
25	1,084	11													
															
	防災リーダー養成講習会														
事業評価	地域の防災力向上を図ることができた。今後は、京都府南部地域豪雨災害や平成25年9月の台風第18号接近による災害を踏まえ、災害発生時に重要となる関係機関との連携強化や地域の防災組織の育成を推進し、さらなる地域の防災力の向上により、災害に強いまちづくりを目指す。														

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室他

事務事業名	平成24年8月13日・14日京都府南部地域豪雨災害関連経費	所管課	危機管理課他
		決算額	1,480,273千円

事業内容	平成24年8月13日・14日に発生した京都府南部地域豪雨災害において大きな被害が発生したため、被災者の生活再建等に取り組む。
-------------	--

成果・実績	被災者の生活の早期回復を図るため、各種施策を実施した。			(千円)	
		事業	課名	事業費	
		地域再建被災者住宅等支援	危機管理課	地域再建被災者住宅等支援制度や障害物の撤去など、支援策にかかるもの	11,329
		災害ごみ収集処分等	ごみ減量推進課	被災されたことによる通常予算の追加分	9,353
			維持課		1,511
		宇治市中小企業低利融資事業費	商工観光課		2,310
		文化的景観保護推進事業費	歴史まちづくり推進課		6,135
		文化財指定推進費			1,040
		農業用施設災害復旧事業費	農林茶業課		64,245
		林業施設災害復旧事業費			393,737
		鳥獣捕獲飼養対策費			121
		河川等災害復旧事業費	道路建設課	農業用施設や林道、道路、河川、山林など、公共施設等における災害復旧への対応に要した費用	95,817
			維持課		627,491
			雨水対策課		201,358
			管財課		36,698
		文教施設災害復旧事業費	生涯学習課		3,178
		公共施設等災害復旧事業費	環境企画課		24,511
		下水道施設災害復旧事業費	下水道計画課		46,079
		旧炭山キャンプ場管理及び維持	生涯学習課		823
		一時使用公営住宅管理費	住宅課	公営住宅の冷暖房機器の賃借料	149
	豪雨災害記録集の発行	危機管理課	豪雨災害の教訓を風化させない取組	467	

「 」は特別会計分。(決算額の合計に、特別会計分は含まない)
 なお、職員給等人件費は含まない。

事業評価	各種災害復旧・被災者生活再建事業に取り組み、被災者生活の早期回復及び被災箇所の復旧等に努めた。災害復旧については、災害復旧計画に基づき、概ね計画通りに進捗を図れた。
-------------	--

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり


所管部局
市長公室他

事務事業名	平成25年9月の台風第18号接近による災害関連経費	所管課	危機管理課他	
		決算額	242,907千円	
事業内容	平成25年9月の台風第18号接近による災害において大きな被害が発生したため、被災者の生活再建等に取り組む。			
成果・実績	被災者の生活の早期回復を図るため、各種施策を実施した。			
	(千円)			
	事業	課名	事業概要	
	地域再建被災者住宅等支援	危機管理課	地域再建被災者住宅等支援制度等、支援策にかかるもの	
	農業用施設災害復旧事業費	農林茶業課	農業用施設や林道、道路、河川など、公共施設等における災害復旧への対応に要した費用	
	林業施設災害復旧事業費			10,430
	鳥獣捕獲飼養対策費			21,675
	河川等災害復旧事業費	道路建設課	354	
		雨水対策課	27,948	
		維持課	129,161	
	道路維持修繕事業費	維持課	11,176	
	市有財産保全費	管財課	33,971	
	総合野外活動センター運営費	生涯学習課	349	
	文化的景観保護推進事業費	歴史まちづくり推進課	被災されたことによる通常予算の追加分	169
	文化財指定推進費			970
小学校就学援助費	学校教育課	学用品等の支給に要した経費	602	
中学校就学援助費			5	
			10	
事業評価	各種災害復旧・被災者生活再建事業に取り組み、被災者生活の早期回復及び被災箇所の復旧等に努めた。			

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室

事務事業名	地域防災力向上事業補助金	所管課	危機管理課
		決算額	1,267千円
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動等を実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練や講演会等の取組に必要な事業費の4分の3を助成する制度（10万円を限度）を実施し、自主防災組織の育成を図る。		
成果・実績	<p>平成25年度補助金交付状況 13団体</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>町内会・自治会の防災訓練</p>		
事業評価	町内会・自治会等に補助金を交付し、地域防災力の向上を促進することができた。京都府南部地域豪雨災害等により、改めて自主防災の重要性を認識したことから、さらなる自主防災組織の育成のため、平成26年度も継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	02 行政改革の推進	

事務事業名	行政改革進行管理委員会運営費	所管課	行政経営課
		決算額	134千円
事業内容	行政改革の適切な進行管理を図るため、委員会を設置し意見交換及び助言を行う。		
成果・実績	「宇治市第5次行政改革実施計画」(計画期間平成20～24年度)の最終年度の実績を受け、宇治市行政改革進行管理委員会を1回開催した。市民公募を含めた14名の委員から意見を聞き、第5次行政改革の総括に反映させた。		
事業評価	円滑な委員会の運営によって、委員からの様々な意見を本市の行政改革の取組に反映させることができた。平成26年度より、第6次行政改革の進行管理等は行政改革審議会でを行うため、平成25年度をもって本事業は廃止とする。		

事務事業名	職員提案制度費	所管課	行政経営課
		決算額	19千円
事業内容	職員の研究意欲及び市政への参加意欲を高めるとともに、行政需要の多様化・高度化に対応した市政の推進と事務事業の効率化を図ることを目的に、政策立案や事務改善に関する職員提案を募り、特に効果が期待できるものは褒賞する。		
成果・実績	<p style="margin-left: 20px;">応募件数 22件 (うち政策提案14件、事務改善提案8件)</p> <p style="margin-left: 20px;">努力賞 2件</p>		
事業評価	職員の積極的な政策立案と事務改善への姿勢を促進することができた。今後は、より施策や業務の改善につながる提案がなされるよう、自主研究活動の助成制度も含めた提案制度の改善について検討する必要がある。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部


事務事業名	指定管理者候補者選定委員会運営費	所管課	行政経営課
		決算額	52千円
事業内容	市が執行する公の施設の指定管理者制度に係る候補者の選定及び適正な管理運営の履行の確保に関し必要な事項について、専門的な立場から意見交換を行う。		
成果・実績	<p>JR宇治駅前駐車場の指定管理者の選定に関して、指定管理者候補者選定委員会を開催し、指定施設の管理運営について専門的知識を有する者を含む委員7人が意見交換を行った。指定管理者候補者選定委員会については、指定管理者の候補者の選定について調査及び審議を行わせるため、附属機関として定めた。</p> <p style="text-align: center;">委員会開催数 1回</p>		
事業評価	委員会の円滑な運営によって指定管理者選定のための評価を行った。今後も公共施設の適正管理のため、専門的な立場から評価を行う。		

事務事業名	ふるさと応援寄付金（歳入）	所管課	行政経営課																								
		決算額	1,648千円																								
事業内容	居住地以外の自治体に寄付をすると住民税控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																										
成果・実績	<p>寄付者 24人</p> <p>寄付件数・金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>29</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>金額（千円）</td> <td>2,575</td> <td>1,390</td> <td>920</td> <td>1,387</td> <td>925</td> <td>1,648</td> <td>8,845</td> </tr> </tbody> </table>			年度	20	21	22	23	24	25	合計	件数	29	18	17	16	18	24	122	金額（千円）	2,575	1,390	920	1,387	925	1,648	8,845
年度	20	21	22	23	24	25	合計																				
件数	29	18	17	16	18	24	122																				
金額（千円）	2,575	1,390	920	1,387	925	1,648	8,845																				
事業評価	多くの方から寄付をいただき、市政運営に役立てることができた。今後も制度のさらなる広報を行い、多くの方から寄付いただけるよう努める。																										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
政策経営部

事務事業名	公報発行費	所管課	行政経営課
		決算額	1,295千円
事業内容	市民へ適切に行政情報を公開し、市行政を円滑に運営するため、条例・規則・告示その他の事項を登載する公報の編集・発行・配布を行う。		
成果・実績	市公報を毎週1回（定例号47回）発行し、条例・規則等の公布を始め、告示、公告等を行った。		
事業評価	適正に執行し、市民へ適切に行政情報を公開できた。今後も継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
政策経営部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	政策推進課
		決算額	9,522千円
事業内容	統計法の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢等について実態を把握する。		
成果・実績	法定受託事務として、下記の基幹統計を実施した。		
	名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等
	学校基本調査 (文部科学省)	25年5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。
	住宅・土地 統計調査 (総務省)	25年10月1日 (5年毎・ 標本調査)	住宅及び住宅以外で人が居住する建物や世帯に関する実態を調査し、住生活関連施策の基礎資料を得る。
	工業統計調査 (経済産業省)	25年12月31日 (毎年・ 裾切り調査)	製造業を営む事業所を対象に、従業者数、出荷額等を調査し、産業施策、中小企業施策などの基礎資料を得る。
	経済センサス 調査区管理 (総務省)		必要に応じて調査区を修正することにより、調査実施上の支障が生じないようにし、また、最新の名簿を整備するため、追加された事業所などについて、調査区同定を行う。
	経済センサス - 基礎調査 (総務省)	26年7月1日 (5年毎・ 全数調査)	平成26年7月1日が調査期日となっている経済センサス - 基礎調査を実施するための準備作業を行う。
	商業統計調査 (経済産業省)	26年7月1日 (5年毎・ 全数調査)	平成26年7月1日が調査期日となっている商業統計調査を実施するための準備作業を行う。
	農林業 センサス (農林水産省)	27年2月1日 (5年毎・ 全数調査)	平成27年2月1日が調査期日となっている農林業センサスを実施するための準備作業を行う。
		調査員確保対策事業(所管：総務省) 85千円	
	統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、登録調査員の確保を図った。		
事業評価	各種統計調査を法定受託事務として適正に実施し、本市の人口・経済・社会情勢等の実態把握を各施策に活用することができた。今後も引き続き円滑な業務に取り組む。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	01 地方主権の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	将来戦略検討事業費	所管課	政策推進課					
		決算額	13,587千円					
事業内容	少子高齢社会の進展や地方分権の推進による自治体間競争が激化することが予測される。このような時代であっても、「宇治」を持続的に発展する都市とするため、産業や観光など幅広い分野において、時代の変化に対応し、「宇治」の魅力向上のための取組を検討する。							
成果・実績	関係課で構成する宇治市将来戦略検討会議において、「宇治」の魅力向上のための取組を検討し、平成25年12月に「宇治市将来戦略プラン」として取りまとめた。 また、（一財）地方自治研究機構との共同調査研究により、本市の魅力発信手法に関する調査・研究を行った。							
	宇治市将来戦略プラン策定業務委託費 9,587千円							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">全体会</td> <td style="width: 10%;">2回</td> <td rowspan="2" style="width: 50%;">（平成24～25年度）</td> </tr> <tr> <td>庁内ワーキング</td> <td>15回</td> </tr> </table>	全体会	2回	（平成24～25年度）	庁内ワーキング	15回		
全体会	2回	（平成24～25年度）						
庁内ワーキング	15回							
	魅力発信手法共同調査研究負担金 4,000千円							
事業評価	本市の持続的な発展に向けた方針である「宇治市将来戦略プラン」を策定した。今後はこのプランに沿い、発展に向けた事業展開を図る。							

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	有料広告審査会運営費	所管課	政策推進課
		決算額	163千円
事業内容	本市の公共媒体等に掲載する広告内容が、行政の所管する媒体に掲載するにふさわしいか、第三者の視点で意見をもらうため外部有識者等による宇治市有料広告審査会を設置し、より専門的な見地で精査を行う。		
成果・実績	宇治市有料広告審査会を開催し、市が発行する市政だよりに掲載する広告や市ホームページに係るバナー広告の内容などについて精査した。 宇治市有料広告審査会開催数 4回		
事業評価	広報紙等に掲載する広告の内容について精査し意見を受けることで、適切な広告とすることができた。今後も本市の公共媒体等への民間広告掲載について適切な内容となるよう努めるとともに、歳入の増加に取り組む。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立	

事務事業名	政策研究費	所管課	政策推進課													
		決算額	945千円													
事業内容	先進他都市の優れた制度を取り入れるとともに、本市の組織レベルの課題解決能力及び立案能力を高めるため、調査・研究等を行う。															
成果・実績	<p>庁内で研究課題を募集し、申請のあった中から採択し、担当課において研究を行った。</p> <p style="text-align: center;">採択事業一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雨水対策課</td> <td>宇治市における今後の浸水対策の進め方の研究</td> </tr> <tr> <td>介護保険課</td> <td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの実施手法についての検討</td> </tr> <tr> <td>事業課</td> <td>ごみ減量化の推進とリサイクル率の向上</td> </tr> <tr> <td>環境企画課</td> <td>トピケラとの共生について</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">商工観光課</td> <td>フィルムコミッションの設立</td> </tr> <tr> <td>民間駐車場での観光案内強化</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	雨水対策課	宇治市における今後の浸水対策の進め方の研究	介護保険課	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの実施手法についての検討	事業課	ごみ減量化の推進とリサイクル率の向上	環境企画課	トピケラとの共生について	商工観光課	フィルムコミッションの設立	民間駐車場での観光案内強化
担当課	研究テーマ															
雨水対策課	宇治市における今後の浸水対策の進め方の研究															
介護保険課	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの実施手法についての検討															
事業課	ごみ減量化の推進とリサイクル率の向上															
環境企画課	トピケラとの共生について															
商工観光課	フィルムコミッションの設立															
	民間駐車場での観光案内強化															
事業評価	行政課題の改善に取り組むとともに、職員の政策立案能力の向上に資することができた。今後は研究した政策が事業として実施できるよう進行管理に努めるとともに、幅広い行政分野で職員の積極的な研究活動を促進する必要がある。															

事務事業名	総合計画関連事業	所管課	政策推進課												
		決算額	2,390千円												
事業内容	計画行政の推進を図るために、平成26年度を始期とする「宇治市第5次総合計画」の具体的プログラムである中期計画を策定する。及び、基本構想の実現のため、具体的施策となる中期計画（3・4・4年間）の見直し、政策評価、各担当部署・部門別計画のフォローアップなどを行う。														
成果・実績	<p>宇治市総合計画審議会を開催し、平成26年2月に宇治市総合計画審議会から「宇治市第5次総合計画第2期中期計画」策定に係る答申を受けた。この答申の内容を尊重し、平成26年度を始期とする「第2期中期計画」を策定した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">宇治市総合計画審議会委員報酬</td> <td style="text-align: right;">1,410千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市総合計画審議会委員 31人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宇治市総合計画審議会 全体会 3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">専門部会 9回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宇治市総合計画審議会の運営に係る経費</td> <td style="text-align: right;">687千円</td> </tr> <tr> <td>「平成24年度歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書」印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">240千円</td> </tr> </table>			宇治市総合計画審議会委員報酬	1,410千円	宇治市総合計画審議会委員 31人		宇治市総合計画審議会 全体会 3回		専門部会 9回		宇治市総合計画審議会の運営に係る経費	687千円	「平成24年度歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書」印刷製本費	240千円
宇治市総合計画審議会委員報酬	1,410千円														
宇治市総合計画審議会委員 31人															
宇治市総合計画審議会 全体会 3回															
専門部会 9回															
宇治市総合計画審議会の運営に係る経費	687千円														
「平成24年度歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書」印刷製本費	240千円														
事業評価	「宇治市第5次総合計画」の実現に向け、平成25年度は第2期中期計画策定のほか、事業の進捗管理や各事業担当課との政策調整などに努め、計画行政の推進を図ることができた。今後も、全庁での連携を深め、施策・事業の遂行に努めるとともに、よりわかりやすい政策評価を公表する手法を検討する必要がある。														

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	地域の元気臨時交付金（歳入）	所管課	財務課												
		決算額	731,816千円												
事業内容	地域経済の活性化と雇用の創出を図り、公共投資を迅速かつ円滑に実施するため、国の交付金を活用して、公共施設、道路、排水路、公園等の整備を実施した。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">交付金対象事業</td> <td style="text-align: right;">767,269 千円</td> </tr> <tr> <td> 公共施設整備事業 （コミュニティーセンター・図書館等）</td> <td style="text-align: right;">373,672 千円</td> </tr> <tr> <td> 道路整備事業</td> <td style="text-align: right;">203,645 千円</td> </tr> <tr> <td> 排水路整備事業等</td> <td style="text-align: right;">84,291 千円</td> </tr> <tr> <td> 公園施設整備事業</td> <td style="text-align: right;">8,816 千円</td> </tr> <tr> <td> 学校施設整備事業</td> <td style="text-align: right;">96,845 千円</td> </tr> </table>	交付金対象事業	767,269 千円	公共施設整備事業 （コミュニティーセンター・図書館等）	373,672 千円	道路整備事業	203,645 千円	排水路整備事業等	84,291 千円	公園施設整備事業	8,816 千円	学校施設整備事業	96,845 千円		
交付金対象事業	767,269 千円														
公共施設整備事業 （コミュニティーセンター・図書館等）	373,672 千円														
道路整備事業	203,645 千円														
排水路整備事業等	84,291 千円														
公園施設整備事業	8,816 千円														
学校施設整備事業	96,845 千円														
事業評価	交付金を活用して、市民に身近な公共施設の改修等を実施し、安全・安心の確保や利便性の向上を図ることができた。														

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	1,106千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>市民の防犯意識の啓発 336千円 年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>安全・安心まちづくりへの助成 770千円 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p>		
事業評価	各取組により安全・安心なまちづくりを促進できた。地域での自主的な安全・安心への取組が、積極的に行われるよう、引き続き、啓発活動や支援に取り組む必要がある。		

事務事業名	犯罪被害者等支援事業費	所管課	総務課
		決算額	100千円
事業内容	犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、相談事業や他機関との連携など、被害者の状況に応じて適切な支援を行う。		
成果・実績	対象職員の研修を通して、適切な対応ができるような体制づくりを行った。また、傷害見舞金1件・100千円を支給した。		
事業評価	制度は一定定着してきており、支援体制を整えることができた。今後も適切な支援が行えるよう、職員研修や制度、他自治体の状況などの研究を行うとともに、市民理解を深める広報・啓発活動や、教育活動を積極的に進める必要がある。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 情報公開の充実	

事務事業名	情報公開審査会委員報酬 5人分	所管課	総務課
		決算額	65千円
事業内容	情報公開制度の適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市情報公開審査会（学識経験者5人）を設置し、審査にあたる。		
成果・実績	公文書公開請求に係る不服申立てはなかった。平成24年度の実施状況報告等のため、情報公開審査会を1回開催した。		
事業評価	審査会を開催し、情報公開制度の公正な運用を図るとともに、委員報酬の支払い等適正に実施した。今後も円滑な審査会運営に努める。		

事務事業名	情報公開事務費	所管課	総務課												
		決算額	54千円												
事業内容	市政への積極的な参加と公正な市政を推進するため、宇治市情報公開条例に沿って、市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができる市民の知る権利を具体的に保障する。														
成果・実績	<p>市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <p>公文書公開請求 258件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">全部公開</td> <td style="text-align: center;">74</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">部分公開</td> <td style="text-align: center;">179</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">非公開 (うち不存在)</td> <td style="text-align: center;">5 (4)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取下</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不服申立て</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table> <p>市出資法人（宇治市土地開発公社など8法人）に対する文書公開申出 0件</p>			(件)		全部公開	74	部分公開	179	非公開 (うち不存在)	5 (4)	取下	0	不服申立て	0
(件)															
全部公開	74														
部分公開	179														
非公開 (うち不存在)	5 (4)														
取下	0														
不服申立て	0														
事業評価	情報公開請求に応じ公開等の決定を行い、公文書の閲覧、写しの交付など、適正な事務執行によって公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める。														

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
総務部

事務事業名	個人情報保護審議会委員報酬 8人分	所管課	総務課
		決算額	239千円
事業内容	個人情報を保護しその公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市個人情報保護審議会（学識経験者5人、市民代表3人）を設置し、審議を行う。		
成果・実績	個人情報開示請求等に係る不服申立てはなかった。平成24年度の運用状況報告等のために1回、個人情報の取扱いに係る諮問事項を審議するために2回、宇治市個人情報保護審議会を開催した。		
事業評価	審議会を開催し、個人情報保護の公正な運用を図るとともに、委員報酬の支払い等適正に実施した。今後も円滑な審議会運営に努める。		

事務事業名	個人情報事務費	所管課	総務課								
		決算額	51千円								
事業内容	宇治市個人情報保護条例は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。										
成果・実績	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利・利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動や担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。</p> <p>自己情報の開示請求 21件</p> <p style="text-align: center;">(件)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">全部開示</td> <td style="padding: 2px;">5</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">部分開示</td> <td style="padding: 2px;">6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">不開示 (うち不存在)</td> <td style="padding: 2px;">10 (10)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">不服申立て</td> <td style="padding: 2px;">0</td> </tr> </table> <p>市が出資する法人（宇治市土地開発公社など8法人）に対しての自己情報の開示申出等 0件</p>			全部開示	5	部分開示	6	不開示 (うち不存在)	10 (10)	不服申立て	0
全部開示	5										
部分開示	6										
不開示 (うち不存在)	10 (10)										
不服申立て	0										
事業評価	個人情報の取扱事務登録簿の整備、個人情報開示請求の受付、開示の決定・通知など、適切に実施し、市が管理する個人情報の保護施策について、適正に運用することができた。今後も制度の円滑な運用に努める。										

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献
小分類	02 平和への貢献

所管部局
総務部

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	3,764千円
事業内容	本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。		
成果・実績	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき宇治市平和都市推進協議会が実施する、小・中学生平和訪問団の広島への派遣をはじめ、「未来への決意」と題した市民平和の集いや、市民平和祈念集会などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。 平和の集いでは、平和訪問団員による成果報告を新たに実施した。		
	平和都市推進協議会補助金	3,764千円	
事業評価	各取組によって平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も平和事業への参加者増加を図り、あらゆる機会を通して平和への啓発を行う。		

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	廃棄文書リサイクル事業費	所管課	総務課
		決算額	323千円
事業内容	個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。		
成果・実績	機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。		
	廃棄文書リサイクル委託料	323千円	
	廃棄文書量	56トン	
事業評価	適正に実施し、個人情報保護とともに環境資源の有効活用を行うことができた。今後も用紙の再生利用を行うとともに、リサイクルだけでなく、紙の使用量を最小限にできるよう努める。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	04 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	情報システム開発費	所管課	I T 推進課				
		決算額	265,827千円				
事業内容	多様化する市民ニーズへの対応や効率的な行政運営を推進するため、住民情報系システム、内部管理系システム、外部公開系システムなど、新規システムの開発や既存システムの再構築を行う。						
成果・実績	<p>平成23年度から戸籍情報システムの開発及び構築を行い、平成25年7月22日より、戸籍情報システムの本稼働を開始した。 また、保育システムの開発を行い、稼働を開始した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">戸籍情報システム開発</td> <td style="text-align: right;">250,950千円</td> </tr> <tr> <td>保育システム開発</td> <td style="text-align: right;">14,877千円</td> </tr> </table>			戸籍情報システム開発	250,950千円	保育システム開発	14,877千円
戸籍情報システム開発	250,950千円						
保育システム開発	14,877千円						
事業評価	各システムとも、予定どおり開発を行い、システムの運用を開始することができた。特に、戸籍情報システムについては、個人情報の持ち出しを行わざるを得なかったが、個人情報が残っていないことを確認するなど、個人情報の厳格な管理のもと開発を行うことができた。						

事務事業名	情報システム運営費	所管課	I T 推進課																		
		決算額	249,176千円																		
事業内容	市民サービスの向上や迅速な事務処理、適切な情報管理のため、住民基本台帳システムや各種税システムをはじめとするサーバ機を利用した様々なシステムを稼働させ、幅広い情報処理を行っている。また、パソコンの利用促進により、システム化になじまない少量・多種・非定形の業務領域でのOA化を進め、より効率的な行政運用を図る。																				
成果・実績	<p>稼働中の情報システムで使用する機器やソフトウェアなどの維持管理や、制度改正に伴う情報システムの変更作業を行った。情報システムの安定稼働を実現し、市民へのサービス提供を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">制度改正に伴うシステム改修</td> <td style="text-align: right;">18,912千円</td> </tr> <tr> <td>市町村基幹業務支援システム改修</td> <td style="text-align: right;">7,820千円</td> </tr> <tr> <td>Windows7対応に伴うシステム改修</td> <td style="text-align: right;">24,386千円</td> </tr> <tr> <td>住民基本台帳ネットワークシステム機器更新</td> <td style="text-align: right;">18,989千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療システム機器更新</td> <td style="text-align: right;">13,053千円</td> </tr> <tr> <td>人事給与システム機器更新</td> <td style="text-align: right;">10,687千円</td> </tr> <tr> <td>契約管理システム機器更新</td> <td style="text-align: right;">2,015千円</td> </tr> <tr> <td>市政だより編集システム更新</td> <td style="text-align: right;">2,009千円</td> </tr> <tr> <td>バックアップソリューション導入</td> <td style="text-align: right;">7,415千円</td> </tr> </table>			制度改正に伴うシステム改修	18,912千円	市町村基幹業務支援システム改修	7,820千円	Windows7対応に伴うシステム改修	24,386千円	住民基本台帳ネットワークシステム機器更新	18,989千円	後期高齢者医療システム機器更新	13,053千円	人事給与システム機器更新	10,687千円	契約管理システム機器更新	2,015千円	市政だより編集システム更新	2,009千円	バックアップソリューション導入	7,415千円
制度改正に伴うシステム改修	18,912千円																				
市町村基幹業務支援システム改修	7,820千円																				
Windows7対応に伴うシステム改修	24,386千円																				
住民基本台帳ネットワークシステム機器更新	18,989千円																				
後期高齢者医療システム機器更新	13,053千円																				
人事給与システム機器更新	10,687千円																				
契約管理システム機器更新	2,015千円																				
市政だより編集システム更新	2,009千円																				
バックアップソリューション導入	7,415千円																				
事業評価	法改正に対応したシステム改修等、各事業担当課の業務を円滑に進め、市民サービスを提供するための環境整備ができた。また、バックアップソリューション導入によりバックアップデータの保存場所の課題について、対策を講じることができた。今後も様々な市民サービスを安定的に提供するため、適切に改修や更新を進めるが、管理するシステム数が増加しており、管理手法についても検討が必要である。																				

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	04 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム運営費	所管課	I T 推進課
		決算額	60,911千円
事業内容	市公共施設の情報共有による市民サービスの提供と行政運営の効率化のため、公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行う。		
成果・実績	<p>公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行った。</p> <p>光ファイバー使用料 16,380千円 イントラネット管理委託 21,420千円</p>		
事業評価	庁外施設を含め円滑に業務を推進することができた。今後も、適切に維持管理しながら安定した運用に努める。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
総務部

事務事業名	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	所管課	管財課
		決算額	77,459千円
事業内容	平成25年度から新たに設定された地球温暖化対策実行計画（第4期計画）に沿って、平成29年度までに平成23年度比5%以上温室効果ガス削減を目指し、庁舎における排出量の削減を図るため、老朽化設備の改修等、省エネルギーの実現に向けた取組を行う。		
成果・実績	<p>温室効果ガスの削減に向け、老朽化した庁舎設備の改修及び空調効率改善のため、本館棟空調熱源の改修を実施した。</p> <p style="text-align: right;">庁舎空調熱源改修工事 76,376千円</p> <p style="padding-left: 40px;">改修に伴うCO₂削減量 23.3t-CO₂（理論値）</p> <p style="text-align: right;">議会棟2・3階空気環境改善実施設計業務委託 999千円</p>		
事業評価	本庁舎の空調熱源改修工事等を実施し、庁舎からの温室効果ガス削減に取り組んだ。今後は、庁舎1階や議会棟に空気搬送ファンを設置する等、「宇治市地球温暖化対策実行計画」の削減目標達成のため、有効な対策に取り組む。		

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	市有林造林事業費	所管課	管財課
		決算額	4,640千円
事業内容	国土保全とともに森林の多面的機能や植林の材質を高めるため、池尾仙郷山等の市有林において、森林施業計画に基づき保育施業（下刈り、枝打ち、間伐など）を行うとともに、間伐材出材を実施する。		
成果・実績	<p>森林施業計画に基づく保育事業を重点的に施業することとし、宇治市森林組合に枝打ち0.30ha、間伐6.88ha、作業道作設500m、出材を委託実施した。</p> <p style="text-align: right;">市有林造林事業委託料（枝打ち・間伐・作業道作設・出材） 4,392千円</p> <p style="text-align: right;">間伐材売払収入 223千円</p>		
事業評価	事業実施によって市有林の保全を図ることができた。森林保全は、中断すると再開が困難となるため継続が必要であるが、宇治市森林組合の後継者育成が課題である。今後はボランティア活動や入山の環境整備などを検討する必要がある。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
総務部

事務事業名	京都地方税機構負担金	所管課	市民税課・納税課								
		決算額	120,279千円								
事業内容	納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を一層推進するため、京都府及び府内25市町村（京都市を除く）で組織する広域連合の京都地方税機構において、法人市民税課税事務の一部及び移管した滞納案件の整理を行った。										
成果・実績	<p>法人市民税課税事務及び滞納市税の徴収業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を推進した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">京都地方税機構への移管額</td> <td style="text-align: right;">2,792,410千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">移管額のうち収入額</td> <td style="text-align: right;">1,076,131千円</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（市民税課）</td> <td style="text-align: right;">5,469千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（納税課）</td> <td style="text-align: right;">114,810千円</td> </tr> </table>			京都地方税機構への移管額	2,792,410千円	移管額のうち収入額	1,076,131千円	負担金（市民税課）	5,469千円	負担金（納税課）	114,810千円
京都地方税機構への移管額	2,792,410千円										
移管額のうち収入額	1,076,131千円										
負担金（市民税課）	5,469千円										
負担金（納税課）	114,810千円										
事業評価	負担金を適正に支出し、京都地方税機構と連携して、法人市民税課税事務及び滞納整理を行うことができた。京都地方税機構の効果として、滞納繰越分の徴収率は上昇傾向にあり、財政基盤を安定的に確保するため、今後も税機構と連携して効率的な徴収に努める。										

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	文化自治振興課
		決算額	132千円
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住みよい心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行や優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。		
成果・実績	地域社会貢献者表彰式 平成26年3月1日 14回目となる平成25年度は、13件表彰した。 受賞者名 小堀 きよえ 氏 武田 富士夫 氏 石田 大明 氏 福知 和子 氏 竹村 矢市 氏 高橋 正義 氏 岡本 昭二 氏 辻 多喜蔵 氏 保曾川 常敏 氏 上林 康二 氏 石本 清晴 氏 宇治公民館サークル 源氏のつどい 西川 千香子 氏		
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰し、地域活動の活性化や市民の意欲向上を図ることができた。被表彰者の選定については、広く推薦を促せるよう広報手法を検討し、平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	地域コミュニティ調査検討費	所管課	文化自治振興課														
		決算額	2,372千円														
事業内容	地域コミュニティ推進検討委員会を設置し、良好な町内会・自治会の形成と運営の活性化を促進する方策及び地域コミュニティや協働のあり方について検討する。また、地域実態の把握のため、地域コミュニティ意識調査及び町内会・自治会長アンケートを実施する。																
成果・実績	前身である町内会・自治会等活動推進検討委員会の提言を基に、さらに議論を深めるとともに、アンケート等により、地域コミュニティの実態把握に努めた。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">委員会開催状況</td> <td style="width: 50%;">地域コミュニティ意識調査</td> </tr> <tr> <td>第1回開催日 7月22日</td> <td>対象2,000人 有効回収数 976件</td> </tr> <tr> <td>第2回開催日 10月21日</td> <td>回収率 48.8%</td> </tr> <tr> <td>第3回開催日 平成26年1月14日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回開催日 平成26年3月18日</td> <td>町内会・自治会長アンケート</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対象609人 有効回収数 429件</td> </tr> <tr> <td>委員数 19人</td> <td>回収率 70.4%</td> </tr> </table>			委員会開催状況	地域コミュニティ意識調査	第1回開催日 7月22日	対象2,000人 有効回収数 976件	第2回開催日 10月21日	回収率 48.8%	第3回開催日 平成26年1月14日		第4回開催日 平成26年3月18日	町内会・自治会長アンケート		対象609人 有効回収数 429件	委員数 19人	回収率 70.4%
委員会開催状況	地域コミュニティ意識調査																
第1回開催日 7月22日	対象2,000人 有効回収数 976件																
第2回開催日 10月21日	回収率 48.8%																
第3回開催日 平成26年1月14日																	
第4回開催日 平成26年3月18日	町内会・自治会長アンケート																
	対象609人 有効回収数 429件																
委員数 19人	回収率 70.4%																
事業評価	地域コミュニティ推進検討委員会を設置し、町内会・自治会の活性化並びに地域コミュニティや協働のあり方について検討を進めるとともに、地域コミュニティの実態把握に努めた。平成26年度も継続実施する。																

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	ふれあいセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	56,141千円
事業内容	菟道、伊勢田、平盛のふれあいセンターの管理、運営を行う。地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流や、趣味、娯楽、各種会合、講習会、スポーツといった活動に利用されており、貸館業務を主とした運営を行う。		
成果・実績	市民が気軽に利用できる施設として、子どもから高齢者まで幅広い層に親しまれている。菟道・伊勢田・平盛の3館で、サークル活動や各種会合等に年間49,730人の利用があった。 伊勢田ふれあいセンターのアスベスト除去工事及び、ふれあいセンター3館の耐震診断を実施した。		
事業評価	適切に管理運営を行い、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。施設の老朽化や耐震診断結果を踏まえ、市民ニーズや利用状況の検証を含めて、ふれあいセンターのあり方を検討する必要がある。		

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	文化自治振興課								
		決算額	300,002千円								
事業内容	平成18年度より地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。										
成果・実績	西小倉・東宇治・南宇治・榎島の4つのコミュニティセンターで合わせて12,657件、149,884人の利用があった。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">西小倉コミュニティセンター運営費</td> <td style="width: 50%;">14,748千円</td> </tr> <tr> <td>東宇治コミュニティセンター運営費</td> <td>18,084千円</td> </tr> <tr> <td>南宇治コミュニティセンター運営費</td> <td>18,714千円</td> </tr> <tr> <td>榎島コミュニティセンター運営費</td> <td>15,293千円</td> </tr> </table> コミュニティセンター4館の大規模改修工事を実施した。 再整備事業費 233,163千円			西小倉コミュニティセンター運営費	14,748千円	東宇治コミュニティセンター運営費	18,084千円	南宇治コミュニティセンター運営費	18,714千円	榎島コミュニティセンター運営費	15,293千円
西小倉コミュニティセンター運営費	14,748千円										
東宇治コミュニティセンター運営費	18,084千円										
南宇治コミュニティセンター運営費	18,714千円										
榎島コミュニティセンター運営費	15,293千円										
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営を行い、市民の地域活動の活性化を図るとともに、大規模改修工事の実施により、市民の利用環境の向上を図ることができた。今後も適切な管理に努めるとともに、市民ニーズや利用状況の的確な把握に努める。										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部




事務事業名	集会所維持管理費	所管課	文化自治振興課
		決算額	42,804千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	文化自治振興課が管理する集会所131カ所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。また、集会所15カ所の耐震診断を行った。 集会所再生プランについては、地域懇談会などの取組を進めたが、地域の十分な理解が得られず、実施は一旦凍結することとなった。		
事業評価	集会所は地域住民の活動の場として有効に活用された。今後も集会所が地域コミュニティの活動拠点となるよう適切な管理運営に努めるとともに、耐震診断の必要な集会所について平成27年度までの診断完了を目指し、引き続き計画的に取り組む。		

事務事業名	民間集会所環境整備事業費補助金	所管課	文化自治振興課
		決算額	2,345千円
事業内容	町内会・自治会が自主的に管理運営する民間集会所の新築や修繕等について補助を行う。		
成果・実績	民間集会所の環境整備として、修繕4件、耐震診断1件、光熱水費20件に補助金を交付した。		
事業評価	地域住民の活動の場として有効に活用され、コミュニティの活性化を図ることができるよう支援を行うことができた。平成26年度も適正に補助を実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化自治振興課																									
		決算額	1,540千円																									
事業内容	<p>子ども手づくり文化祭は、児童・生徒の地域、学校を越えた交流、情操豊かな青少年の育成及び健全な児童文化活動を推進することを目的に行う。市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。</p>																											
成果・実績	<p>子ども手づくり文化祭は、市立小中学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催した。市民文化芸術祭は展示の部、舞台の部、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>子ども手づくり文化祭</td> <td>開催日</td> <td>9月21日</td> <td rowspan="3">  </td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,200人</td> </tr> <tr> <td>市民文化芸術祭</td> <td>開催日</td> <td>11月2、3日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>約1,400人</td> <td rowspan="2"> <p>市民文化芸術祭</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約7,600人</td> </tr> <tr> <td>参加事業</td> <td>参加者数</td> <td>約850人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約3,000人</td> <td></td> </tr> </table>			子ども手づくり文化祭	開催日	9月21日			来場者数	約2,200人	市民文化芸術祭	開催日	11月2、3日		参加者数	約1,400人	<p>市民文化芸術祭</p>		来場者数	約7,600人	参加事業	参加者数	約850人			来場者数	約3,000人	
子ども手づくり文化祭	開催日	9月21日																										
	来場者数	約2,200人																										
市民文化芸術祭	開催日	11月2、3日																										
	参加者数	約1,400人	<p>市民文化芸術祭</p>																									
	来場者数	約7,600人																										
参加事業	参加者数	約850人																										
	来場者数	約3,000人																										
事業評価	<p>文化祭の開催によって、地域や学校の枠を越え、市民相互の文化交流を促進し、文化活動の活性化を図ることができた。より文化意識を高めるため、効果的な実施手法を検討しながら平成26年度も継続実施する。</p>																											

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化自治振興課
		決算額	3,037千円
事業内容	<p>合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習や定期演奏会の開催のほか、各種発表会や市の公式行事等に出演する。</p>		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約80人で、毎週土曜日午後の練習、夏季強化合宿、定期演奏会のほか、市行事やコンサート出演など、年間10回を超える演奏を行った。また、8月5日に山梨県北杜市で開催された「第28回国民文化祭・やまなし2013 ジュニアコーラスの祭典inほくと」に出演し、全国各地の合唱団や世界で活躍している合唱団と交流を行った。</p>		
事業評価	<p>合唱団活動を通して小・中学生の文化意識や協調性などを育てることができた。市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努め、平成26年度も継続実施する。</p>		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部


事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	23,415千円
事業内容	<p>ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式を中心としたイベントである「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。</p>		
成果・実績	<p>第23回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月17日に贈呈式と記念イベントを行った。記念イベントでは、観客1,000人に対して東京大学大学院教授のロバート キャンベル氏による源氏物語の講演が行われた。</p> <p>紫式部文学賞（全国から62作品の推薦） 赤坂 真理氏「東京プリズン」</p> <p>紫式部市民文化賞（62作品の応募・推薦） 水田 寿子氏「百寿」 選考委員特別賞 奥田 義人氏・奥田 君子氏「夫婦でつづる歌文集 完治宣言」</p> <p>宇治十帖スタンプラリー 宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社や平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。</p> <p>開催日数 5日(10月26日、27日、11月2日、3日、4日) 踏破者数 16,598人</p> <p>宇治田楽まつり 平安時代に栄えた田楽を、現代風にアレンジし、10月19日に宇治市文化センターで盛大に開催した。</p> <p>出演者数 100人 観覧者数 約1,000人</p>		
事業評価	<p>各催しの開催によって、市民の文化活動の活性化や「源氏物語のまちづくり」を定着させることができた。平成26年度も継続実施し、幅広い分野において事業の効果が期待できるような実施方法等を検討する。</p>		




宇治十帖スタンプラリー

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	424千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催し、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場にするにより、音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市民にとって親しみやすい市役所にする。		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回多数の観客を迎えた。</p> <p>開催回数 17回 延べ観覧者数 4,235名</p> 		
事業評価	市庁舎を有効に活用し、市民の文化活動や相互交流を促進することができた。今後も、多くの市民に交流を楽しんでもらえるよう、継続実施する。		

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	135,416千円
事業内容	(公財)宇治市文化センターを指定管理者とし、文化会館の健全な管理・運営を行うとともに、自主事業の企画立案や、優れた文化、芸術公演を公開して、市民文化の振興を図る。また、市内団体やサークルなどが文化会館を使用する際の使用料の助成(補助)を行う。		
成果・実績	<p>自主事業として、源氏物語宇治十帖朗読劇、桂米朝一門会、高嶋ちさ子コンサート、宇治シネマ劇場など、幅広い分野の事業に取り組み、19,672人が鑑賞した。</p> <p>また、市民の文化芸術活動の普及や振興を図るため、文化事業基金による市内文化団体等に対する文化会館使用料の助成を20件行った。</p>  <p>源氏物語宇治十帖朗読劇</p>		
事業評価	指定管理者によって文化会館を適正に管理運営し、様々な催し物の開催や、市民団体等への活動補助によって、市民の文化芸術活動の普及・振興を図ることができた。今後も多くの市民に親しまれる施設となるよう努める。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	02 消費生活の充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	消費者支援事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	708千円
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きに関して生じた苦情を専門の消費生活相談員が助言、情報提供、あっせんなどを行うとともに、市民の消費生活の向上を図るための啓発を行う。		
成果・実績	消費生活センターに専門の消費生活相談員を3人配置し、1,144件の相談に応じた。また、複雑多岐にわたる案件に対処する必要から、消費生活相談員の一層のレベルアップを図るために、各種研修会等へ参加した。さらに、消費生活に関する市民啓発等を行った。		
事業評価	市民の消費生活に関する苦情や問い合わせに対し、専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行い、消費生活の改善、向上に寄与した。今後も広範な消費生活に関する苦情や相談が想定されることから、専門知識を有する相談員の配置が不可欠であり、そのためにも相談員の一層のレベルアップと市民啓発が必要である。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市民環境部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広聴事務費	所管課	文化自治振興課
		決算額	397千円
事業内容	<p>市民の行政に対する苦情や要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>市民相談</p> <p>行政に対する市民の理解と協力を求めるとともに、充実した市政を実現することを目指し、市民相談・行政懇談会等の内容を関係部課へ伝えて適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設29カ所に設置している「市民の声」投書箱により、より広い範囲から市政に対する意見、提言などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩みごと、心配ごとなど日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介する等の対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,687件 (市政相談1,147件、他の行政機関等65件、民事相談ほか475件) ・行政懇談会 11回 ・行政相談 12回 (毎月第3木曜日) <p>市政モニター</p> <p>広く全市的視野に立った調査広聴として市政モニター制度を実施した。</p> <p>市政モニター162人(平成26年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政モニターアンケート(2回5テーマ実施) <ul style="list-style-type: none"> 第1回アンケート(回収率72.4%) <ul style="list-style-type: none"> 宇治市の広報に関するアンケート 公共施設における市民向けインターネット環境に関するアンケート 第2回アンケート(回収率72.4%) <ul style="list-style-type: none"> 市政モニター事業に関するアンケート 防災に関するアンケート ごみの分別、収集日程に関するアンケート ・市政モニター公共施設見学会(2回実施) <ul style="list-style-type: none"> 市政について理解を深め、市政モニター活動の参考となるよう実施した。 第1回 7月12日 宇治市宇治浄水場、宇治市東宇治浄化センター 第2回 11月10日 宇治市植物公園 ・市政モニター随時通信 22テーマ ・市政モニターのつどい(5月23日) <ul style="list-style-type: none"> 「市政モニター制度について」、「宇治市第5次総合計画について」 		
事業評価	<p>市民相談や市政モニターへのアンケート調査などを行い、市民ニーズの把握をするとともに市民の要望を市政に反映できた。今後も幅広く市民ニーズを把握できるよう広聴手法を充実させる。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	56,233千円														
事業内容	小倉・木幡など市内6カ所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し・戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p>市民課業務の年間取扱い件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名称</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">14,023</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">15,764</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">10,106</td> </tr> <tr> <td>榎島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">7,144</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">7,382</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">5,416</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	14,023	木幡行政サービスコーナー	15,764	南宇治行政サービスコーナー	10,106	榎島行政サービスコーナー	7,144	東宇治行政サービスコーナー	7,382	開行政サービスコーナー	5,416
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	14,023																
木幡行政サービスコーナー	15,764																
南宇治行政サービスコーナー	10,106																
榎島行政サービスコーナー	7,144																
東宇治行政サービスコーナー	7,382																
開行政サービスコーナー	5,416																
事業評価	市内6カ所に開設しており、地域住民の利便性向上を図ることができた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実に努める。																

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課																						
		決算額	5,406千円																						
事業内容	住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍全部事項証明書等の諸証明発行業務を行う。																								
成果・実績	<p>住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱い分を含む）</p> <p style="text-align: center;">（通）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>印鑑登録証明書交付数</td> <td style="text-align: right;">65,414</td> </tr> <tr> <td>住民票の写し交付数</td> <td style="text-align: right;">88,154</td> </tr> <tr> <td>戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">16,261</td> </tr> <tr> <td>戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">5,457</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">7,104</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">228</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票交付数</td> <td style="text-align: right;">2,585</td> </tr> <tr> <td>閲覧件数</td> <td style="text-align: right;">13件</td> </tr> <tr> <td>諸証明交付数</td> <td style="text-align: right;">7,075</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証交付数</td> <td style="text-align: right;">6,215</td> </tr> <tr> <td>住民基本台帳カード交付数</td> <td style="text-align: right;">749</td> </tr> </tbody> </table> <p>公的個人認証サービスの申請は396件（うち1件無料）</p>			印鑑登録証明書交付数	65,414	住民票の写し交付数	88,154	戸籍全部事項証明書等交付数	16,261	戸籍個人事項証明書等交付数	5,457	除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,104	除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	228	戸籍附票交付数	2,585	閲覧件数	13件	諸証明交付数	7,075	印鑑登録証交付数	6,215	住民基本台帳カード交付数	749
印鑑登録証明書交付数	65,414																								
住民票の写し交付数	88,154																								
戸籍全部事項証明書等交付数	16,261																								
戸籍個人事項証明書等交付数	5,457																								
除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,104																								
除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	228																								
戸籍附票交付数	2,585																								
閲覧件数	13件																								
諸証明交付数	7,075																								
印鑑登録証交付数	6,215																								
住民基本台帳カード交付数	749																								
事業評価	各種証明書の発行等について適正に事務を執行した。今後は市民ニーズを踏まえて、さらなるサービスの充実に検討する必要がある。																								

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農道・ため池・農業用施設維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	10,079千円
事業内容	農業基盤の保全整備を図るため、本市が所有または管理する農道やため池、農業用水路の維持管理等を行う。		
成果・実績	農業用水路の草刈りや浚渫をはじめ、農業用施設の維持管理に努めた。		
事業評価	農業用施設について適切に維持管理を行い、農業生産に供することができた。今後も継続して適切な管理に努める。		

事務事業名	巨椋池地域排水対策協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	7,522千円
事業内容	巨椋池土地改良区管理水路への都市排水流入による維持管理費用の負担について、本市、京都市、久御山町及び巨椋池土地改良区で平成3年6月に設立した巨椋池地域排水対策協議会において、負担割合を定め共同で管理を行う。		
成果・実績	巨椋池地域排水対策協議会への負担を通して、排水路の維持管理を行い、排水機能の保全を図った。 巨椋池地域排水対策協議会管理水路 排水幹線、承水溝3号、主排4号、主排5号、主排8号		
事業評価	関係団体において巨椋池地域排水対策協議会を組織し、共同で維持管理を適正に行った。将来的な維持管理のあり方については引き続き検討する必要がある。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	巨椋池農地基盤整備事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	24,520千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された排水機場の機能を高めるための巨椋池農地基盤整備事業に要する費用を負担する。本市、京都市、久御山町、巨椋池土地改良区で推進協議会を組織し、事業の早期完成を目指す。		
成果・実績	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場に接続する排水関連施設の整備が、府営事業として実施され、防災機能の強化が進んだ。		
事業評価	府営事業負担金を適正に執行した。今後も京都府等と連携して、事業の推進に努める。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	25,685千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。		
事業評価	法定協議会に対する負担金を適正に執行した。災害防止のため、今後も関係者と連携し、排水機場の適正な管理に努める。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	5,532千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	<p>全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金や入賞報奨金などを交付した。平成24年度より新たに宇治市茶品評会の入賞者に対して入賞報奨金を交付している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">第67回全国 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第66回関西 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第46回宇治市 茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">出品数</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: center;">31</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優等数</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1等賞</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2等賞</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3等賞</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農林水産大臣賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産地賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>				第67回全国 茶品評会	第66回関西 茶品評会	第46回宇治市 茶品評会	出品数	40	42	31	優等数	/	/	2	1等賞	5	2	4	2等賞	4	9	3	3等賞	8	7	4	農林水産大臣賞	受賞	受賞	/	産地賞	受賞	受賞	/
	第67回全国 茶品評会	第66回関西 茶品評会	第46回宇治市 茶品評会																																
出品数	40	42	31																																
優等数	/	/	2																																
1等賞	5	2	4																																
2等賞	4	9	3																																
3等賞	8	7	4																																
農林水産大臣賞	受賞	受賞	/																																
産地賞	受賞	受賞	/																																
事業評価	品評会への出品を奨励することで、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につながった。今後も宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持するとともに、さらなる向上のため、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成26年度も引き続き支援を行う。																																		

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課												
		決算額	3,089千円												
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、茶園拡大・新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。														
成果・実績	<p>茶園拡大及び改植事業52.5aに補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">茶園拡大</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">33.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">改植</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">19.5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">52.5</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	茶園拡大	1	33.0	改植	4	19.5	合計	5	52.5
	事業実施件数	面積(a)													
茶園拡大	1	33.0													
改植	4	19.5													
合計	5	52.5													
事業評価	改植事業に助成を行い、宇治茶の生産振興を図ることができた。宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持するとともに、さらなる向上のため、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成26年度も引き続き支援を行う。														

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	高品質茶推進事業補助金	所管課	農林茶業課																																	
		決算額	4,166千円																																	
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善や生産性の向上につながる農家の幅広い対策を支援する。																																			
成果・実績	環境にやさしい茶づくりや寒冷紗等による茶園管理の省力化などへの支援を行うとともに、ほんず茶園や手摘みによる高品質茶の生産には欠かせない市内産宇治茶の伝統の継承を図る農家の取組にも支援を行った。平成25年度より一部標準事業費の見直しを行った。																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業実施件数</th> <th>面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境にやさしい茶生産対策</td> <td>13</td> <td>868.5</td> </tr> <tr> <td>手摘み茶推進対策</td> <td>33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凍霜害対策</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>伝統技術継承対策</td> <td>22</td> <td>425.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">生産省力化対策</td> <td>寒冷紗二重式</td> <td>1</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>寒冷紗一重式</td> <td>1</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>棚整備(永久棚)</td> <td>2</td> <td>26.0</td> </tr> <tr> <td>被覆張替え</td> <td>5</td> <td>64.3</td> </tr> <tr> <td>点滴灌水</td> <td>1</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78</td> <td>1,413.8</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	環境にやさしい茶生産対策	13	868.5	手摘み茶推進対策	33		凍霜害対策	0	-	伝統技術継承対策	22	425.0	生産省力化対策	寒冷紗二重式	1	10.0	寒冷紗一重式	1	10.0	棚整備(永久棚)	2	26.0	被覆張替え	5	64.3	点滴灌水	1	10.0	合計	78
	事業実施件数	面積(a)																																		
環境にやさしい茶生産対策	13	868.5																																		
手摘み茶推進対策	33																																			
凍霜害対策	0	-																																		
伝統技術継承対策	22	425.0																																		
生産省力化対策	寒冷紗二重式	1	10.0																																	
	寒冷紗一重式	1	10.0																																	
	棚整備(永久棚)	2	26.0																																	
	被覆張替え	5	64.3																																	
	点滴灌水	1	10.0																																	
合計	78	1,413.8																																		
事業評価	「ほんず」や手摘み支援などにより、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持するとともに、さらなる向上のため、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成26年度も引き続き支援を行う。																																			

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	森林病虫害防除費	所管課	農林茶業課										
		決算額	2,595千円										
事業内容	従来の松くい虫対策に加え、平成22年度より実施している市有林を対象としたカシノナガキクイムシの対策で薬剤による予防・保護を行うとともに、被害木の伐倒処理を行い被害の蔓延を防止する。森林病虫害及び松くい虫防除交付金の交付を受けて実施している。												
成果・実績	森林組合に委託して事業を実施した。												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">工種</th> <th style="width: 40%;">事業量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松くい虫(樹幹注入)</td> <td style="text-align: center;">54</td> </tr> <tr> <td>松くい虫(伐倒駆除)</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td>カシノナガキクイムシ(コーティング)</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </tbody> </table>			工種	事業量(m ³)	松くい虫(樹幹注入)	54	松くい虫(伐倒駆除)	5	カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)	30	カシノナガキクイムシ(コーティング)	30
工種	事業量(m ³)												
松くい虫(樹幹注入)	54												
松くい虫(伐倒駆除)	5												
カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)	30												
カシノナガキクイムシ(コーティング)	30												
事業評価	薬剤散布及び伐倒駆除を行い、病虫害被害の蔓延の防止を図ることができた。カシノナガキクイムシについては、被害の状況により迅速な対応が必要となるため、状況を注視しながら平成26年度も継続実施する。												

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課																																	
		決算額	2,697千円																																	
事業内容	シカやイノシシなど鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、鳥獣の駆除を宇治猟友会に委託するとともに、防護柵の設置を行い、鳥獣の侵入を防止する。																																			
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、宇治猟友会に委託して有害鳥獣を捕獲した。また、地元山間集落の協力のもと集落周辺に防護柵を設置した。</p> <table style="width: 100%; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="width: 15%;">捕獲数</td> <td style="width: 15%;">オスジカ</td> <td style="width: 15%;">33頭</td> <td style="width: 15%;">メスジカ</td> <td style="width: 15%;">18頭</td> <td style="width: 15%;">イノシシ</td> <td style="width: 15%;">14頭</td> <td style="width: 15%;">アライグマ</td> <td style="width: 15%;">16頭</td> <td style="width: 15%;">ヌートリア</td> <td style="width: 15%;">23頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">防護柵(金網)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H=2.0m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>L=350m</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分 防護柵設置費 354千円</p>			捕獲数	オスジカ	33頭	メスジカ	18頭	イノシシ	14頭	アライグマ	16頭	ヌートリア	23頭				防護柵(金網)												H=2.0m						L=350m
捕獲数	オスジカ	33頭	メスジカ	18頭	イノシシ	14頭	アライグマ	16頭	ヌートリア	23頭																										
			防護柵(金網)																																	
				H=2.0m						L=350m																										
事業評価	有害鳥獣の駆除等により農作物への被害防止に努めているが、決定的な対策がないのが実情である。平成26年度も継続して取組を続けるとともに、地域と連携してより効果的な対策を検討する必要がある。																																			

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	林道維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	6,329千円
事業内容	林道における通行の安全を確保するため、日常の維持管理を行うとともに、災害等にも適切に対応する。		
成果・実績	林道は、山間部における生活道路としての機能を有するため、不法投棄された廃棄物の撤去や路肩草刈り、側溝清掃、法面補修などの日常の維持管理に努めるとともに、トンネル点検等、安全対策を実施した。		
事業評価	本市が所有または管理する林道については適切に維持管理を行い、通行の安全の確保に努めた。引き続き、市民の利用頻度や防災上の観点なども考慮しながら、適切な管理に努める。		

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,098千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民や観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ（9万尾）、ふな（5千尾）、あまご（1千尾）、はえ（1万2千尾）の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。 なお、コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。また、うなぎの放流は、種苗の入手が困難なため中止となった。		
事業評価	京都府の補助制度を活用し、種苗放流事業に助成を行うことにより、水産資源の増殖と河川の環境改善などに寄与しており、今後も継続して取組を進める。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	12,738千円																								
事業内容	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながる。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																										
成果・実績	<p>施設利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td>4</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>356</td> <td>24,119</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>140</td> <td>2,938</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td>184</td> <td>4,328</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td>240</td> <td>4,418</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td>279</td> <td>4,784</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,203</td> <td>41,387</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	4	800	多目的ホール	356	24,119	会議室	140	2,938	第一研修室	184	4,328	第二研修室	240	4,418	茶室	279	4,784	合計	1,203	41,387
	件数	人数																									
産業情報コーナー	4	800																									
多目的ホール	356	24,119																									
会議室	140	2,938																									
第一研修室	184	4,328																									
第二研修室	240	4,418																									
茶室	279	4,784																									
合計	1,203	41,387																									
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営した。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後も継続して有効活用を図る。																										

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	商工観光課																					
		決算額	1,550,207千円																					
事業内容	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であること、法人は代表者の連帯保証人が必要であること（個人の場合不要）を条件として融資する。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																							
成果・実績	<p>宇治市中小企業低利融資</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td>366</td> <td>37,606</td> </tr> <tr> <td>保証料補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）</td> <td>4</td> <td>657</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td>1,006</td> <td>114,508</td> </tr> <tr> <td>利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）</td> <td>14</td> <td>1,653</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td>10</td> <td>7,783</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td>5金融機関</td> <td>1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>宇治市中小企業低利融資実行は367件、融資金額は4,105,700千円</p>				件数	金額（千円）	保証料補給	366	37,606	保証料補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	4	657	利子補給	1,006	114,508	利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	14	1,653	損失補償	10	7,783	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額（千円）																						
保証料補給	366	37,606																						
保証料補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	4	657																						
利子補給	1,006	114,508																						
利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	14	1,653																						
損失補償	10	7,783																						
預託金	5金融機関	1,388,000																						
事業評価	市内の中小企業者に対して、事業資金の低利融資保証料及び利子補給補助を行い、経営の安定化に寄与した。中小企業の経営の安定と健全な事業資金供給のため、平成26年度も継続実施する。																							

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	商工観光課									
		決算額	5,847千円									
事業内容	商店街・小売市場が行う商店街施設（街路灯・アーチ・統一看板等）を設置する事業並びに商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。											
成果・実績	商店街等が実施する活性化、情報化対策事業等に対して、12件9団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">4,913</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">934</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額（千円）	活性化対策事業	10	4,913	情報化対策事業	2	934
	件数	金額（千円）										
活性化対策事業	10	4,913										
情報化対策事業	2	934										
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助し、商店街等の振興発展を図ることができた。今後は、商店街のニーズを把握するとともに、自立・自主性を高める、より効果的な補助内容の検討が必要である。さらに、各商店街による「商店街活性化計画」の策定を促すことで、商店街の活性化を図る。											

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	商工観光課									
		決算額	26,676千円									
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。											
成果・実績	<p>入館者数 238,900人 観光案内件数 39,187件</p> <p>貸館状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">利用件数</th> <th style="text-align: center;">施設使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">展示会場</td> <td style="text-align: center;">87（うち有料件数0）</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和室</td> <td style="text-align: center;">12（うち有料件数3）</td> <td style="text-align: center;">9,000</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料（円）	展示会場	87（うち有料件数0）	0	和室	12（うち有料件数3）	9,000
	利用件数	施設使用料（円）										
展示会場	87（うち有料件数0）	0										
和室	12（うち有料件数3）	9,000										
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営した。観光宇治の拠点施設として、観光振興の大きな役割を担っている。施設が老朽化していることから、今後も適切な施設管理に努める。											

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	商工観光課												
		決算額	11,158千円												
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">入席者数</td> <td style="text-align: right;">14,259人</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">うち有料券数</td> <td style="text-align: right;">13,238人</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">うち招待券数</td> <td style="text-align: right;">1,021人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-top: 10px;">専用使用料利用状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">件数</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">専用使用料（円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">2（うち有料件数1）</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">3,000</td> </tr> </table>			入席者数	14,259人	うち有料券数	13,238人	うち招待券数	1,021人	専用使用料利用状況		件数	専用使用料（円）	2（うち有料件数1）	3,000
入席者数	14,259人														
うち有料券数	13,238人														
うち招待券数	1,021人														
専用使用料利用状況															
件数	専用使用料（円）														
2（うち有料件数1）	3,000														
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営した。「対鳳庵」で気軽に本場の宇治茶を提供することで宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図ることができた。今後も宇治茶の普及を目的とした施設のPRを国内外に対して強化していくとともに、「宇治市観光振興計画」の内容を踏まえて拡充した提供メニューのPRも行う。														

事務事業名	観光協会補助金	所管課	商工観光課
		決算額	14,555千円
事業内容	四季を通じた観光イベントを企画・実施することで、市民や観光客に憩いの場を提供し、本市の観光振興に大きく貢献している（公社）宇治市観光協会に対して助成を行う。		
成果・実績	宇治川花火大会、宇治川の鶉飼、観光宣伝ポスター作成など、（公社）宇治市観光協会が実施する諸事業に対し助成を行い、観光振興を図った。		
事業評価	花火大会をはじめとする諸事業に補助し、観光宇治のイメージアップを図ることができた。今後も協働で事業の内容を充実し、さらなる観光振興に繋げるため平成26年度も継続して助成を行う。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光振興計画推進事業費	所管課	商工観光課									
		決算額	2,214千円									
事業内容	近年の観光客のニーズや社会情勢の変化を的確に把握し、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指すため、平成34年度までを実施期間とする「宇治市観光振興計画」を策定し推進する。											
成果・実績	<p>平成25年度4月に「宇治市観光振興計画」を策定した。</p> <p>その推進に向け、学識経験者、（公社）宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」を設置するとともに、委員会の構成団体に三室戸寺、黄檗山萬福寺、宇治旅館組合、宇治観光土産品組合、交通事業者などを加えた連携会議を開催し、宇治の観光活性化のための議論を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">観光振興計画推進事業費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">2,214千円</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>宇治市観光振興計画策定事業費</td> <td style="text-align: right;">1,986千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>観光振興計画推進事業費</td> <td style="text-align: right;">228千円</td> <td></td> </tr> </table>			観光振興計画推進事業費	2,214千円		宇治市観光振興計画策定事業費	1,986千円		観光振興計画推進事業費	228千円	
観光振興計画推進事業費	2,214千円											
宇治市観光振興計画策定事業費	1,986千円											
観光振興計画推進事業費	228千円											
事業評価	恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指すため、「宇治市観光振興計画」を策定した。今後は「宇治市観光振興計画」で示したアクションプランに基づき、観光事業者等をはじめ、宇治市観光協会、市民、行政が互いに協働して、「宇治茶に染める観光まちづくり」に取り組む。											

事務事業名	宇治市観光活性化事業臨時補助金	所管課	商工観光課																											
		決算額	1,939千円																											
事業内容	世界遺産である平等院と宇治上神社、及び宇治川河川改修による影響を鑑み、宇治市観光の活性化に寄与するイベントや誘客に向けた広報等に対しての助成を行う。																													
成果・実績	<p>宇治市内に主たる活動拠点を置く団体が実施するイベントや広報等に助成を行い、観光振興を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">宇治市観光活性化事業臨時補助金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1,939千円</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3">イベント</td> </tr> <tr> <td>近畿地区大会宇治大会</td> <td style="text-align: right;">180千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>京阪宇治駅前3商店街・宇治線開通100周年記念事業</td> <td style="text-align: right;">325千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">誘客</td> </tr> <tr> <td>～再発見 京都・宇治めぐり～観光PR事業</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>台湾観光客誘客事業</td> <td style="text-align: right;">450千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平等院鳳凰堂落慶記念のぼり設置事業</td> <td style="text-align: right;">184千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宇治観光ボランティアガイドクラブパンフレット作成事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> <td></td> </tr> </table>			宇治市観光活性化事業臨時補助金	1,939千円		イベント			近畿地区大会宇治大会	180千円		京阪宇治駅前3商店街・宇治線開通100周年記念事業	325千円		誘客			～再発見 京都・宇治めぐり～観光PR事業	500千円		台湾観光客誘客事業	450千円		平等院鳳凰堂落慶記念のぼり設置事業	184千円		宇治観光ボランティアガイドクラブパンフレット作成事業	300千円	
宇治市観光活性化事業臨時補助金	1,939千円																													
イベント																														
近畿地区大会宇治大会	180千円																													
京阪宇治駅前3商店街・宇治線開通100周年記念事業	325千円																													
誘客																														
～再発見 京都・宇治めぐり～観光PR事業	500千円																													
台湾観光客誘客事業	450千円																													
平等院鳳凰堂落慶記念のぼり設置事業	184千円																													
宇治観光ボランティアガイドクラブパンフレット作成事業	300千円																													
事業評価	平等院改修、宇治上神社改修、宇治川河川改修により落ち込んでいた宇治市観光の活性化を図るため、観光振興に寄与するイベントや誘客に向けた広報等に対して支援を行い、活性化に寄与した。平等院の改修等による観光への影響を考慮した臨時的補助金であり、平成25年度で終了する。																													

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	商工観光課
		決算額	2,472千円
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・医療事務・介護事務・調剤薬局講座等を開催した。</p> <p style="margin-left: 40px;">講座数 35 講座</p> <p style="margin-left: 40px;">受講人数 226 人</p>		
事業評価	求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。職業訓練が今後もより効果的に継続されるよう職業訓練事業の選定等、さらなる改善に向けた検討が必要である。		

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	商工観光課																				
		決算額	270千円																				
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。																						
成果・実績	<p>技能功労者 9人 (内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">職種</th> <th style="width: 25%;">表彰人数</th> <th style="width: 25%;">職種</th> <th style="width: 25%;">表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大工</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>造園</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>自動車整備</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>電気工事</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>製茶</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>漆工</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>理容</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>左官</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	職種	表彰人数	大工	2	造園	1	自動車整備	1	電気工事	1	製茶	1	漆工	1	理容	1	左官	1
職種	表彰人数	職種	表彰人数																				
大工	2	造園	1																				
自動車整備	1	電気工事	1																				
製茶	1	漆工	1																				
理容	1	左官	1																				
事業評価	表彰により功労を称え、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚を図ることができた。今後も幅広い職業の技能者を称えるよう継続実施する。																						

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	緊急雇用対策事業	所管課	商工観光課
		決算額	37,571千円
事業内容	経済情勢が急速に悪化している状況を踏まえ、国が創設した緊急雇用創出事業臨時特例交付金を基にした京都府緊急雇用対策基金を活用し、雇用・就業機会の創出を図る。		
成果・実績	本市が緊急に実施する必要性の高い4事業を実施し、延べ33人の失業者を雇用し、就業機会の創出に努めた。		
	緊急雇用創出事業	37,571千円	
	歴史資料デジタル化事業	11,687千円	
	強度行動障害者処遇向上手法普及業務	12,920千円	
	宇治観光における情報発信に関する検討等業務	9,964千円	
	宇治市観光振興事業調整・調査等業務	3,000千円	
事業評価	国制度に基づき基金を活用し、様々な事業を行うことで、雇用・就職機会の創出を図ることができた。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	33,858千円
事業内容	宇治市企業立地促進条例に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	<p>市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。</p> <p style="text-align: center;">交付社数 6社</p>		
事業評価	条例に基づき適正に執行し、地域経済の活性化等を行うことができた。平成26年度も市内への企業誘致や企業の市外移転防止、雇用の創出を促進するため、継続実施する。		

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業推進課
		決算額	14,280千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内のベンチャー企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施や、年内100社の目標を立て、市内企業を訪問し、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った。		
事業評価	各種支援を行い、ベンチャー企業育成に努めた。販路拡大、技術開発、資金調達など、入居企業の自立と事業拡大につなげるための支援は必要であり、今後も新たな入居企業を確保し、新産業の創出による雇用の創出を目指して、継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部


事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	1,574千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業及び情報系産業等）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。 助成社数 8社		
事業評価	市内中小企業の展示会出展費用の一部を助成し、産業振興を図ることができた。マーケティング拡大が企業経営の中心課題であり、展示会への出展は新規取引を開拓する上で有効な手法である。市内中小企業者の展示会への出展を促進し、産業振興を図るため、企業の積極的な事業展開に対する助成制度は必要であり、平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業推進課
		決算額	5,970千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。		
事業評価	ベンチャー企業育成、市内企業のサポートをはじめ、セミナー、国・府補助金説明会の開催など産業振興推進の中核施設として、円滑な管理・運営に努めた。引き続き、ベンチャー企業育成工場入居企業や市内企業に対して支援を行うとともに、貸館業務や企業向けセミナーの実施など、センターの活用を図る。		

平成25年度決算成果説明書



総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課																															
		決算額	4,382千円																															
事業内容	人権尊重理念を普及し、さまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組んでいる。																																	
成果・実績	人権強調月間（8月）の取組																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんシネマフェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>2,000人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>近鉄大久保駅前</td> <td>啓発物品配布・コンサート</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんシネマフェスタ	文化センター	2,000人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-	街頭啓発	近鉄大久保駅前	啓発物品配布・コンサート													
	事業名	実施場所	成果等																															
	ひゅうまんシネマフェスタ	文化センター	2,000人参加																															
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																															
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																															
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-																															
	街頭啓発	近鉄大久保駅前	啓発物品配布・コンサート																															
	人権週間（12/4～12/10）の取組																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタ</td> <td>生涯学習センター周辺一帯</td> <td>900人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>コーナンJR宇治駅北店</td> <td>啓発物品配布</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	900人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー等	-	街頭啓発	コーナンJR宇治駅北店	啓発物品配布													
	事業名	実施場所	成果等																															
	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	900人参加																															
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																															
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																															
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー等	-																															
街頭啓発	コーナンJR宇治駅北店	啓発物品配布																																
その他の取組																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月、1月</td> <td>-</td> <td>各号8万部</td> </tr> <tr> <td>楽しく学ぶ人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>237人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月～11月</td> <td>市内小学校4校</td> <td>球根460個配付</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>7,400個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材（DVD等）貸出</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年43本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>4月～5月</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月、1月	-	各号8万部	楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	237人参加	人権の花運動	10月～11月	市内小学校4校	球根460個配付	人権啓発物品配布	年間	各種催し	7,400個配布	啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年43本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-	人権啓発懸垂幕掲示	4月～5月	市役所庁舎	-
事業名	実施時期	実施場所	成果等																															
情報紙「jinken」配布	8月、1月	-	各号8万部																															
楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	237人参加																															
人権の花運動	10月～11月	市内小学校4校	球根460個配付																															
人権啓発物品配布	年間	各種催し	7,400個配布																															
啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年43本貸出																															
市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-																															
人権啓発懸垂幕掲示	4月～5月	市役所庁舎	-																															
<p>山城地区広域連携事業</p> <p>山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>																																		
<p>人権擁護委員の取組への活動支援（人権の花運動）</p> 																																		
事業評価	各事業における参加者数は増加しており、啓発効果は出ている。今後も、アンケート内容の分析によるニーズ把握等を行うとともに、市民自らが実践活動できるような取組を検討するなど、さらに啓発効果を高める事業を実施する。																																	

平成 2 5 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	06 人権尊重社会の実現	
小分類	01 人権教育・啓発の推進	

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	所管課	人権啓発課
		決算額	15,118千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るための事業や各種人権啓発交流事業に取り組んでいる。		
成果・実績	<p>コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,171千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業や学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 4,947千円 「人権尊重理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向け、交流講座の開催や人権啓発イベント開催事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>映画上映会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>健やかからだ講座（こはた館）</p> </div> </div>		
事業評価	市民交流や地域活動の促進及び福祉の向上を目的とした人権教育・啓発事業であり、利用者も徐々に増えている。今後も、さらなる利用者増を含め、効果的な取組を検討する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課																				
		決算額	2,495千円																				
事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、宇治市男女生き生きまちづくり条例（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業や学習機会の提供、市民活動支援を行う。																						
成果・実績	広報・啓発 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>6・10・2・3月</td> <td>-</td> <td>各2,000部</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年17回掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画週間UJIのつどい 講演会</td> <td>6月29日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>101人参加</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td>11月30日・12月1日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>延べ1,000人参加</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・10・2・3月	-	各2,000部	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年17回掲載	男女共同参画週間UJIのつどい 講演会	6月29日	男女共同参画支援センター	101人参加	UJIあさぎりフェスティバル	11月30日・12月1日	男女共同参画支援センター	延べ1,000人参加
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・10・2・3月	-	各2,000部																			
	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年17回掲載																			
	男女共同参画週間UJIのつどい 講演会	6月29日	男女共同参画支援センター	101人参加																			
	UJIあさぎりフェスティバル	11月30日・12月1日	男女共同参画支援センター	延べ1,000人参加																			
	学習機会の提供・市民活動支援 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全6セミナー）</td> <td>年間</td> <td rowspan="5">男女共同参画支援センター他</td> <td>延べ347人参加</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談（全24回のうち2回出前相談）</td> <td>年間</td> <td>延べ101人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（3件）</td> <td rowspan="3">年間</td> <td rowspan="3">延べ787人参加</td> </tr> <tr> <td>地域推進支援事業（2件）</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（2件）</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全6セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ347人参加	ここからチャレンジ相談（全24回のうち2回出前相談）	年間	延べ101人参加	市民企画事業奨励事業（3件）	年間	延べ787人参加	地域推進支援事業（2件）	市民企画サポート事業（2件）				
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
	各種セミナー（全6セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ347人参加																			
	ここからチャレンジ相談（全24回のうち2回出前相談）	年間		延べ101人参加																			
市民企画事業奨励事業（3件）	年間	延べ787人参加																					
地域推進支援事業（2件）																							
市民企画サポート事業（2件）																							
DV対策 宇治市DV対策ネットワーク会議を年3回開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。																							
DV啓発 子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」として、こども福祉課と共催で広報・啓発活動を実施した。																							
デートDV啓発しおりの作成 デートDV防止に向けた啓発のためしおりを作成し、成人式の資料に同封して新成人に配布した。（作成部数2,000部）																							
																							
事業評価	市民企画事業を再構築し、男女共同参画支援センターを会場とする事業に加え、地域の会場で実施する事業も対象としたほか、新たに事業所等が実施する男女共同参画の取組への助成を行うなど、地域に根ざした男女共同参画の推進に努めた。今後も、地域の課題の解決に向けた市民等の実践的活動を一層促進し、多様な市民等と連携・協働して事業を実施し、地域に根ざした男女共同参画の推進に取り組む。																						

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課																		
		決算額	13,235千円																		
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業や女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																				
成果・実績	センター年間利用者数 42,380人 女性問題アドバイザー派遣実績 20件 女性のための相談事業実績																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">相談区分</th> <th>件数 (うちDVに関するもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般相談</td> <td>来館相談</td> <td>138 (34)</td> </tr> <tr> <td>電話相談</td> <td>39 (12)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>177 (46)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">専門相談</td> <td>フェミニスト・カウンセリング</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>こころとからだの相談</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>139</td> </tr> </tbody> </table>			相談区分		件数 (うちDVに関するもの)	一般相談	来館相談	138 (34)	電話相談	39 (12)	合計	177 (46)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	93	こころとからだの相談	9	法律相談	37	合計
相談区分		件数 (うちDVに関するもの)																			
一般相談	来館相談	138 (34)																			
	電話相談	39 (12)																			
	合計	177 (46)																			
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	93																			
	こころとからだの相談	9																			
	法律相談	37																			
	合計	139																			
事業評価	「女性のための相談」事業では、フェミニスト・カウンセリングの回数を拡大したほか、「こころとからだの相談」を、これまでの定期開催から必要に応じた相談日の設定に変更するなど、利用者ニーズにあった相談の提供や効率的な運営を図ることができた。今後も、利用状況やニーズを把握し、利用者にとってより効果的な取組になるよう努める。																				

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	11,251千円
事業内容	男女共同参画支援センター、地域子育て支援基幹センター、ファミリー・サポート・センター、観光案内所、民間保育園及び宇治駅前交番の複合施設であるJR宇治駅前市民交流プラザ(ゆめりあ うじ)の施設管理を行う。		
成果・実績	男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。		
事業評価	施設を適切に管理し、男女問わず幅広い年代の市民や観光客の利用に供することができた。今後も市民交流の場として活用されるよう、施設の周知を図り、適正な運営に努める。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	地球温暖化対策関連事業	所管課	環境企画課
		決算額	10,728千円
事業内容	本市域から発生する温室効果ガスを平成35年度までに平成2年度比で25%以上削減するため、「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づいて、市民・事業者に対して効果的な取組の普及啓発、温室効果ガス排出量削減運動の推進などを実施するとともに、本市自らの温室効果ガス排出量削減対策を推進する。		
成果・実績	エコファミリー推進事業費 94千円 家庭における省エネ・省資源を推進し、温室効果ガス排出量の削減を目的としたエコファミリー夏版、冬版を実施した。また、参加者を対象に、エコ・ポート長谷山への施設見学を実施した。事業への参加は91世帯、エコファミリー認定は61世帯となり、エコファミリー認定世帯によるCO ₂ 削減量の合計は、京都府南部の平均世帯比で、年間13.6 t-CO ₂ であった。		
	地球温暖化対策推進事業費 369千円 宇治環境フェスタを開催し、地球温暖化対策等の普及啓発を図った。来場者は約600人であった。		
	公共施設温室効果ガス削減対策事業費 10,265千円 「宇治市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」に基づき、夏冬の節電期間に合わせる形で公共施設の蛍光灯のLED化を実施した。夏冬合わせて17施設で924台をLED化し、年間のCO ₂ 削減量は32.4 t-CO ₂ となる。		
事業評価	各種の事業を実施することによって、市民や事業者の地球温暖化に対する意識を高めるとともに公共施設のLED化を進めることができた。今後は、国や京都府における温室効果ガス排出量の削減目標やエネルギー政策等を見据えながら、より効果の高い取組に重点を移し温室効果ガス排出量の削減を図る。		

事務事業名	太陽光発電システム設置事業費補助金	所管課	環境企画課							
		決算額	25,798千円							
事業内容	再生可能エネルギーを導入して民生家庭部門から排出される温室効果ガスの削減を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を補助する。 なお、本市の制度は、国の補助制度を受けた人への上乗せ補助として位置づけている。									
成果・実績	補助対象となる太陽光発電システム設置工事に対して、費用の一部を補助した。									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助件数</th> <th>補助単価 (千円/kW)</th> <th>交付金額 (千円)</th> <th>年間CO₂削減量 (t-CO₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>362</td> <td>20又は15</td> <td>25,798</td> <td>468</td> </tr> </tbody> </table>			補助件数	補助単価 (千円/kW)	交付金額 (千円)	年間CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)	362	20又は15	25,798
補助件数	補助単価 (千円/kW)	交付金額 (千円)	年間CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)							
362	20又は15	25,798	468							
事業評価	地球温暖化対策に直接的な効果の見られる事業であり、市域内における温室効果ガス排出量の削減に寄与した。									

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議運営費	所管課	環境企画課																
		決算額	224千円																
事業内容	「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」を進めるため、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止活動の全市的な普及・啓発を行う「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を運営する。																		
成果・実績	<p>環境学習推進グループ、エコライフ推進グループ、みどりのまちづくり推進グループ、森林保全グループ、広報グループの5グループで、市民に対し身近で楽しみながら実践できる地球温暖化防止活動の普及・啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">家庭の省エネ相談所</td> <td style="width: 16.5%;">14回開設</td> <td style="width: 33%;">緑のカーテン講習会</td> <td style="width: 16.5%;">5回講師派遣</td> </tr> <tr> <td>子ども環境学習会</td> <td>3回講師派遣</td> <td>エコットクッキング教室</td> <td>2回開催</td> </tr> <tr> <td>出前講座</td> <td>1回実施</td> <td>宇治環境フェスタ出展</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食べきりフェスタ出展等</td> <td></td> <td>イベント参加者</td> <td>総計1,640人</td> </tr> </table> <p>広報紙 年4回発行 総計3,000部</p>			家庭の省エネ相談所	14回開設	緑のカーテン講習会	5回講師派遣	子ども環境学習会	3回講師派遣	エコットクッキング教室	2回開催	出前講座	1回実施	宇治環境フェスタ出展		食べきりフェスタ出展等		イベント参加者	総計1,640人
家庭の省エネ相談所	14回開設	緑のカーテン講習会	5回講師派遣																
子ども環境学習会	3回講師派遣	エコットクッキング教室	2回開催																
出前講座	1回実施	宇治環境フェスタ出展																	
食べきりフェスタ出展等		イベント参加者	総計1,640人																
事業評価	設立から6年目を迎えたパートナーシップ会議は、会員の積極的な活動により、市民への普及啓発を着実に進めている。今後も温室効果ガス排出量削減に向け、より効果の高い新たな事業を展開する必要がある。																		


事務事業名	緑のカーテン推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	2,024千円
事業内容	本事業は、地球温暖化対策としての「緑のカーテン」を普及させるため、市役所自ら緑のカーテンを実践することで市民に啓発するとともに、市民・事業者向けに講習会やモニター制度、コンテスト等を実施する。		
成果・実績	<p>市庁舎議会棟南側等において、緑のカーテンを設置し、普及啓発及び庁舎の温室効果ガス排出量の削減を図った。また、小学校（6校）、幼稚園（2園）、保育所（4所）、中学校（2校）、その他公共施設（17施設）及び3つの商店街が、緑のカーテンに取り組んだ。</p> <p>緑のカーテン市民モニター制度では、個人36人と6事業所の参加があった。緑のカーテンの生育状況や涼しさの効果について報告を受けるとともに、その内容をホームページで公開し、市民への普及啓発を図った。</p> <p>緑のカーテンを設置した世帯においては、冷房の使用頻度が減ることで、市域の温室効果ガス排出量の削減に寄与した。</p> <p>コンテストでは22件の応募があり、市長賞など5件を表彰した。</p>		
事業評価	緑のカーテンは、身近で楽しみながら実施できる取組であることから、講習会や市民モニターへの応募が多く、市域におけるカーテンの普及を効果的に進めることができた。市民モニター制度についてはこれまで4カ年実施し、事業効果等の把握及び普及に一定の成果が得られたため、平成25年度で制度を終了し、今後は講習会の開催を中心に事業を実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	02 環境保全対策の強化

所管部局
市民環境部


事務事業名	IS014001推進費	所管課	環境企画課
		決算額	77千円
事業内容	<p>「宇治市第2次環境保全計画」の望ましい環境像である『宇治の豊かな「歴史・文化」と「自然」を守り育て、将来にわたって安心して暮らせる「ふるさと宇治」』の実現のため、IS014001環境マネジメントシステムを運用して環境改善を継続的に実施する。</p>		
成果・実績	<p>本市のIS014001の取組は、これまでに蓄積した環境マネジメントシステム運用の経験とノウハウを生かし、平成25年4月に「自己適合宣言」へと移行した。 平成26年2月には外部審査を受け、本市の環境マネジメントシステムがIS014001の規格に適合しているものと判断されたことから、本市の環境負荷の低減に向けた取組は適正に維持・管理され着実に実施されているといえる。</p>		
事業評価	<p>自己適合宣言後の市独自の取組においても、これまでのノウハウを生かし、IS014001の規格に適合した運用が図れた。今後も引き続き環境保全や地球温暖化対策につながるような事業展開を図る。</p>		




事務事業名	環境保全関連事業	所管課	環境企画課						
		決算額	20,805千円						
事業内容	<p>市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。</p>								
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">環境監視費</td> <td style="text-align: right;">2,981千円</td> </tr> <tr> <td>発生源監視費</td> <td style="text-align: right;">941千円</td> </tr> <tr> <td>自動車排出ガス監視測定局運営費</td> <td style="text-align: right;">16,883千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			環境監視費	2,981千円	発生源監視費	941千円	自動車排出ガス監視測定局運営費	16,883千円
環境監視費	2,981千円								
発生源監視費	941千円								
自動車排出ガス監視測定局運営費	16,883千円								
事業評価	<p>市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施し、生活環境保全に努めた。今後も継続した環境及び発生源監視測定を行う必要がある。</p>								

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部


事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課
		決算額	2,117千円
事業内容	<p>狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付等事務を行う。また、府保健所との連携のもと、犬・猫等動物の適正飼養についての啓発活動を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内公共施設を中心に計26カ所で集合注射接種会場を設け、884頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに643頭の登録を行い、総登録数は10,717頭となった。さらには、犬の鳴き声や糞尿などに対する苦情対応や適正な動物の飼養に関する啓発を実施した。</p>		
			
事業評価	<p>狂犬病予防注射の集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与するとともに、適正な動物の飼養に関する意識向上を図ることができた。公衆衛生の更なる向上を図るため、平成26年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	環境衛生対策関連事業	所管課	環境企画課																
		決算額	1,741千円																
事業内容	<p>良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。</p>																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">そ族及び衛生害虫対策費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1,540千円</td> <td rowspan="3" style="width: 20%; text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td>野蜂駆除</td> <td style="text-align: right;">462件</td> </tr> <tr> <td>トビケラ駆除薬剤散布</td> <td style="text-align: right;">年2回（宇治川兩岸）</td> </tr> <tr> <td>あき地雑草等除去費</td> <td style="text-align: right;">201千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指導件数</td> <td style="text-align: right;">89件（34,558㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理件数</td> <td style="text-align: right;">86件（34,034㎡）</td> <td></td> </tr> </table>			そ族及び衛生害虫対策費	1,540千円		野蜂駆除	462件	トビケラ駆除薬剤散布	年2回（宇治川兩岸）	あき地雑草等除去費	201千円		指導件数	89件（34,558㎡）		処理件数	86件（34,034㎡）	
そ族及び衛生害虫対策費	1,540千円																		
野蜂駆除	462件																		
トビケラ駆除薬剤散布	年2回（宇治川兩岸）																		
あき地雑草等除去費	201千円																		
指導件数	89件（34,558㎡）																		
処理件数	86件（34,034㎡）																		
事業評価	<p>あき地の適正管理に関する指導等を実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。 また、衛生害虫対策については、市民等への危険性が高い野蜂駆除を行った。トビケラ対策については、薬剤散布の実施時期や回数を見直すほか、長期的な対策方法についても引き続き検証を行う。</p>																		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	齋場施設運営費	所管課	環境企画課								
		決算額	73,280千円								
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬や葬祭などの利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。										
成果・実績	(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な齋場事業を実施した。										
	齋場利用実績										
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>火葬場</td> <td style="text-align: right;">3,162 件</td> </tr> <tr> <td>待合室</td> <td style="text-align: right;">793 件</td> </tr> <tr> <td>安置室</td> <td style="text-align: right;">117 件</td> </tr> <tr> <td>葬祭場</td> <td style="text-align: right;">124 件</td> </tr> </table>	火葬場	3,162 件	待合室	793 件	安置室	117 件	葬祭場	124 件		
火葬場	3,162 件										
待合室	793 件										
安置室	117 件										
葬祭場	124 件										
事業評価	京都府南部地域において火葬場を有する齋場として果たす役割は大きく、公共の福祉に調和した事業を厳粛に実施することができた。今後も市民の宗教的感情に沿った事業の実施に努めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、ニーズに対応した施設運営を図る。										

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課								
		決算額	24,168千円								
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、墓地使用者の利便だけでなく墓地公園を利用する全ての人に癒えるくつろぎの場を提供する。 また、公営の墓地として公平性・永続性を踏まえた墓地運営を行い、使用者が永代にわたって安心して墓参できる墓園環境を保持する。										
成果・実績	(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年2回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用許可数は、2,887区画となった。										
	新規使用許可数										
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>2m²</td> <td style="text-align: right;">76 件</td> </tr> <tr> <td>3m²</td> <td style="text-align: right;">11 件</td> </tr> <tr> <td>4m²</td> <td style="text-align: right;">3 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">90 件</td> </tr> </table>	2m ²	76 件	3m ²	11 件	4m ²	3 件	合計	90 件		
2m ²	76 件										
3m ²	11 件										
4m ²	3 件										
合計	90 件										
事業評価	市営墓地として公平性、中立性、継続性が求められる中、公共の福祉に調和した事業を適切に実施することができた。今後は市民のニーズを把握しながら、墓所のあり方を検討する必要がある。										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	1,760千円
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。		
成果・実績	下水道事業計画区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。		
	人槽	設置数	補助単価 (千円)
	5	4	332
	7	1	414
	10	0	548
交付金額 (千円)	1,328		414
0			0
事業評価	浄化槽設置費用の一部を補助することにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。平成26年度も継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業	所管課	ごみ減量推進課		
		決算額	295,224千円		
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を委託により実施する。				
成果・実績	可燃物等収集運搬委託費	65,940千円			
	不燃物収集運搬委託費	152,844千円			
	びん・ペットボトル・発泡トレイ類収集運搬委託費	71,690千円			
	溝土収集運搬委託費	4,750千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)			収集方法等
		23	24	25	
	可燃ごみ	26,865	25,957	24,920	23年度 3台委託 24,25年度 4台委託
	不燃ごみ	9,736	9,412	9,264	委託 (一部地域除く)
	缶	334	368	345	23年度 3台委託 24,25年度 4台委託
	びん	1,151	1,139	1,131	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	392	434	502	委託 (一部地域除く)
	発泡トレイ類	86	87	84	委託 (一部地域除く)
	紙パック	29	26	28	直営
溝土	68	76	55	委託	
家電リサイクル法 対象家電製品	76台	54台	66台	直営	
死獣	7	6	7	直営 (24年度より一部委託)	
小型家電			3	直営 (26年1月開始)	
ごみ出しが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施した。 ふれあい収集 総世帯数353世帯(平成26年3月31日現在)					
事業評価	直営及び委託により収集運搬業務を適正に実施した。平成26年度も継続実施する。				

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	ごみ減量推進課																																			
		決算額	502千円																																			
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを、「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に定められた再資源化率が達成可能な再資源化施設に運搬し、同法に準じた適切な処理を図る。																																					
成果・実績	廃家電運搬処理委託費 498千円 不法投棄分処理台数 (台) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目</th> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> <th style="text-align: center;">25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">テレビ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">227</td> <td style="text-align: center;">173</td> <td style="text-align: center;">91</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">冷蔵庫(冷凍庫含む)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">洗濯機・衣類乾燥機</td> <td></td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアコン</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">パソコン</td> <td></td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">281</td> <td style="text-align: center;">240</td> <td style="text-align: center;">139</td> </tr> </tbody> </table>			品目	年度	23	24	25	テレビ		227	173	91	冷蔵庫(冷凍庫含む)		30	37	35	洗濯機・衣類乾燥機		8	18	8	エアコン		4	9	3	パソコン		12	3	2	合 計		281	240	139
品目	年度	23	24	25																																		
テレビ		227	173	91																																		
冷蔵庫(冷凍庫含む)		30	37	35																																		
洗濯機・衣類乾燥機		8	18	8																																		
エアコン		4	9	3																																		
パソコン		12	3	2																																		
合 計		281	240	139																																		
事業評価	委託により適正に事業実施した。テレビの不法投棄は、地上デジタル放送移行後3年が経過し、減少傾向にあるものの、引き続き、監視や啓発を行い、さらなる不法投棄の防止に努めるとともに、適正処理を図る。																																					

事務事業名	不法投棄防止対策事業	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	1,932千円
事業内容	ごみ等の不法投棄を未然に防止するため、市内山間地において地元地域に委託し、不法投棄監視パトロールを実施する。		
成果・実績	不法投棄監視業務委託費 1,932千円 延べ552人、299日		
事業評価	不法投棄の防止に効果を挙げている。平成26年度も継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	食品ロス削減啓発事業費	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	2,990千円
事業内容	食品ロスの削減に取り組むことがごみの減量化につながることから、地方消費者行政活性化基金を活用して啓発イベントを開催する。		
成果・実績	<p>「食べきりフェスタ2014 ～食品ロスから学ぶごみ減量～」</p> <p>日 時：平成26年3月23日（日） 10時00分～15時00分</p> <p>会 場：生涯学習センター・産業会館・施設周辺駐車場</p> <p>参加者：約800人</p>		
事業評価	生ごみは可燃性廃棄物の約3割を占めており、食品ロスの削減は廃棄物の減量化につながる。本事業により、市民の食品ロス削減への理解が深まることで、廃棄物の減量化を一層促進することができた。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	ごみ減量推進課																				
		決算額	46,517千円																				
事業内容	ごみの減量と資源の有効利用（再資源化）を図るため、古紙類（新聞・チラシ・雑誌等、段ボール、古布等）の回収を、本市と協定締結した町内会・自治会等により実施する。																						
成果・実績	<p>古紙類（新聞・チラシ・雑誌等、段ボール、古布）の集団回収に取り組む町内会・自治会等521団体に対し、1kgあたり5円の報償金を交付し、ごみの減量化と古紙類の再利用を図った。</p> <p>古紙回収報償金 46,133千円</p> <p style="text-align: center;">各年度の古紙類回収量(t)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> <th style="text-align: center;">25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集団回収</td> <td style="text-align: center;">9,662</td> <td style="text-align: center;">9,695</td> <td style="text-align: center;">9,227</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">直営回収</td> <td style="text-align: center;">261</td> <td style="text-align: center;">216</td> <td style="text-align: center;">250</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">9,923</td> <td style="text-align: center;">9,911</td> <td style="text-align: center;">9,477</td> </tr> </tbody> </table>			年度	23	24	25	種別				集団回収	9,662	9,695	9,227	直営回収	261	216	250	合 計	9,923	9,911	9,477
年度	23	24	25																				
種別																							
集団回収	9,662	9,695	9,227																				
直営回収	261	216	250																				
合 計	9,923	9,911	9,477																				
事業評価	町内会等と協定を締結し、古紙回収を行い、ごみの減量と資源の有効利用を図ることができた。可燃ごみの減量に大きく寄与しているため、平成26年度も継続実施する。																						

事務事業名	ごみ減量化促進対策費	所管課	ごみ減量推進課																								
		決算額	197千円																								
事業内容	市民のごみ再利用意識の高揚及びごみの減量を促進するために、一般家庭から排出される生ごみを堆肥化または減量化するための生ごみ堆肥化容器、機器を設置する者に対して、購入費補助金を交付する。																										
成果・実績	<p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 197千円</p> <p style="text-align: center;">生ごみ堆肥化容器等購入費補助実績 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> <th style="text-align: center;">25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">品目</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電気式機器補助基数</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コンポスト補助基数</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ぼかし容器補助基数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table>			年度	23	24	25	品目				電気式機器補助基数	20	21	9	コンポスト補助基数	8	15	10	ぼかし容器補助基数	0	1	1	合 計	28	37	20
年度	23	24	25																								
品目																											
電気式機器補助基数	20	21	9																								
コンポスト補助基数	8	15	10																								
ぼかし容器補助基数	0	1	1																								
合 計	28	37	20																								
事業評価	補助金を適正に交付し、生ごみ堆肥化容器等の普及を図り、ごみの減量化に寄与することができた。平成26年度も継続実施する。																										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課						
		決算額	317千円						
事業内容	「宇治市地域福祉計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。								
成果・実績	<p>平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」に掲げた事業の進行管理を行い、地域福祉の推進を図った。また、地域福祉の担い手である住民の参加・参画が得られる取組として、地域づくり事業「いきいき福祉ふれあいのつどい」（地域懇談会）を開催した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">いきいき福祉ふれあいのつどい</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1小学校区 1回</td> </tr> <tr> <td>地域福祉推進委員会開催数</td> <td style="text-align: right;">2回</td> </tr> <tr> <td>出前講座開催数</td> <td style="text-align: right;">1回</td> </tr> </table>			いきいき福祉ふれあいのつどい	1小学校区 1回	地域福祉推進委員会開催数	2回	出前講座開催数	1回
いきいき福祉ふれあいのつどい	1小学校区 1回								
地域福祉推進委員会開催数	2回								
出前講座開催数	1回								
事業評価	平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」の目的達成に向け、地域福祉推進委員会での議論を踏まえて、各事業の進行管理、評価を行い、地域福祉を推進することができた。今後も引き続き取り組むが、社会福祉協議会が策定する「宇治市地域福祉活動計画」との連携を図り、住民が主体となる地域福祉を推進する必要がある。								

事務事業名	宇治市社会福祉協議会補助金	所管課	地域福祉課														
		決算額	59,499千円														
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。																
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">46,975千円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動専門員設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,535千円</td> </tr> <tr> <td>福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">980千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアコーディネーター設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,959千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあい福祉センター事業補助金</td> <td style="text-align: right;">3,600千円</td> </tr> <tr> <td>学区福祉委員会活動事業補助金</td> <td style="text-align: right;">3,300千円</td> </tr> <tr> <td>災害ボランティアセンター体制整備事業補助金</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> </tr> </table>			宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	46,975千円	福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円	福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円	ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円	ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円	学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円	災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円
宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	46,975千円																
福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円																
福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円																
ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円																
ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円																
学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円																
災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円																
事業評価	社会福祉協議会の活動は民間組織の自主性と法に基づく公共性を併せ持ち、地域住民が主体となった地域福祉の推進に果たす役割は大きく、少子高齢化の進行に伴い、福祉ニーズが複雑化・多様化する中、継続して助成する必要がある。今後はより一層、地域福祉を推進するため、福祉施策を実施する際の連携・協働のあり方を検討する必要がある。																

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課
		決算額	37,628千円
事業内容	民生委員法・児童福祉法に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。		
成果・実績	民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。		
	民生児童委員活動費補助金	35,492千円	
	民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	
	民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,776千円	
事業評価	民生児童委員の活動は、地域福祉の推進を図る上で重要であり、少子高齢化の進行等の社会状況の変化に伴い、その活動は多様化している。複雑化・多様化する住民からの相談等に対処するため研修活動や委員相互の連携強化が必要であり、今後も京都府とあわせて助成の継続が必要である。		

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課
		決算額	26,426千円
事業内容	(福) 宇治市社会福祉協議会を指定管理者(平成22年度から26年度)として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館(昭和58年1月開館)を管理・運営する。		
成果・実績	宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕を行った。		
	総合福祉会館指定管理料	26,426千円	
事業評価	指定管理者により適正に管理運営した。本市の福祉事業推進の拠点施設として利用されているが、施設の老朽化や利用者ニーズの多様化による設備改修の要望もあり、引き続き指定管理者と連携し検討する必要がある。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	住宅支援給付事業費	所管課	地域福祉課								
		決算額	8,556千円								
事業内容	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者または、喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けて支援する。（（福）宇治市社会福祉協議会へ一部事務委託）										
成果・実績	支給状況等（平成25年4月1日～平成26年3月31日） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">支給対象者数</td> <td style="text-align: right;">16人</td> </tr> <tr> <td>支給額合計</td> <td style="text-align: right;">2,051千円</td> </tr> <tr> <td>支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td>不支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">1人</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">支給申請と支給決定が年度を跨るケースがあるため、申請者数と決定者数および不支給者数の合計は必ずしも一致しない。</p> <p>就労状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日） 平成25年度に支給した16人中3人（18.7%）が常用就職できた。</p>			支給対象者数	16人	支給額合計	2,051千円	支給決定者数	9人	不支給決定者数	1人
支給対象者数	16人										
支給額合計	2,051千円										
支給決定者数	9人										
不支給決定者数	1人										
事業評価	現在の厳しい経済情勢のもと、失業者に対するセーフティネットとしての役割を果たしている。雇用対策としての取組であり、今後もハローワークや京都府との連携が重要である。										

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																		
		決算額	4,460千円																																		
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、年末）、貸付限度額10万円（夏期・年末の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。（（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託）																																				
成果・実績	平成25年度は件数、金額ともに平成24年度と比べ若干減少したものの、厳しい経済状況の中、本事業により生活安定を図った。 <p style="margin-top: 10px;">くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: right;">2,100</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: right;">1,700</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: right;">1,680</td> </tr> <tr> <td>年末</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: right;">4,360</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: right;">3,880</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: right;">2,300</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">65</td> <td style="text-align: right;">6,460</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: right;">5,580</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: right;">3,980</td> </tr> </tbody> </table>				平成23年度		平成24年度		平成25年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	21	2,100	17	1,700	17	1,680	年末	44	4,360	39	3,880	23	2,300	合計	65	6,460	56	5,580	40	3,980
	平成23年度		平成24年度		平成25年度																																
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																															
夏期	21	2,100	17	1,700	17	1,680																															
年末	44	4,360	39	3,880	23	2,300																															
合計	65	6,460	56	5,580	40	3,980																															
事業評価	低所得者等の生活意欲の向上と自立助成を図り、一定の効果は上がっていると考えますが、経済状況の変化や他の福祉制度を踏まえると対象者の要件等、情勢に応じた制度の見直しが必要であり、今後も国や京都府制度の動向を注視していく必要がある。また、償還率向上が課題であり、業務を委託している（福）宇治市社会福祉協議会と連携した対応が引き続き必要である。																																				

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課				
		決算額	1,945千円				
事業内容	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">貸付件数</td> <td style="text-align: right;">148件</td> </tr> <tr> <td>貸付額合計</td> <td style="text-align: right;">1,945千円</td> </tr> </table>			貸付件数	148件	貸付額合計	1,945千円
貸付件数	148件						
貸付額合計	1,945千円						
事業評価	適正に貸付を行い、対象者の生活安定を図ることができた。近年の厳しい経済状況を踏まえると、今後も新規申請者は減少しないと考えられるため、的確な状況把握に努めながら平成26年度も継続実施する。						

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課																														
		決算額	54,939千円																														
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容は今までの生活保護費に代わるものである。																																
成果・実績	<p>中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給や日本語教室の開催などの支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">中国残留邦人等支援給付費</td> <td style="text-align: right;">50,125千円</td> <td style="width: 50%;">（対象：20世帯、29人）</td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人等支援事務費</td> <td style="text-align: right;">2,386千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人生活支援日本語教室委託料</td> <td style="text-align: right;">2,428千円</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">支援給付費決算額</td> <td style="text-align: right;">（千円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支援の種類</td> <td style="text-align: center;">生活</td> <td style="text-align: center;">住宅</td> <td style="text-align: center;">介護</td> <td style="text-align: center;">医療</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">合計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">20,477</td> <td style="text-align: right;">3,379</td> <td style="text-align: right;">715</td> <td style="text-align: right;">25,323</td> <td style="text-align: right;">231</td> <td style="text-align: right;">50,125</td> </tr> </table>			中国残留邦人等支援給付費	50,125千円	（対象：20世帯、29人）	中国残留邦人等支援事務費	2,386千円		中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円		支援給付費決算額						（千円）	支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	扶助費	20,477	3,379	715	25,323	231	50,125
中国残留邦人等支援給付費	50,125千円	（対象：20世帯、29人）																															
中国残留邦人等支援事務費	2,386千円																																
中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円																																
支援給付費決算額						（千円）																											
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計																											
扶助費	20,477	3,379	715	25,323	231	50,125																											
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象者の経済的等の生活支援を図ることができた。今後の対象者数は減少が見込まれるが、安定した生活を支援するため平成26年度も継続実施する。																																

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																						
		決算額	4,433,518千円																						
事業内容	<p>日本国憲法第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。</p>																								
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭扶助を実施した。被保護世帯は平成25年度中の月平均で1,942世帯、被保護人員は、2,965人であった。</p> <p style="text-align: center;">平成25年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">扶助の種類</th> <th style="width: 70%;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td style="text-align: right;">1,598,117</td></tr> <tr><td>住宅</td><td style="text-align: right;">723,779</td></tr> <tr><td>教育</td><td style="text-align: right;">39,976</td></tr> <tr><td>介護</td><td style="text-align: right;">71,359</td></tr> <tr><td>医療</td><td style="text-align: right;">1,944,869</td></tr> <tr><td>出産</td><td style="text-align: right;">240</td></tr> <tr><td>生業</td><td style="text-align: right;">27,839</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td style="text-align: right;">9,041</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">18,118</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">4,433,518</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,598,117	住宅	723,779	教育	39,976	介護	71,359	医療	1,944,869	出産	240	生業	27,839	葬祭	9,041	その他	18,118	合計	4,433,518
扶助の種類	扶助費																								
生活	1,598,117																								
住宅	723,779																								
教育	39,976																								
介護	71,359																								
医療	1,944,869																								
出産	240																								
生業	27,839																								
葬祭	9,041																								
その他	18,118																								
合計	4,433,518																								
事業評価	<p>国制度に基づき執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図ることができた。近年の厳しい経済状況の中で、受給者数の増加は続く見込まれており、より多くの経済的自立を目指すとともに的確に状況把握し、濫給防止、漏給防止に配慮しながら法令遵守を徹底し、生活保護運営に努める必要がある。</p>																								

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者福祉基本計画施策推進協議会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	191千円
事業内容	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を年2回程度開催し、障害者福祉基本計画に沿った障害者に関わる事業を報告し、その意見を聞く。		
成果・実績	「第2期宇治市障害者福祉基本計画」と「第3期障害福祉計画」の進捗状況、及び計画相談支援の充実に向けた取組について報告するとともに、障害福祉施策に関する意見を聴いた。		
事業評価	各計画の内容や制度改正などについて報告するとともに、委員の意見を聴き、施策に反映することができた。今後も、制度改正に的確に対応していくため、国・京都府の動向を注視しながら、引き続き協議会の運営をしていく必要がある。		

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,264千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害程度区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づき、障害者の障害程度区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">審査会開催数 22回 審査判定件数 332件（宇治田原町分15件を含む）</p>		
事業評価	国制度に基づいて適正に運営した。今後も、制度改正に的確に対応するとともに、引き続き、国・京都府の動向を注視しながら運営していく。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	258,805千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去、または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	<p>自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去、または軽減し日常生活や職業生活に適応するように改善するため、医療費の一部を838人に支給した。（入院・通院重複者は除く）</p> <p>自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療、及びぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者44人に対し、医療費の一部を支給した。</p>		
	事業評価	国・京都府制度に基づいて適正に医療費を支給し、障害者の治療を促進することができた。今後も京都府、医療機関と連携しながら、円滑かつ的確に事務の遂行に努める必要がある。	

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	120,011千円
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。		
	<p>特別障害者手当延べ支給人数 3,418人 障害児福祉手当延べ支給人数 2,030人 経過的福祉手当延べ支給人数 102人</p>		
事業評価	国の支給認定基準への該当の判断が難しいケースでは、嘱託医師による審査を行い、慎重に判断をするとともに、円滑な事務処理を行うことにより、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成26年度も国の基準に基づき、継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,794,759千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。</p> <p>障害者介護給付利用延べ人数 17,922人</p>		
事業評価	<p>個々の障害の状態に応じて給付を行い、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。今後も国制度に基づき継続実施する。</p>		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	531,335千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。</p> <p>障害者訓練等給付利用延べ人数 4,668人</p>		
事業評価	<p>個々の障害の状態に応じて給付を行い、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。今後も国制度に基づき継続実施する。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	52,176千円
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。 給付件数 4,341件		
事業評価	障害児・者の日常生活の便宜を図ることができた。今後も適正な事業運営に努め、平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	45,055千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 延べ支給件数 568件		
事業評価	制度に基づいて適正な事務執行に努め、障害者の自立を促進することができた。今後も国制度に基づき継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者コミュニケーション支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,538千円
事業内容	聴覚障害者に対し、日常生活及び社会生活に必要な意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者、要約筆記奉仕員の派遣を行う。		
成果・実績	<p>聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため、手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣した。</p> <p>手話通訳者派遣延べ件数 685件 要約筆記奉仕員派遣延べ件数 547件</p>		
事業評価	手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣することで、聴覚障害者に対し、コミュニケーション支援による意思疎通の円滑化や社会参加を促進することができた。今後も利用者のニーズや利用状況を的確に把握、分析し実施する。		

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	804千円
事業内容	聴覚障害者のコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する養成講座を開催する。		
成果・実績	<p>市内在住・在勤・在学の方を対象に、手話奉仕員養成講座（基礎課程）を実施した。</p> <p>受講者数 38人</p>		
事業評価	2カ年単位で奉仕員を養成し、聴覚障害者のコミュニケーション支援につながった。引き続き養成状況を的確に把握しながら、平成26年度も継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	75,151千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害者等に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	屋外での移動が困難な障害者等に対して、外出を支援した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用時間 28,568.5時間 </div>		
事業評価	障害者の自立生活の向上や社会参加を促進することができた。平成26年度からは、精神障害者にも対象を拡大し、継続実施する。		

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	76,009千円
事業内容	障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に、障害者等に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	日中に障害者等の活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援や一時的な休息を図った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用時間 70,737時間 </div>		
事業評価	障害者の活動の場を提供するとともに、家族の就労支援や一時的な休息を促進できた。平成26年度からは、精神障害者にも対象を拡大し、継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	福祉タクシー扶助費	所管課	障害福祉課
		決算額	37,815千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する。		
成果・実績	1カ月あたり1,200円の福祉タクシー利用券を交付し、タクシー料金の一部助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 交付件数 3,668件 </div>		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券の交付を行い、外出困難な重度心身障害者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、毎年度利用者の増加が見込まれる中、状況の的確な把握、分析に努め、より効果的な実施方法について引き続き研究していく。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	3,912千円
事業内容	身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料や、特別障害者手当認定請求（新規）時に要する診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>診断書料の自己負担に対する延べ助成件数</p> <p>身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時</p> <p>特別障害者手当等の認定請求時</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>1,265件</p> <p>43件</p> </div> </div>		
事業評価	各種制度の申請に要する診断書料の助成を行い、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成26年度も状況を的確に把握し、継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	心身障害者介護支援（レスパイトサービス）事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,419千円
事業内容	心身障害者が日常生活を支障なく営むために必要な設備を有している宿泊ホームにおいて、心身障害者を一時的に介護することによって、在宅において心身障害者を介護している介護者の負担軽減を図る。		
成果・実績	介護者の負担軽減を図るため、心身障害者の一時的な介護を実施した。 利用回数 1,813回		
事業評価	在宅障害者の介護者の一時的休息を図ることによって、介護者の負担軽減に効果的であり福祉の向上につながった。平成26年度からは、精神障害者にも対象を拡大し、継続実施する。		

事務事業名	障害者相談支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	17,419千円
事業内容	障害者が地域において自立した日常生活と社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等利用に関する相談や情報提供、その他社会資源を活用するための支援を行う障害者生活支援センターを運営するとともに、成年後見制度の利用支援等を行う。		
成果・実績	障害者やその家族等の各種の相談に応じて、地域における生活を支援し、福祉の向上を図った。 相談件数 6,609件 成年後見制度の利用支援として、親族による審判の申立がないケースについて市長申立を行った。 申立件数 2件		
事業評価	障害者生活支援センターにおける相談件数は増加しており、相談や情報提供を通じて、障害福祉サービス及びその他社会資源の有効利用を促進できた。また成年後見制度の利用支援においては、権利擁護のための必要な支援を行い、障害者の自立に資することができた。今後も、障害者の自立支援のため継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	2,959千円						
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援等を行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。								
成果・実績	<p>宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作やゲーム等のプログラムを通して、作業能力や生活能力を高め、社会生活への適応が図れるよう、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">中途失明者点字講習会開催数</td> <td style="text-align: right;">96回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業開催数</td> <td style="text-align: right;">40回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">387人</td> </tr> </table>			中途失明者点字講習会開催数	96回	精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回	精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	387人
中途失明者点字講習会開催数	96回								
精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回								
精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	387人								
事業評価	障害者の社会参加や社会復帰、生活能力の向上を図ることができた。本事業が唯一の社会参加の場、他者との交流の場となっている障害者もあり、平成26年度も継続実施する。								

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	28,091千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	5カ所の地域活動支援センターに通う延べ1,089人の障害者に対し支援を行った。		
事業評価	障害者の活発な活動や社会交流の機会を促進できた。平成26年度からは、精神障害者の特性を踏まえた支援の実績を評価できるよう事業の拡大を行い、継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課				
		決算額	467千円				
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童等の養育・保護を行う。						
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">実施施設</td> <td>桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>54日</td> </tr> </table>			実施施設	桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）	利用日数	54日
実施施設	桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）						
利用日数	54日						
事業評価	臨時的に児童等の保護を行い、保護者・児童の支援を図ることができた。年度により利用件数の増減はあるものの、セーフティネットとしての機能と役割もあり、平成26年度も制度の周知に努め、継続実施する。						

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課								
		決算額	5,955千円								
事業内容	保護者の就労と育児の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、育児の援助を行いたい者と受けたい者で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。										
成果・実績	<p>ファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">援助会員数</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員数</td> <td>1,323人</td> </tr> <tr> <td>両方会員数</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>2,629件</td> </tr> </table>			援助会員数	138人	依頼会員数	1,323人	両方会員数	39人	利用件数	2,629件
援助会員数	138人										
依頼会員数	1,323人										
両方会員数	39人										
利用件数	2,629件										
事業評価	市民で構成される会員組織を運営し、地域住民による子育ての相互援助を図ることができた。近年、利用件数が減少傾向にあったが、平成25年度は増加しており、今後も、多様化する依頼ニーズの把握に努めるとともに、安全面等にも十分留意しながら利用促進を図っていく。										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	312千円
事業内容	児童福祉法に基づき、児童虐待の未然防止と早期発見のため、要保護児童対策地域協議会を設置している。 要保護児童対策地域協議会代表者会議（年2回）の開催 要保護児童対策地域協議会調整会議（年6回）の開催		
成果・実績	代表者会議（年2回）では、関係機関等の代表者らの出席のもと、児童虐待の現状とケースの報告を行うとともに、関係機関等の連携を深めた。 調整会議（年6回）には、関係機関等の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。 代表者会議開催日 8月21日、平成26年2月19日 調整会議開催日 奇数月の第4金曜日 児童虐待ケースの延べ対応件数 176件		
事業評価	児童虐待の未然防止と早期発見のため、実務担当者会議において、増加傾向にある様々な事案に対応するとともに、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係者の連携と情報共有に努めた。平成26年度も児童虐待防止対策のため、より一層、関係機関との情報共有や密接な連携に努めながら取り組む。		

事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,218千円
事業内容	児童虐待の未然防止と早期発見のために、地域子育て支援基幹センター（児童虐待担当）の体制を強化し、児童相談所との連携強化や相談ケースへの対応力の向上を図るとともに、啓発や研修など様々な取組を実施し、児童虐待防止対策の緊急的な強化を図る。		
成果・実績	地域子育て支援基幹センターに配置している社会福祉士の配置を拡充し、児童相談所や関係機関との連携を強化するとともに、相談ケースへの対応力のさらなる強化を図った。また、要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象に、研修会を開催した。 広報・啓発活動としては、子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」を、男女共同参画課と共催で実施した。 嘱託職員配置 社会福祉士の雇用日数を拡充 研修会開催日 10月31日 キャンペーン実施内容 街頭啓発・パネル展示・関連図書展示等		
事業評価	児童虐待の防止対策について緊急的な強化を図るため、専門職員を雇用し児童相談所や関係機関との連携を強化するとともに、研修会の開催や広報・啓発活動などの取組を行った。平成26年度も、相談件数の増加やケースの深刻化に対応するため、継続して取り組む。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	しあわせ子育て・子育て応援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	614千円
事業内容	子どもが生まれた家庭に子どもを生き育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらえるように広報する。		
成果・実績	お祝いのメッセージカード、子育て情報誌、アルバム式身長計、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。 送付件数 1,501世帯		
事業評価	本市の子育て支援の第一歩となる位置付けとしての取組であり、子どもの健やかな成長への支援と、親の子育てへの喜びの増進を図ることができた。今後も子育て世代のニーズに留意しながら継続実施する。		

事務事業名	地域子育てひろば支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	545千円
事業内容	核家族化が進行し、地域コミュニティが希薄化する中で、孤立している子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」運営を促進し、地域による子育て支援を目指して子育て家庭と地域住民との関係を作り上げる。		
成果・実績	地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。 実施場所 下村集会所 開集会所 平町集会所 西小倉集会所 (新規)		
事業評価	地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施し、交流や情報交換などによって子育て家庭の支援を促進できた。平成25年度は新規に1カ所開設したが、利用者数、利用年齢、運営方法などに地域差があり、引き続き地域子育て支援拠点も含め、今後の子育て支援施策の展開を検討していく。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																												
		決算額	44,242千円																												
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談や情報の提供、講習等の実施を行う。また基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p>																														
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名称</th> <th style="width: 15%;">運営方法</th> <th style="width: 20%;">ひろば延べ利用者数(人)</th> <th style="width: 15%;">相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域子育て支援基幹センター</td> <td rowspan="2">直営</td> <td>7,893</td> <td>374</td> </tr> <tr> <td>西部地域子育て支援センター</td> <td>5,436</td> <td>417</td> </tr> <tr> <td>南部地域子育て支援センター</td> <td rowspan="4">委託</td> <td>873</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>東部地域子育て支援センター</td> <td>7,369</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>北部地域子育て支援センター</td> <td>9,595</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>りぼん</td> <td>6,102</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ぶんきょうにこにこルーム</td> <td></td> <td>7,579</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)	地域子育て支援基幹センター	直営	7,893	374	西部地域子育て支援センター	5,436	417	南部地域子育て支援センター	委託	873	42	東部地域子育て支援センター	7,369	111	北部地域子育て支援センター	9,595	137	りぼん	6,102		ぶんきょうにこにこルーム		7,579	
名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)																												
地域子育て支援基幹センター	直営	7,893	374																												
西部地域子育て支援センター		5,436	417																												
南部地域子育て支援センター	委託	873	42																												
東部地域子育て支援センター		7,369	111																												
北部地域子育て支援センター		9,595	137																												
りぼん		6,102																													
ぶんきょうにこにこルーム		7,579																													
事業評価	<p>子育てに関する相談、交流、情報交換など総合的な子育て支援を進め、子どもの健やかな育ちを促進できた。また、平成25年度は基幹センターの「げんきひろば」の開設日数を拡充した。平成26年度も継続実施するとともに、利用ニーズの分析を踏まえながら、関連事業との整理を図りつつ、今後の子育て支援施策の展開を検討していく。</p>																														

事務事業名	来庁者こども一時預かりコーナー運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,793千円
事業内容	<p>子どもと一緒に来庁者が行政手続き・行政相談等をしやすい環境を整えることを目的に、保育士による子ども一時預かりを実施している。</p>		
成果・実績	<p>市役所庁舎内において、子ども連れの来庁者が落ち着いて、申請や申告、相談などを行えるように、子どもを一時的に預かるキッズコーナーを設置・運営した。</p> <p style="margin-left: 20px;">利用人数 1,113人</p>		
事業評価	<p>子育て世帯の来庁者に対する本市独自の行政サービスとして事業を実施した。利用件数は減少傾向にあるが、利用しやすい環境整備や利用促進に努めながら平成26年度も継続実施する。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 子育て支援の充実	

事務事業名	宇治市奨学資金貸与費	所管課	こども福祉課																
		決算額	4,303千円																
事業内容	<p>勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な大学、高校及び高等専門学校の在学者に奨学資金を貸与する。</p>																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">貸与人数</td> <td style="width: 20%;">高校生</td> <td style="width: 20%;">3人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高等専門学校生</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大学生</td> <td>12人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>奨学資金貸与額</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">4,291千円</td> </tr> </table>			貸与人数	高校生	3人			高等専門学校生	0人			大学生	12人		奨学資金貸与額	4,291千円		
貸与人数	高校生	3人																	
	高等専門学校生	0人																	
	大学生	12人																	
奨学資金貸与額	4,291千円																		
事業評価	<p>勉学意欲があるが経済的理由により修学が困難な市民への支援を行うことができた。引き続き的確な償還に向けた周知徹底などの働きかけを行うとともに、関連する他奨学資金制度の実施状況等の把握に努めながら、今後のあり方について検討していく。</p>																		

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課																
		決算額	800,868千円																
事業内容	<p>離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する母または父等に対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。平成14年8月より京都府から市に業務移管されている。</p>																		
成果・実績	<p>児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受給資格世帯</td> <td style="width: 20%;">1,827世帯</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（うち 受給世帯</td> <td>1,645世帯）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支給対象児童数</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">2,584人</td> </tr> <tr> <td>児童扶養手当扶助費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">800,353千円</td> </tr> </table>			受給資格世帯	1,827世帯			（うち 受給世帯	1,645世帯）			支給対象児童数	2,584人			児童扶養手当扶助費	800,353千円		
受給資格世帯	1,827世帯																		
（うち 受給世帯	1,645世帯）																		
支給対象児童数	2,584人																		
児童扶養手当扶助費	800,353千円																		
事業評価	<p>手当受給申請に対して適正に審査、支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の増進を図ることができた。今後更なる事務の遂行に努める。</p>																		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		
小分類	01 子育て支援の充実		健康福祉部

事務事業名	児童手当費	所管課	こども福祉課								
		決算額	3,245,243千円								
事業内容	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に児童手当を支給する。平成24年度に子ども手当制度から変更された。										
成果・実績	<p>中学校修了前の児童を養育している人に支給する。手当額は、児童1人につき月額10,000円もしくは15,000円（児童数、児童の年齢によって異なる）。但し、所得制限限度額を超過している世帯には、特例給付として児童1人につき月額5,000円（一律）を支給した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受給世帯</td> <td style="text-align: right;">14,205世帯</td> </tr> <tr> <td>支給対象となる児童数</td> <td style="text-align: right;">23,493人</td> </tr> <tr> <td>児童手当扶助費</td> <td style="text-align: right;">3,242,585千円</td> </tr> <tr> <td>こども手当扶助費</td> <td style="text-align: right;">944千円</td> </tr> </table>			受給世帯	14,205世帯	支給対象となる児童数	23,493人	児童手当扶助費	3,242,585千円	こども手当扶助費	944千円
受給世帯	14,205世帯										
支給対象となる児童数	23,493人										
児童手当扶助費	3,242,585千円										
こども手当扶助費	944千円										
事業評価	国の制度に基づき適正に支給を行った。今後も市民への制度の周知に努め、的確な事務の遂行に努める。										

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		
小分類	03 放課後児童育成の充実		健康福祉部

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課						
		決算額	297,861千円						
事業内容	宇治市立小学校に就学する1年生から4年生の児童であって、下校しても保護者の就労や疾病等の理由により保護に欠ける児童を対象に放課後組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。								
成果・実績	<p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">開設学校数</td> <td style="text-align: right;">20校</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td style="text-align: right;">36学級</td> </tr> <tr> <td>入級児童数</td> <td style="text-align: right;">1,668人（平成25年5月1日現在）</td> </tr> </table>			開設学校数	20校	学級数	36学級	入級児童数	1,668人（平成25年5月1日現在）
開設学校数	20校								
学級数	36学級								
入級児童数	1,668人（平成25年5月1日現在）								
事業評価	放課後に保護者が不在である児童について、組織的な指導により危険防止と心身の健全な育成を図ることができた。今後も指導員の資質向上や学級運営内容のさらなる充実に努めるとともに、ニーズに対する対応策を検討していく。								

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 放課後児童育成の充実	

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課
		決算額	70,864千円
事業内容	入級児童数の増加に対応し、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成に資するため、育成学級施設の整備を実施する。		
成果・実績	<p>神明育成学級の入級児童数の増加に対応するため、新たに専用プレハブ施設の建替工事を実施するとともに、菟道育成学級の学校教材保管庫との間仕切り壁を移動させることにより、占有面積を増やし、定員を拡大した。</p> <p>神明育成学級：定員 100名 150名</p> <p>菟道育成学級：定員 50名 60名</p>		
事業評価	入級児童数の増加に対応した学級施設の整備を図ることで、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成を図ることができた。今後も引き続き利用ニーズを見極めながら、施設整備を計画的に実施していく。		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,759千円
事業内容	安全・安心な学級運営のため、学校休業日である土曜日や夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視や来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、事故なく学級運営を行うことができた。平成26年度も継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	04 ひとり親支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	母子家庭技能訓練等給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	23,210千円
事業内容	ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進する。		
成果・実績	ひとり親家庭の親が養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給した。 高等技能訓練促進給付金支給件数 20件		
事業評価	高等技能訓練促進給付金等の支給による就業の促進を図り、母子家庭の母等の自立を支援できた。今後も制度の周知に努めながら自立支援のため、資格の取得を促進していく。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	公立保育所運営事業	所管課	保育課																																								
		決算額	1,359,337千円																																								
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">公立保育所数</td> <td style="width: 10%;">7園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 30%;">11,315人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>940人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所運営費</td> <td>43,574千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所維持修繕費</td> <td>8,367千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常勤職員設置費</td> <td>150,058千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所児童健康管理費</td> <td>6,316千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所給食費</td> <td>71,751千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>パート保育士設置費</td> <td>111,067千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育費</td> <td>51,447千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育士等職員給</td> <td>916,757千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			公立保育所数	7園	延べ入所数	11,315人	定員	940人			保育所運営費	43,574千円			保育所維持修繕費	8,367千円			非常勤職員設置費	150,058千円			保育所児童健康管理費	6,316千円			保育所給食費	71,751千円			パート保育士設置費	111,067千円			障害児特別保育費	51,447千円			保育士等職員給	916,757千円		
公立保育所数	7園	延べ入所数	11,315人																																								
定員	940人																																										
保育所運営費	43,574千円																																										
保育所維持修繕費	8,367千円																																										
非常勤職員設置費	150,058千円																																										
保育所児童健康管理費	6,316千円																																										
保育所給食費	71,751千円																																										
パート保育士設置費	111,067千円																																										
障害児特別保育費	51,447千円																																										
保育士等職員給	916,757千円																																										
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費や施設管理経費、給食や健康管理経費などについて適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境が確保できた。今後も保育ニーズに対応しながら安定した運営を実施する。																																										

事務事業名	保育所緊急安全対策事業費	所管課	保育課												
		決算額	32,930千円												
事業内容	安全・安心な保育所運営のため、各公立保育所に保育所安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所での保育所安全運営支援員の配置に対し補助を行う。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">公立保育所</td> <td style="width: 10%;">8,741千円</td> <td style="width: 30%;">民間保育所</td> <td style="width: 30%;">24,189千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置に対する補助を行った。</td> </tr> </table>			公立保育所	8,741千円	民間保育所	24,189千円	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。				保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置に対する補助を行った。			
公立保育所	8,741千円	民間保育所	24,189千円												
保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。															
保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置に対する補助を行った。															
事業評価	保育所安全運営支援員が、園内への不審者侵入を防ぐために、来訪者の確認や巡視を行うことにより、児童や保護者の安全確保を図ることができた。平成26年度も継続実施する。														

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	保育所施設整備費	所管課	保育課
		決算額	126,770千円
事業内容	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保と施設の維持を図るため、平成19年度に策定した「宇治市公立保育所再整備計画」に基づき、耐震補強工事や施設改修などを計画的に実施する。（事業実施期間 平成19年度～平成25年度）		
成果・実績	<p>北木幡保育所改修工事（外壁塗装・保育室、遊戯室内装改修・トイレ改修等） 125,384千円</p> <p>宇治保育所公共下水道接続設計委託 1,386千円</p>		
事業評価	計画に基づいて公立保育所の施設整備を行い、児童にとって安全・安心な保育環境の向上を図ることができた。今後も新たな課題や老朽化等、各施設の状況に応じて適切な対応を行う。		

事務事業名	民間保育所運営費	所管課	保育課																												
		決算額	3,237,406千円																												
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所18園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">民間保育所（園）数</td> <td style="width: 20%;">18園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 20%;">36,351人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>2,865人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">2,524,782千円</td> </tr> <tr> <td>延長保育促進事業費補助金</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">29,060千円</td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育事業費補助金</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">48,828千円</td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営補助金</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">618,042千円</td> </tr> <tr> <td>地域活動事業費補助金</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">16,694千円</td> </tr> </table>			民間保育所（園）数	18園	延べ入所数	36,351人	定員	2,865人			民間保育所運営費	2,524,782千円			延長保育促進事業費補助金	29,060千円			障害児特別保育事業費補助金	48,828千円			民間保育所運営補助金	618,042千円			地域活動事業費補助金	16,694千円		
民間保育所（園）数	18園	延べ入所数	36,351人																												
定員	2,865人																														
民間保育所運営費	2,524,782千円																														
延長保育促進事業費補助金	29,060千円																														
障害児特別保育事業費補助金	48,828千円																														
民間保育所運営補助金	618,042千円																														
地域活動事業費補助金	16,694千円																														
事業評価	民間保育所18園の運営や各種保育事業に対する補助を実施し、児童の安全と良好な保育環境の確保に努めた。国の制度変更を見極めながら、今後も各種保育ニーズに対応していく必要がある。																														

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	民間保育所施設整備費	所管課	保育課						
		決算額	610,974千円						
事業内容	社会福祉法人の運営する保育所が施設整備を行う場合に、民間保育所施設整備補助金を交付する。								
成果・実績	<p>待機児童対策と、民間保育所における児童の安全・安心を確保するため、民間保育所の施設改修等に対する補助を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">登り保育園増改築工事補助金</td> <td style="text-align: right;">320,450千円</td> </tr> <tr> <td>ひいらぎ保育園増改築工事補助金</td> <td style="text-align: right;">267,236千円</td> </tr> <tr> <td>第2登り保育園建物賃借料補助金</td> <td style="text-align: right;">23,288千円</td> </tr> </table>			登り保育園増改築工事補助金	320,450千円	ひいらぎ保育園増改築工事補助金	267,236千円	第2登り保育園建物賃借料補助金	23,288千円
登り保育園増改築工事補助金	320,450千円								
ひいらぎ保育園増改築工事補助金	267,236千円								
第2登り保育園建物賃借料補助金	23,288千円								
事業評価	民間保育所の増改築など施設整備に係る補助金について適正に執行し、児童の安全・安心の確保並びに待機児童対策として定数増を図ることができた。今後も安全性の確保、保育需要への対応のため、計画的に改修等を行う必要がある。								

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育課
		決算額	30,170千円
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
成果・実績	<p>実施施設（民間保育所7園）</p> <ul style="list-style-type: none"> 登り保育園 北小倉こひつじ保育園 ひいらぎ保育園 第2登り保育園 榎島ひいらぎ保育園 同胞保育園（新規） みんなのき保育園（新規） 		
事業評価	国制度に沿って病児・病後児保育事業を実施する民間保育所に補助を実施し、子育て支援と保護者負担の軽減を図ることができた。平成25年度は実施園を2園増やし、病児・病後児保育体制の充実を図った。今後も利用状況を見ながら国制度を活用し継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育課																																								
		決算額	89,331千円																																								
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																																										
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">木幡花揃</td> <td style="width: 30%;">(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td style="width: 20%;">定員5人</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄福角</td> <td>(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)</td> <td>定員5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神明石塚</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄梅林官有地</td> <td>(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)</td> <td>定員10人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伊勢田町若林</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広野町西裏</td> <td>(福) 同胞会 (同胞保育園)</td> <td>定員5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木幡赤塚</td> <td>(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開町</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木幡陣ノ内</td> <td>(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> <td>(新規)</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町ウトロ</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> <td>(新規)</td> </tr> </table>			木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人		五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人		神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人		五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人		伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人		広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人		木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人		開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人		木幡陣ノ内	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	(新規)	伊勢田町ウトロ	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人	(新規)
木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																																									
五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人																																									
神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																																									
五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人																																									
伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																																									
広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人																																									
木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																																									
開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																																									
木幡陣ノ内	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	(新規)																																								
伊勢田町ウトロ	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人	(新規)																																								
事業評価	平成25年度に2カ所新規開設し、さらなる待機児童対策を図ることができた。今後も待機児童の状況を見ながら、平成26年度も継続実施する。																																										

事務事業名	大久保保育所改築事業費	所管課	保育課																
		決算額	193,580千円																
事業内容	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保と施設の維持を図るため、平成19年度に策定した「宇治市公立保育所再整備計画」に基づき、大久保保育所の建替工事を実施する。																		
成果・実績	<p>老朽化した大久保保育所の新園舎建設工事等を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">建築工事</td> <td style="width: 20%;">126,469千円</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>機械工事</td> <td>39,268千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気工事</td> <td>12,128千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解体工事</td> <td>13,317千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			建築工事	126,469千円			機械工事	39,268千円			電気工事	12,128千円			解体工事	13,317千円		
建築工事	126,469千円																		
機械工事	39,268千円																		
電気工事	12,128千円																		
解体工事	13,317千円																		
事業評価	計画に基づいて大久保保育所の施設整備を行い、児童にとって安全・安心及び良好な保育環境の向上に努めた。平成26年度の完成を目指し整備を継続実施する。																		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康づくり推進プラン推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	650千円
事業内容	「宇治市健康づくり推進プラン」の中間見直しの目標を達成するため、プランの推進母体である＜うー茶ん＞連絡会へ＜うー茶ん＞のつどい事業を委託し、実施する。		
成果・実績	<p>市民の主体的な健康づくりを進めるため、＜うー茶ん＞連絡会へ啓発事業を委託し、正しい健康情報の提供、健康づくりの知識・技術力を高める学習機会等の整備、あらゆる機会を通して健康づくりに視点を置いた施策の推進などを行った。</p> <p style="text-align: center;">健康づくり＜うー茶ん＞フェスタ参加者数 約500人</p>		
事業評価	＜うー茶ん＞連絡会への委託事業として実施し、プランの普及・啓発を行うことにより市民の健康保持・増進を図ることができた。今後も連絡会の自主的な活動と本市施策との連携を図り、健康づくりを推進する。		

事務事業名	健康づくり推進協議会運営費	所管課	保健推進課
		決算額	330千円
事業内容	平成14年度に策定した「宇治市健康づくり推進プラン」の推進状況や方向性を協議・検討する。超高齢社会を迎え、健康に対する関心は強くなっており、自立した豊かな生活を送れるよう健康寿命の延伸と、QOL(生活の質)の向上等が求められている。		
成果・実績	<p>宇治市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくり事業について協議・検討を行った。また、「宇治市食育推進計画」と一体化した次期計画の策定に向けて、現計画の見直し及び関係団体等へのヒアリング等を宇治市食育推進協議会と合同で実施した。</p> <p style="text-align: center;">協議会開催回数 3回（うち2回は宇治市食育推進協議会と合同開催）</p>		
事業評価	宇治市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくり事業について協議・検討を行い、市民の健康保持・増進に向けた施策に反映することができた。今後は、「宇治市健康づくり推進プラン」に基づき実施している様々な取組の評価と「宇治市食育推進計画」と一体化した次期計画の策定に向け、引き続き検討を行う。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	食育推進計画推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	257千円
事業内容	「宇治市食育推進計画」に基づき、家庭や地域、学校、幼稚園、保育所、農林漁業関係者、ボランティアなどの様々な立場の関係者と連携、協力を図り、地域に根ざした取組を推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市食育推進計画」に基づき、市民に対し、関係団体との連携を図りながら、食育についての啓発を行った。また、「宇治市健康づくり推進プラン」と一体化した次期計画の策定に向けて、現計画の見直し及び関係団体等へのヒアリング等を宇治市健康づくり推進協議会と合同で実施した。</p> <p style="text-align: center;">協議会開催回数 3回（うち2回は宇治市健康づくり推進協議会と合同開催） 宇治市食育ネットワーク情報交換会 1回</p>		
事業評価	宇治市食育推進協議会の開催や宇治市食育ネットワークの活動によって、市民の食への意識を啓発し、健康保持・増進を促進することができた。今後も関係団体・機関、庁内や関連イベントなどとの連携を図り、より効果的な事業実施に努めるとともに、「宇治市健康づくり推進プラン」と一体化した次期計画の策定に向け、引き続き検討を行う。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	保健推進課
		決算額	10,545千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。本市が事務局となり、12病院等へ補助を行った。		
事業評価	他自治体とも広域的に連携し、二次救急医療体制の確保と救急患者の適切な治療を図ることができた。平成26年度も京都府や医療機関と協力・連携し、継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	117,118千円
事業内容	<p>健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減や、妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。</p>		
成果・実績	<p>妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。</p> <p>母子健康手帳交付件数 1,513件 助成金額 115,999千円</p>		
事業評価	<p>健診費用の適正な助成を行うとともに、妊娠早期に母子健康手帳を発行することで、適切な健康管理の促進と妊婦の経済的負担を軽減することができた。平成26年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	8,867千円
事業内容	<p>不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。</p>		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。</p> <p>助成件数 465件</p>		
事業評価	<p>不妊治療経費の一部負担を適正に執行し、対象者の経済的負担の軽減や、少子化対策を図ることができた。平成26年度も継続実施する。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	1歳8か月児健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	7,022千円
事業内容	内科健診・歯科健診・身体計測・栄養指導・保健指導等を行い必要に応じて個別の発達相談や栄養相談を行う。幼児期前期に、運動機能、精神発達等の障害を持った子どもを発見し、障害の顕在化・固定化や二次的障害の発生を予防・軽減するとともに、育児に関する指導を行う。また、フォローアップ事業として地区担当保健師による訪問や発達相談、乳幼児相談で引き続き個別相談を行う。		
成果・実績	幼児期前期の健康の保持・増進を図った。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。 受診者数 1,547人 受診率 96.5%		
事業評価	子どもの発達段階に合わせて実施することによって、幼児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子の増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。		

事務事業名	3歳児健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	6,604千円
事業内容	3歳5～6カ月児を対象として、身体発育、精神発達の問題、視聴覚障害の早期発見など、多面的に診査し、総合的な判断と指導によって、就学前幼児の健康の保持、増進を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。内科（小児科）健診、歯科健診、身体計測、検尿、視力検査、発達検査、保健指導などを実施する。		
成果・実績	幼児期の健康の保持・増進を図った。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。 受診者数 1,521人 受診率 95.1%		
事業評価	子どもの発達段階に合わせて実施することによって、幼児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子の増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	パパママスタート開催費	所管課	保健推進課																				
		決算額	2,580千円																				
事業内容	<p>妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・乳児の健康の保持・増進を図ることを目的として「母子健康手帳GET記念日」、「おいしい! たのしい! クッキング」、「パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ～」、「ハイリスク妊婦訪問」を行っている。</p>																						
成果・実績	<p>妊婦やその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">母子健康手帳GET記念日</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 20%;">389人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>パパ出番ですよ</td> <td>参加者数</td> <td>180人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クッキング</td> <td>参加者数</td> <td>116人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊婦訪問</td> <td>訪問件数</td> <td>32件</td> <td></td> </tr> </table>			母子健康手帳GET記念日	参加者数	389人		パパ出番ですよ	参加者数	180人		クッキング	参加者数	116人		参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む				ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	32件	
母子健康手帳GET記念日	参加者数	389人																					
パパ出番ですよ	参加者数	180人																					
クッキング	参加者数	116人																					
参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む																							
ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	32件																					
事業評価	<p>教室の開催によって、妊娠期の仲間づくりや地域の育児力の強化につながるとともに、父母ともに子育てするという意識の醸成や、家庭での健康づくりを促進することができた。今後は市民ニーズを踏まえ、より参加しやすい効果的な実施手法を検討する必要がある。</p>																						

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課								
		決算額	444千円								
事業内容	<p>親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身につけ、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。</p>										
成果・実績	<p>親が乳幼児の食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">開催回数</td> <td style="width: 20%;">12回</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>249人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			開催回数	12回			参加者数	249人		
開催回数	12回										
参加者数	249人										
事業評価	<p>教室の開催によって、家庭での適切な離乳食の実践や、子の健康づくりを促進することができた。平成26年度も継続実施する。</p>										

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	乳幼児相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	1,202千円
事業内容	<p>生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児や発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び、虐待予防、地域の育児力向上を図る。また、乳幼児健診後のフォローの場としても位置付け、計測、栄養指導、保健指導、発達についての相談などを開催する。</p>		
成果・実績	<p>専門職が適切に対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。また、地域子育て支援センター等関係機関と連携し、簡便な育児相談の場とした。</p> <p style="margin-left: 20px;">開催回数 64回 相談者数 2,335人</p>		
事業評価	<p>保健師や栄養士などの専門職が育児に不安のある親等からの相談を受け、育児負担の軽減や子育て支援を図ることができた。今後も地域子育て支援センターと連携し、市民が気軽に利用できるよう体制の充実に努める。</p>		

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,464千円
事業内容	<p>3カ月児健康診査受診児と1歳8カ月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作り、子育て支援を図る。絵本とのふれあい体験を行い、ブックスタートパックにメッセージを添えて渡す。</p>		
成果・実績	<p>3カ月児健診及び1歳8カ月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3カ月児健診の会場では、中央図書館の絵本ボランティアの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介や、遊び方の指導を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">3カ月児健診配付数 1,397人 1歳8カ月児健診配付数 1,547人</p>		
事業評価	<p>絵本の配付によって、健やかな親子の関係づくりを促進し、子育て支援を行うことができた。図書館等との連携を図り、実施方法の検討をしながら、平成26年度も継続実施する。</p>		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課																										
		決算額	184,991千円																										
事業内容	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																												
成果・実績	<p>予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">接種者数</th> <th style="text-align: center;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">1,102</td> <td>健やかセンター（うじ安心館内）</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">2,304</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">協力医療機関</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td style="text-align: center;">4,308</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td style="text-align: center;">1,917</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td style="text-align: center;">1,006</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">3,206</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">6,939</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">還付請求分を除く</td> </tr> </tbody> </table>				接種者数	実施場所	BCG	1,102	健やかセンター（うじ安心館内）	不活化ポリオ	2,304	協力医療機関	四種混合	4,308	三種混合	1,917	二種混合	1,006	麻しん風しん混合	3,206	麻しん	0	風しん	0	日本脳炎	6,939	還付請求分を除く		
	接種者数	実施場所																											
BCG	1,102	健やかセンター（うじ安心館内）																											
不活化ポリオ	2,304	協力医療機関																											
四種混合	4,308																												
三種混合	1,917																												
二種混合	1,006																												
麻しん風しん混合	3,206																												
麻しん	0																												
風しん	0																												
日本脳炎	6,939																												
還付請求分を除く																													
事業評価	法改正に適切に対応し、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。平成26年度も国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める必要がある。																												

事務事業名	ヒブワクチン等接種事業費	所管課	保健推進課
		決算額	116,149千円
事業内容	<p>平成22年度より、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金を活用し、3ワクチンの接種費用の一部助成を行っていたが、法改正により、平成25年度から定期接種化された。</p> <p>ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌は、主に細菌性髄膜炎の予防のため、生後2カ月から5歳未満の乳幼児を対象に、（一社）京都府医師会及び（一社）宇治久世医師会協力医療機関に委託実施する。</p>		
成果・実績	<p>ヒブワクチン等接種事業費 116,149千円</p> <p>ヒブワクチン延べ接種件数 6,286件</p> <p>小児用肺炎球菌ワクチン延べ接種件数 5,963件</p>		
事業評価	法改正により、平成25年度より定期接種として感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。平成26年度も国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める必要がある。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	心身障害児通園事業費	所管課	保健推進課
		決算額	28,328千円
事業内容	市内に居住する心身障害児等の育成を助長するため、通園施設において児童及び保護者に対し、指導、訓練を行う。(福)宇治福祉園、(福)かおり福祉会及びNPOアジュール舎に、介護給付費のほか市単費補助金を交付する。		
成果・実績	<p>障害児通園(児童デイサービス)事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった児童に対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成25年度は待機児童がなかった。</p> <p style="text-align: center;"> 児童デイサービス 児童デイころぼっくる(アジュール舎) 宇治福祉園 かおり之園(かおり福祉会) </p>		
事業評価	発達障害支援のため事業者が運営する通園施設への補助金交付について適正に執行した。利用ニーズが高く、平成26年度も継続実施するが、今後更なる確かな状況把握や現状分析し見通しを立てることが必要である。		

事務事業名	発達相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	8,550千円
事業内容	健診、乳幼児相談及び家庭訪問等を通して、発育・発達上に問題がある子ども(疑いも含む)や、子どもへの関わりに不安や心配のある保護者に対し、発達相談(個別相談、診断)を実施し、今後の対応の方向性、家庭での具体的な関わりについての指導・援助を行う。		
成果・実績	<p>保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子の健やかな成長を図った。</p> <p style="text-align: center;"> 開設数 792回 相談件数 1,031件 </p>		
事業評価	相談・指導により、親が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築き、子の健やかな成長を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、今後更なる確かな状況把握や現状分析し見通しを立てることが必要である。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	新生児訪問指導事業費	所管課	保健推進課
		決算額	49千円
事業内容	<p>出産後間もない産婦と新生児を対象に希望者に対し、先天性異常の早期発見と育児不安の軽減を目的として、保健師が家庭に出向き、個々の状況に応じて、養育上必要な育児指導（栄養、清潔、保温、育児環境、疾病予防等）や相談を行う。また必要に応じて母子保健サービスや医療・福祉サービス等につなげ、児と保護者の健康の保持・増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>産婦及び新生児の妊娠中、出生時、現在の状況を把握し、それに対して保健指導を行った。また、今後の相談窓口として地区担当保健師を紹介するとともに、保健事業を普及・啓発し、安心して子育てができるよう援助した。</p> <p style="text-align: center;">訪問件数 614件</p>		
事業評価	<p>新生児期の養育上必要な育児指導、先天性異常の早期発見等、適切な保健指導を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図ることができた。平成26年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	1,566千円
事業内容	<p>1歳8カ月児健康診査の中で、発達面で経過をみていく必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師、保育士が運営する。</p>		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p style="text-align: center;">開催数 1クール全10回を4クラス 1クール全11回を2クラス (うち、大雨のため1回中止)</p> <p style="text-align: center;">処遇児数 90人</p>		
事業評価	<p>教室開催により、適切な親子関係を築き、子の健やかな成長を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、引き続き的確な状況把握や現状分析など、見通しを立て運営を検討していく必要がある。</p>		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	早期療育ネットワーク会議運営費	所管課	保健推進課
		決算額	170千円
事業内容	「宇治市早期療育ネットワーク会議」設置規程により、療育等の専門的な指導が必要な子どもの早期発見と早期に適切な指導が行われるよう、関係機関のネットワーク化、療育システムの確立を図るための検討と研究を行う。		
成果・実績	心身に障害のある子どもや発達上支援が必要と思われる子どもに対して、発達に応じた適切な療育指導を行うため、保健・福祉・教育・医療の関係者が集まって意見交換を行った。 開催回数 2回		
事業評価	療育に関わる関係機関とのネットワーク形成により、情報共有と業務連携を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、引き続き的確な状況把握や現状分析を踏まえ、国・京都府・関係機関との連携を図るなどの支援体制の検討が必要である。		

事務事業名	幼児期後期フォロー教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	768千円
事業内容	LD、ADHD、広汎性発達障害などの発達障害、またはその疑いのある幼児に対する早期支援として、各幼児の課題に合わせた発達支援を行い、保護者や就園先の関係者と必要な関わりや手立てを相談する。対象幼児の発達を促進し、障害から生じる困難を予防する。少人数の教室を開催し、保護者懇談や園連携を行う。		
成果・実績	個別指導と集団指導を時間を分けて実施し、個々の課題解決に取り組んだ。指導は、発達相談員、保育士、作業療法士が行い、幼児の発達を促した。また、保護者や幼稚園・保育所（園）等の担当者に幼児の特性を理解してもらい、適切な関わりを促し二次障害を防いだ。 開催数 1クール全7回を3クラス 月1回全10回を1クラス 処遇児数 24人		
事業評価	教室を開催し、幼児の発達段階に応じた関わりを持つことで、健やかな成長を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、引き続き的確な状況把握や現状分析など、見通しを立て運営を検討していく必要がある。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	感染症対策費	所管課	保健推進課
		決算額	117千円
事業内容	食中毒・各種感染症予防のための啓発活動に取り組むとともに、京都府と連携し、集団発生が危惧される新型インフルエンザに備えた体制整備を実施する。連絡会議の開催、広報や出張講演を行い、市民の正しい知識の習得による感染症予防や不安解消につなげる。		
成果・実績	市政だより、パンフレット配布などにより、食中毒や各種感染症予防の啓発活動を行った。また、食中毒（0-157）予防対策庁内連絡会議を開催し、集団発生時に備えた体制を整えるとともに、食中毒注意報発令時には関係機関と連携を図り、食中毒に対する注意喚起を行った。		
事業評価	京都府と連携し、感染症の周知・啓発を行うことによって、感染症まん延の防止や市民の不安解消を図ることができた。平成26年度も継続実施するとともに、引き続き、新型インフルエンザ等対策行動計画の策定に取り組む。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	保健推進課				
		決算額	7,260千円				
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた者に、週1回水曜日（年末年始除く）、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で、口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。						
成果・実績	歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>診療日数</td> <td style="text-align: right;">51日</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td style="text-align: right;">290人</td> </tr> </table>			診療日数	51日	受診者数	290人
診療日数	51日						
受診者数	290人						
事業評価	適切に事業実施し、障害者の健康保持・増進を図ることができた。平成26年度も市民ニーズに対応して継続実施する。						

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	13,932千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事養育費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の、一部を助成した。</p> <p style="margin-left: 20px;">給付決定児数 56人 給付延件数 133件 給付延日数 2,783日</p>		
事業評価	未熟児に対し、その養育に必要な医療等の給付を行い、自己負担の軽減を図ることができた。平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	未熟児訪問指導事業費	所管課	保健推進課
		決算額	65千円
事業内容	正常な新生児にくらべ発達が十分でない未熟児の健やかな成長と、養育する保護者の支援のための訪問指導を行う。		
成果・実績	<p>家庭訪問を通じて、養育支援の必要な家庭を早期かつ的確に把握し、未熟児の健やかな成長を支援するとともに、親への重点的支援を行うことができた。</p> <p style="margin-left: 20px;">訪問件数 114件</p>		
事業評価	養育支援の必要な家庭を早期かつ的確に把握し、訪問・指導を通じて、未熟児の健やかな成長を図ることができた。平成26年度も継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	保健推進課									
		決算額	30,682千円									
事業内容	日曜、祝日、国民の休日及び年末・年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	<p>（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数(人)</th> <th>診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td>1,712</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>634</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	1,712	70	歯科	634	71
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	1,712	70										
歯科	634	71										
事業評価	休日、年末・年始における急病の診療に適切に対応し、市民の健康保持や適切な治療を図ることができた。感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できるよう体制を維持し、平成26年度も継続実施する。											

事務事業名	風しん予防接種緊急対策事業費	所管課	保健推進課
		決算額	6,086千円
事業内容	風しんの流行拡大に対応し、妊婦と産まれてくる子の健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、緊急対策として風しん予防接種にかかる費用を助成する。		
成果・実績	<p>風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。</p> <p>助成者数 993人 助成額 6,040千円</p>		
事業評価	京都府の助成制度に市独自の助成内容を加えて、風しん予防接種に係る費用の一部を助成することで、幅広く市民へ接種を促し、妊婦と産まれてくる子の健康を守ることができた。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	8,669千円
事業内容	<p>生後4カ月になるまでの乳児がいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩みや不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげる。</p>		
成果・実績	<p>親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつける。</p> <p style="text-align: center;">訪問件数 802件</p>		
事業評価	<p>子育ての孤立化を防ぐとともに、親の育児不安の軽減や支援が必要な家庭に対して、適切なサービス提供に結びつけることができた。今後も、的確な支援が行えるよう関係機関や社会資源などとの連携や実施方法の検討を図る必要がある。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康生きがい課
		決算額	683千円
事業内容	生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各職種スタッフを講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識を普及する他、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼やイベント等の機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p style="margin-left: 40px;">実施回数 77回 実施人数 1,747人</p>		
事業評価	教室の開催等によって、市民の健康意識の向上を図ることができた。健康増進の効果を高めながら、若年層や新規参加者の参加促進のため開催日設定の工夫や、効果的な広報、学習内容の検討などを行い、平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	健康教育費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	667千円
事業内容	生活習慣病を中心に、介護予防に関する知識とその重要性についての認識を深め、高齢者自らの自主的な介護予防への取組を支援する。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識を普及する他、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼やイベント等の機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p style="margin-left: 40px;">実施回数 37回 実施人数 971人</p>		
事業評価	教室の開催等によって、高齢者の健康意識の向上や介護予防を図ることができた。今後も高齢者人口は増加する見込みであり、参加しやすい開催日程の工夫や効果的な広報、学習内容の検討などに努め、平成26年度も継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康相談費	所管課	健康生きがい課
		決算額	138千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるよう実施する。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>実施回数 44回 実施人数 153人</p>		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応し、健康管理を促進することができた。平成26年度も継続実施するが、今後はより多くの市民の健康増進を図るため、広報の見直しや実施手法の改善を図る必要がある。		

事務事業名	健康相談事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	510千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行う。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>実施回数 92回 実施人数 698人</p>		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応し、健康管理を促進することができた。平成26年度も継続実施するが、今後はより多くの市民の健康増進を図るため、広報の見直しや実施手法の改善を図る必要がある。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康生きがい課
		決算額	180千円
事業内容	市民の健康づくりや生活習慣病予防の為に食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況 支援活動回数 25回 参加者数 214人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 3回 参加会員数 57人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援し、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化や会員数の減少など、課題を踏まえた支援内容を検討しながら平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	215千円
事業内容	在宅高齢者の健康づくりや生活習慣病予防の為に、食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況 支援活動回数 24回 参加者数 218人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 3回 参加会員数 57人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援し、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化や会員数の減少など、課題を踏まえた支援内容を検討しながら平成26年度も継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	食生活改善推進員養成費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	498千円				
事業内容	市民の健康づくりや生活習慣病予防のため、食生活改善を進める食生活改善推進員を養成する。						
成果・実績	<p>食生活改善推進員として活動するために必要な講義や実習をカリキュラムに沿って実施した。</p> <p>講座実施状況</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>実施回数</td> <td style="text-align: right;">27回</td> </tr> <tr> <td>延べ受講者数</td> <td style="text-align: right;">623人</td> </tr> </table>			実施回数	27回	延べ受講者数	623人
実施回数	27回						
延べ受講者数	623人						
事業評価	食生活改善を進める食生活改善推進員を養成し、健康づくりや生活習慣病予防に資する食育活動の推進を図ることができた。今後は活動状況に応じて養成を検討する。						

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	前立腺がん検診費	所管課	健康生きがい課															
		決算額	1,960千円															
事業内容	近年増加傾向にある前立腺がんを早期に発見し、早期治療につなげることにより、前立腺がんによる死亡率を減少させることを目的として、55歳以上の市民（男性のみ）を対象に、検診協力医療機関にて個別検診を実施する。																	
成果・実績	<p>対象者に個別検診を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5" style="border: none;">(人)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">年度</td> <td style="border: 1px solid black;">受診者数</td> <td style="border: 1px solid black;">要精検者数</td> <td style="border: 1px solid black;">がん(疑い)数</td> <td style="border: 1px solid black;">その他疾病</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">25</td> <td style="border: 1px solid black;">2,809</td> <td style="border: 1px solid black;">302</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <p>平成25年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			(人)					年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	25	2,809	302		
(人)																		
年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病														
25	2,809	302																
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。意識啓発に努めながら、平成26年度も継続実施する。																	

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康診査費	所管課	健康生きがい課															
		決算額	5,639千円															
事業内容	生活保護世帯等の40歳以上の者を対象に、生活習慣病を中心とした疾患及び予備群を早期発見することにより、健康的な生活を送ることができるよう支援し、予防することでその罹患者数を減少させる。健診協力医療機関にて個別健診を実施する。																	
成果・実績	<p>対象者に個別健診を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>情報提供</th> <th>動機付け支援</th> <th>積極的支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>50</td> <td>29</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>113</td> <td>95</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受診者数	情報提供	動機付け支援	積極的支援	24	50	29	3	3	25	113	95	7	11
年度	受診者数	情報提供	動機付け支援	積極的支援														
24	50	29	3	3														
25	113	95	7	11														
事業評価	生活習慣病を中心とした疾患及び予備群の早期発見により市民の健康保持・増進を図ることができた。平成25年度は対象者への個別勧奨を実施したことで、受診者数は増加した。平成26年度は引き続き意識啓発に努めながら継続実施する。																	

事務事業名	結核予防費	所管課	健康生きがい課									
		決算額	2,183千円									
事業内容	肺結核の早期発見・早期治療を目的として、65歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。											
成果・実績	<p>半日単位34回中、23回は胃がん検診と同日実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>うち要精密検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>1,931</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>1,955</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受診者数	うち要精密検査	24	1,931	0	25	1,955	0
年度	受診者数	うち要精密検査										
24	1,931	0										
25	1,955	0										
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。結核・肺がん検診との同日実施については、平成26年度も市民の利便性を考慮し継続実施するが、引き続き、市民ニーズを踏まえた効果的な実施方法について工夫、検討する必要がある。											

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	胃がん検診費	所管課	健康生きがい課															
		決算額	7,053千円															
事業内容	胃がんは早期発見・早期治療によって100%近い治癒が得られるとされている。受診率の向上、早期発見・早期治療を目指し、40歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。																	
成果・実績	<p>半日単位45回中、23回は結核・肺がん検診と同日実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: center;">1,981</td> <td style="text-align: center;">212</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">169</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td style="text-align: center;">1,699</td> <td style="text-align: center;">287</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	24	1,981	212	8	169	25	1,699	287		
年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病														
24	1,981	212	8	169														
25	1,699	287																
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。結核・肺がん検診との同日実施については、平成26年度も市民の利便性を考慮し継続実施するが、引き続き、市民ニーズを踏まえた効果的な実施方法について工夫、検討する必要がある。																	

事務事業名	子宮がん検診費	所管課	健康生きがい課															
		決算額	22,977千円															
事業内容	子宮頸部に発生するがんを早期に発見し早期治療につなげることを目的として、20歳以上の市民(女性のみ)を対象に、京都府下の検診協力医療機関にて個別検診を実施する。																	
成果・実績	<p>平成25年度は、西暦偶数年生まれの女性を対象に実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: center;">3,288</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td style="text-align: center;">3,155</td> <td style="text-align: center;">52</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	24	3,288	43	2	10	25	3,155	52		
年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病														
24	3,288	43	2	10														
25	3,155	52																
事業評価	国制度に基づいた無料クーポン券の配付を行い、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成26年度も実施方法の工夫、検証を図りつつ、市民の意識啓発に努め、継続実施する。																	

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	乳がん検診費	所管課	健康生きがい課															
		決算額	23,752千円															
事業内容	マンモグラフィ検査の併用実施により、がんを早期に発見し早期治療につなげ、乳がんの罹患率及び死亡率を減少させることを目的として、40歳以上の市民（女性のみ）を対象に、検診協力医療機関にて個別検診を実施する。早期発見し治療することでその予後は良好であり、乳房の温存による生活の質の維持・向上が期待される。																	
成果・実績	<p>平成25年度は、西暦偶数年生まれの女性を対象に実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: center;">3,096</td> <td style="text-align: center;">301</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">147</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td style="text-align: center;">3,231</td> <td style="text-align: center;">256</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	24	3,096	301	6	147	25	3,231	256		
年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病														
24	3,096	301	6	147														
25	3,231	256																
事業評価	国制度に基づいた無料クーポン券の配付を行い、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成26年度も実施方法の工夫、検証を図りつつ、市民の意識啓発に努め、継続実施する。																	

事務事業名	肺がん検診費	所管課	健康生きがい課															
		決算額	2,648千円															
事業内容	過去10年、本市において肺がんは、がんによる死亡のうち部位別では第1位を占めており、早期発見・早期治療を目的として、40歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。																	
成果・実績	<p>半日単位34回中、23回は胃がん検診と同日実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: center;">2,849</td> <td style="text-align: center;">88</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">47</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td style="text-align: center;">2,805</td> <td style="text-align: center;">328</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	24	2,849	88	6	47	25	2,805	328		
年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病														
24	2,849	88	6	47														
25	2,805	328																
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。結核・肺がん検診との同日実施については、平成26年度も市民の利便性を考慮し継続実施するが、引き続き、市民ニーズを踏まえた効果的な実施方法について工夫、検討する必要がある。																	

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	成人歯科健診費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	136千円				
事業内容	歯周病を予防、早期発見し、生涯自分の歯で摂食行動できるようにするため、40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に、健診協力医療機関にて個別健診を実施する。						
成果・実績	<p>節目年齢の市民を対象に個別健診を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>受診者数</td> <td style="text-align: right;">40人</td> </tr> <tr> <td>要精検者数</td> <td style="text-align: right;">30人</td> </tr> </table>			受診者数	40人	要精検者数	30人
受診者数	40人						
要精検者数	30人						
事業評価	受診者の7割強に異常が早期発見され、市民の健康保持・増進を図ることができた。受診促進や市民の意識啓発に努めながら、平成26年度も継続実施する。						

事務事業名	大腸がん検診費	所管課	健康生きがい課																				
		決算額	23,685千円																				
事業内容	近年増加傾向にある大腸がんを早期に発見し早期治療につなげることにより、大腸がんによる死亡率を減少させることを目的として、40歳以上の市民を対象に個別検診を実施する。																						
成果・実績	<p>40歳以上の市民を対象に個別検診により実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">(人)</td> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> <tr> <td>24</td> <td>9,400</td> <td>783</td> <td>27</td> <td>331</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>9,526</td> <td>858</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>平成25年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			(人)					年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	24	9,400	783	27	331	25	9,526	858		
(人)																							
年度	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																			
24	9,400	783	27	331																			
25	9,526	858																					
事業評価	国制度に基づいた無料クーポン券の配付を行い、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成26年度も実施方法の工夫、検証を図りつつ、市民の意識啓発に努め、継続実施する。																						

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	538千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定や骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨や体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防や健康づくりを実践する動機づけとなるよう実施する。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施回数 5回 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施人数 136人 </div>		
事業評価	教室を実施し、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機づけを行うことができた。今後も対象者に合わせた実施方法の工夫や検証に努め、平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	骨粗しょう症予防教室事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	600千円
事業内容	骨粗しょう症予備群となる者に対し、骨密度測定や骨の健康に関する学習をすることにより、現在の体の状態を把握し、介護予防を実践する動機づけとなるよう実施する。（対象：65歳以上）		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施回数 3回 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施人数 187人 </div>		
事業評価	教室を実施し、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機づけを行うことができた。今後も対象者に合わせた実施方法の工夫や検証に努め、平成26年度も継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	子宮頸がん予防接種事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	9,041千円
事業内容	子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染予防のため、未感染の年代の女性に予防ワクチンを定期接種で実施し、子宮頸がんの発症を予防することを目的としている。（対象：小学6年生から高校1年生の年齢に相当する女性） 平成25年度より、予防接種法に基づく定期予防接種として小学6年生から高校1年生の年齢に相当する女性に実施。3回の接種で完了となる。		
成果・実績	平成25年度 延べ接種件数 569件		
事業評価	平成25年度より定期接種化しており、国の制度を利用して、感染症予防対策を行うことで市民の健康保持を図ることができたが、国の通知により、現在は子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨を差し控えている。平成26年度も引き続き、国の動向を注視していく必要がある。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	高齢者アカデミー運営費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,560千円
事業内容	京都文教大学にて、70歳以上の市民を対象に、「高齢者アカデミー」を開校する。プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。		
成果・実績	高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。 受講者 22人		
事業評価	高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりの促進を図り、学びの場での多世代交流機会を創出することができた。平成26年度も継続実施するが、地域社会への還元の方法や実施方法などを検証する必要がある。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	敬老会開催費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	10,058千円				
事業内容	<p>長年社会に貢献されてきた高齢者に敬愛の精神をもって接するよう広く市民の関心と理解を深め、高齢者自らの生活意欲を高めるため、当該年中に70歳以上になる高齢者を敬老の日に文化センターへ招待し式典を開催する。また、9月15日現在、数え年88歳の高齢者に対し、米寿を祝うための記念品を贈呈する。</p>						
成果・実績	<p>敬老の日に宇治市文化センターで午前と午後の2回、市内在住の70歳以上の高齢者を招待して敬老会を開催する予定であったが、台風18号接近に伴う特別警報等の発令により中止とした。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">参加申込者</td> <td style="text-align: right;">2,699人</td> </tr> <tr> <td>米寿記念品支給者数</td> <td style="text-align: right;">583人</td> </tr> </table>			参加申込者	2,699人	米寿記念品支給者数	583人
参加申込者	2,699人						
米寿記念品支給者数	583人						
事業評価	<p>平成25年度は悪天候のため開催を中止した。高齢者の増加等に対応するため、引き続き、開催場所の選定や実施方法などを検討する必要がある。</p>						

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	1,979千円																		
事業内容	<p>高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。 また平成25年度より、年2回、全利用者を対象に園芸教室を開催する。</p>																				
成果・実績	<p>8カ所647区画を管理し、60歳以上の者に1世帯約10㎡を1区画として貸与した。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>園芸ひろば名称</th> <th>利用者数(区画数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td>大久保</td><td style="text-align: center;">129</td></tr> <tr><td>伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>槇島</td><td style="text-align: center;">117</td></tr> <tr><td>伊勢田若林</td><td style="text-align: center;">49</td></tr> <tr><td>木幡</td><td style="text-align: center;">87</td></tr> <tr><td>小倉寺内</td><td style="text-align: center;">60</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">平成25年度より開園</p>			園芸ひろば名称	利用者数(区画数)	芝ノ東	95	大久保	129	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	117	伊勢田若林	49	木幡	87	小倉寺内	60
園芸ひろば名称	利用者数(区画数)																				
芝ノ東	95																				
大久保	129																				
伊勢田第2	55																				
羽戸山	55																				
槇島	117																				
伊勢田若林	49																				
木幡	87																				
小倉寺内	60																				
事業評価	<p>市内8カ所の園芸ひろばを整備・運営し、高齢者の生きがい増進と地域コミュニティの活性化を図ることができた。利用状況を踏まえつつ、今後も運営方法等について検討する必要がある。</p>																				

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	輝き支援 2015 高齢期支援システム創造事業費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	7,200千円																		
事業内容	<p>団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を前に、健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座、講演会などの事業を（一財）宇治市福祉サービス公社に委託し実施する。知識や経験を活用しながら、健康に関心を持ち、地域活動に参加できるよう、新しい高齢期支援システムの構築を目指す。</p>																				
成果・実績	<p>健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座・講演会等の事業を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>講座数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健やか生活塾</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">165</td> </tr> <tr> <td>愉快生活塾</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">358</td> </tr> <tr> <td>活動支援事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">854</td> </tr> <tr> <td>共催事業</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">137</td> </tr> <tr> <td>あき竹城氏講演会</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">392</td> </tr> </tbody> </table>			講座名	講座数	参加延べ人数	健やか生活塾	3	165	愉快生活塾	3	358	活動支援事業	3	854	共催事業	1	137	あき竹城氏講演会	1	392
講座名	講座数	参加延べ人数																			
健やか生活塾	3	165																			
愉快生活塾	3	358																			
活動支援事業	3	854																			
共催事業	1	137																			
あき竹城氏講演会	1	392																			
事業評価	<p>（一財）宇治市福祉サービス公社へ委託実施し、様々な講座等の開催により、高齢期を迎える世代の健康・生きがいづくりや地域活動への意識啓発につながった。平成26年度で終了する事業であり、これまでの事業効果の分析や評価などの総括が必要である。</p>																				

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,941千円
事業内容	<p>（宗）平等院からの寄付金1億円を高齢者活動基金として積み立て、運用益を高齢者の生きがい対策のための各種サービス（健康まつりの開催、敬老月間、喜老会への補助など）の充実を図る目的の事業のために使用し、寄付者の意思に報う。</p>		
成果・実績	<p>高齢者の活動を促進するため、事業開催や事業費補助を行った。</p> <p>健康まつり 211千円 機器による各種測定、診断や、協力団体等によるストレッチ指導等を行い、楽しみながら市民の健康への意識を高めた。〈うー茶ん〉のつどい事業と合同で開催した。</p> <p>参加者 約600人</p> <p>老人クラブ活動促進特別事業 850千円 老人福祉センター交流事業 189千円 宇治市老人福祉センターサークル活動発表大会事業 300千円 宇治市敬老月間事業 79千円 宇治市高齢者住まいに関する指針認証事業 312千円</p>		
事業評価	<p>健康まつりの開催、敬老月間や喜老会活動への助成などを行い、高齢者の生きがい活動を促進できた。平成26年度も継続実施するが、助成のあり方を含め、世代間交流の推進や関係課・団体との連携など、より多くの市民に効果的な実施手法の検討が必要である。</p>		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	高齢者スポーツ大会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,626千円
事業内容	60歳以上の市民を対象に、スポーツ大会を実施する。大会では、グラウンドゴルフ、ペタンク、ディスコンなど初めての方でも気軽にできる種目を行う。		
成果・実績	スポーツ大会を実施し、高齢者の健康づくりを図るとともに、スポーツの場での交流機会を創出した。 参加者 283人		
事業評価	高齢者の健康づくりの促進やスポーツの場を通じて交流機会を創出することができた。平成26年度も継続実施する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	ボランティア研修会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	300千円
事業内容	市民の積極的な社会参加を促進するとともに、介護予防事業への理解と普及・啓発を促進する。		
成果・実績	介護予防に関するボランティア等の人材育成や介護予防に資する地域活動組織の育成・支援のための事業を行った。 実人数 234人		
事業評価	研修の実施によって介護予防に関わる人材の育成を行い、積極的な地域福祉活動への参加につながった。今後は関係機関と連携し、育成した人材の有効活用や研修の効果の検証など、効果的な実施手法を検討する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	149千円
事業内容	40歳以上65歳未満で運動機能の低下を生じている者に対して、身体機能の向上、閉じこもりの予防のため、パワーリハビリ教室を行う。		
成果・実績	<p>パワーリハビリ教室を行い、心身の機能の維持改善を図った。</p> <p style="text-align: center;">実人員 3人</p>		
事業評価	教室を開催し、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成26年度も教室の効果や周知・啓発方法を検証しながら継続実施する。		

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	19,559千円
事業内容	<p>パワーリハビリ教室：二次予防事業対象者に対し、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動やストレッチ体操等を行う。</p> <p>足しかり体操教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動や体操を中心としたトレーニングを行う。</p>		
成果・実績	<p>二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。</p> <p style="text-align: center;">実人員 272人</p>		
事業評価	教室を開催し、二次予防事業対象者の健康保持・増進や身体機能の改善等、介護予防を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、二次予防事業対象者把握事業との連携等、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課				
		決算額	15,879千円				
事業内容	<p>パワーリハビリ事業：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な65歳以上の者を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。</p> <p>B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもりがちな虚弱高齢者や障害のある者等を対象に、地域との交流を通じて「閉じこもり症候群」を防止し、生活機能の維持・改善を図る。</p>						
成果・実績	<p>介護予防の普及・啓発に資する機能訓練を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">パワーリハビリ事業参加者数（実人員）</td> <td style="text-align: right;">373人</td> </tr> <tr> <td>B型リハビリ教室参加者数（実人員）</td> <td style="text-align: right;">232人</td> </tr> </table>			パワーリハビリ事業参加者数（実人員）	373人	B型リハビリ教室参加者数（実人員）	232人
パワーリハビリ事業参加者数（実人員）	373人						
B型リハビリ教室参加者数（実人員）	232人						
事業評価	<p>教室を開催し、一次予防事業対象者の健康保持・増進や意識啓発、介護予防を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、他事業との連携や事業の実施方法など、より効果的な事業実施を検討する必要がある。</p>						

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	健康生きがい課								
		決算額	254千円								
事業内容	<p>地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。</p>										
成果・実績	<p>地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2">延べ人員数</td> </tr> <tr> <td style="width: 60%;">地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">47人</td> </tr> <tr> <td>小地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">273人</td> </tr> <tr> <td>資質向上研修</td> <td style="text-align: right;">43人</td> </tr> </table>			延べ人員数		地域包括ケア会議	47人	小地域包括ケア会議	273人	資質向上研修	43人
延べ人員数											
地域包括ケア会議	47人										
小地域包括ケア会議	273人										
資質向上研修	43人										
事業評価	<p>地域包括ケア会議や研修を行うことで、関係団体や多職種の連携を促し、地域包括ケアを推進することができた。平成26年度も継続実施するが、今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携体制の強化を図る必要がある。</p>										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在宅寝たきり者等訪問指導事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	56千円
事業内容	40歳以上65歳未満の在宅寝たきり者や家族等、支援が必要な者に対し、在宅療養条件の整備及びその健康の保持増進のため、訪問による保健指導を行う。		
成果・実績	<p>居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。</p> <p style="text-align: center;">実人員 6人</p>		
事業評価	訪問での保健指導によって、在宅寝たきり者や家族の心身機能の維持改善や日常生活の向上を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、利用者は減少しており、市民ニーズや対象者の把握方法について検討する。		

事務事業名	訪問型介護予防事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,324千円
事業内容	二次予防事業対象者に対し、運動機能・口腔機能の向上、栄養改善、閉じこもり・うつ・認知症の予防のため、訪問による保健指導を行う。		
成果・実績	<p>居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。</p> <p style="text-align: center;">実人数 18人</p>		
事業評価	二次予防事業対象者の生活課題に対し、適切に相談・指導を行うことができた。平成26年度も継続実施するが、専門的な支援の充実等により効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護予防普及啓発事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	209千円
事業内容	介護予防の重点項目を中心に、高齢者の健康管理等を見直すきっかけづくりとして介護予防に資する基本的な知識を普及・啓発するとともに、一次予防事業を周知する。また、各種健診等を周知し、リスクの高い二次予防事業対象者を把握し、適切な介護予防サービスにつなげる。		
成果・実績	65歳以上の高齢者に、介護予防の普及・啓発に資する介護予防教室を行った。 実人員 109人		
事業評価	市民への周知・啓発によって介護予防への意識の向上を図ることができた。適切な介護予防サービスにつなげるため、参加者の増加や実施手法の改善に努め、平成26年度も実施する。		

事務事業名	認知症家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	391千円
事業内容	認知症家族支援プログラムやOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。		
成果・実績	介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。 延べ人員数 家族支援プログラム 34人 OB会支援 93人		
事業評価	認知症の知識の普及・啓発や介護家族への支援を図ることができた。平成26年度も関連事業と連携し、市民ニーズを把握しながら、より効果的な手法を検討し継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	7,870千円
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。		
成果・実績	<p>認知症予防を目的とした教室や認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。</p> <p>認知症予防教室参加者数（実数） 122人 認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 1,552人 脳活性化教室延べ参加者数 1,885人 キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数 0人 （ 2年に一度実施、平成25年度非実施）</p>		
事業評価	教室の開催等によって認知症の知識の普及・啓発や介護家族への支援を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、引き続き他の事業との連携や市民ニーズに対応した実施手法の検討に取り組む必要がある。		

事務事業名	生活支援ホームヘルプサービス事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	756千円
事業内容	日常生活を営むのに支障のある65歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で、介護保険認定非該当の者にヘルパーを派遣しサービスを提供する。		
成果・実績	<p>体が弱いなどの理由により家事等の援助が必要となった高齢者の居宅をヘルパーが訪問し、掃除、買い物、洗濯、炊事などの支援を行った。</p> <p>実利用者数 10人 延べ利用回数 303回</p>		
事業評価	要介護認定非該当の高齢者の日常生活の向上を図ることができた。利用について、必要性の判断が難しく、今後は対象者の客観的要件の整理が必要であり、効果的な事業のあり方について検討する必要がある。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	健康生きがい課
		決算額	110,385千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	<p>対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">措置延べ人数 651人</p> <p style="margin-left: 40px;">措置人数 52人 (平成25年度末現在)</p>		
事業評価	老人福祉法に基づいて養護老人ホームへの入所措置を適正に行った。高齢化の進行等、複雑化する社会状況を踏まえると、今後も継続して対象者が見込まれ、効果的なサービス利用など在宅生活の可能性を十分に検討した上で措置することを基本とし実施する。		

事務事業名	高齢者日常生活支援事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	471千円
事業内容	高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう低所得（市民税非課税世帯）の高齢者による日常生活支援サービスの利用促進を図るため、日常生活支援サービスを実施する団体（非営利団体）が当該サービスに係る利用料を減免した場合に、当該減免部分について、対象者1人あたり年1万円を上限に助成する。		
成果・実績	<p>低所得の高齢者が利用した日常生活支援サービスの利用料の減免分について、助成を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">利用件数 99件</p>		
事業評価	低所得の高齢者が利用した日常生活支援サービスの利用料の減免分について、事業者に助成を行うことで、利用者の負担軽減や高齢者の福祉の向上を図ることができた。平成26年度も継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	13,846千円
事業内容	<p>高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるよう援助する。シルバーホン設置、訪問活動事業への助成などを行う。</p>		
成果・実績	<p>在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。</p> <p>一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,960千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認や不安解消を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">対象者数 1,960人</p> <p>在宅ねたきり高齢者等見舞品支給事業 370千円 要介護認定3・4・5で在宅にて介護を受けている高齢者等に民生児童委員を通して見舞品を支給した。</p> <p style="padding-left: 40px;">支給者数 1,264人</p> <p>シルバーホン（緊急発信設備付電話）設置事業 9,799千円 本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。</p> <p style="padding-left: 40px;">設置数 平成25年度 新規140台、平成25年度末 863台</p> <p>福祉電話の基本通話料の助成 1,545千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の基本料金等を助成した。</p> <p style="padding-left: 40px;">年度末助成対象者数 64人</p> <p>家具等倒壊防止金具購入の助成 51千円 家具等倒壊防止金具等を設置する高齢者（65歳以上の市民税非課税世帯）に、その金具等の費用を助成した。</p> <p style="padding-left: 40px;">助成件数 11件</p>		
事業評価	<p>（福）宇治市社会福祉協議会への補助や、民生児童委員との連携などによって、社会的支援が必要な高齢者と関わりを持つことができた。平成25年度は高齢者の生活を総合的な制度で支えるという考えのもと、シルバーホンのサービスの充実や家具等の倒壊防止金具設置助成を新規実施し、高齢者の在宅生活を支援することができた。平成26年度も継続実施するが、地域・他団体との連携のあり方の検討等、支援の改善を図る必要がある。</p>		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	老人日常生活用具等給付費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	292千円						
事業内容	在宅で生活をしている65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で、心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付し、現に電話のない者に福祉用具を貸与・設置する。								
成果・実績	<p>一人暮らし等高齢者日常生活用具給付等事業 在宅で65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付した。</p> <p style="text-align: center;">（台）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>給付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電磁調理器</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td>自動消火器</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table> <p>福祉電話の貸与事業 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで、電話のない高齢者に福祉電話を貸与、設置した。 設置件数 平成25年度 新規6件</p>				給付件数	電磁調理器	13	自動消火器	0
	給付件数								
電磁調理器	13								
自動消火器	0								
事業評価	高齢になっても、できるだけ在宅での生活を維持するための支援として役立っており、平成26年度も継続実施する。								

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,759千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にあるものについて、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行うとともに低所得者については後見人の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	<p>判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症高齢者等に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、費用の立替等を行った。</p> <p>申立件数 18件</p>		
事業評価	認知症等により判断能力が十分でない高齢者の権利の保護を図ることができた。制度利用の希望者は増加傾向にあり、今後もより円滑な事務遂行に努める。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,317千円
事業内容	生活機能について回答する「お元気チェックリスト」による運動器の機能低下がみられ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅に介護保険給付対象工事をしたときに要した経費の一部を助成（認定工事の合計額3分の2（1世帯につき16万円限度））する。		
成果・実績	要介護状態等になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者の居住する住宅等について改造費の助成を行った。 助成件数 10件		
事業評価	生活機能の維持向上及び転倒事故防止を図り、日常生活を容易にし行動範囲の拡大等を確保するとともに、介護予防を図ることができた。平成26年度も適正な助成に努め、継続実施する。		

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	480千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、成年後見制度を利用することが有用であると認められるもので、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難であるものに対して、報酬等を市が助成する。		
成果・実績	成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難であるものに対して、本人が成年後見人等に支払うべき報酬を助成した。 助成件数(成年後見人等報酬) 2件		
事業評価	認知症等により判断能力が十分でない高齢者の権利の保護を図ることができた。制度利用の希望者は増加傾向にあり、今後もより円滑な事務遂行に努める。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,586千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツ等を年間を通じて恒常的かつ計画的に行えるため助成・育成を行い、老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成し、育成・指導に努めた。 会員数 3,534人 クラブ数 62（そのうち1つについては年度途中で発足。）		
事業評価	宇治市連合喜老会への助成や事業の委託料などを適正に執行し、高齢者の生きがい活動を促進できた。平成26年度も継続実施するが、クラブ数、会員の減少や高齢化が進んでおり、助成のあり方等を含め今後の施策展開について検討する必要がある。		

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	4,004千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消と社会参加のため、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスに対し、補助することによって、在宅福祉の充実に向け、行政、地域住民等の連携や、ボランティアの育成、地区社会福祉協議会、学区福祉委員会の充実を図る。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 延べ給配食数 11,439食		
事業評価	（福）宇治市社会福祉協議会へ補助金を交付し、社会的支援が必要な高齢者と関わりを持ち、地域福祉の向上を図ることができた。平成26年度も地域・他団体との連携等を強化し、より効果的な手法を検討しながら継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在宅高齢者介護者激励金支給費	所管課	健康生きがい課
		決算額	21,167千円
事業内容	介護保険法における要介護3・4・5の認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している者を対象に日常の介護を激励するため、在宅高齢者介護者激励金を支給し、高齢者福祉の増進を図る。平成18年度より基準日（10月1日）を年1回とし、支給要件の対象期間を基準日前1年間に見直した。		
成果・実績	<p>日常の介護を激励するため、要介護高齢者の介護者へ1人3万円の激励金を支給し、在宅高齢者福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">支給者数 705人</p>		
事業評価	要件に該当する対象者に激励金を支給し、在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減することができた。平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	介護用具リサイクル事業費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	938千円						
事業内容	市民等からリサイクル用に寄付を受けた福祉用具を、必要とする在宅寝たきり者等に貸与し、福祉用具を有効活用する。								
成果・実績	<p>福祉用具について、市民等から寄付を受け、修繕・貸与することで有効活用を図った。</p> <p style="text-align: center;">貸与数</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>特殊寝台</td> <td style="text-align: right;">21台</td> </tr> <tr> <td>車いす</td> <td style="text-align: right;">5台</td> </tr> <tr> <td>エアマット</td> <td style="text-align: right;">0個</td> </tr> </table>			特殊寝台	21台	車いす	5台	エアマット	0個
特殊寝台	21台								
車いす	5台								
エアマット	0個								
事業評価	寄付を受けた福祉用具を有効活用し、在宅での介護を支援することができた。平成26年度も継続実施する。								

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	高齢者住宅改造助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,879千円
事業内容	介護保険法における要支援・要介護の認定を受けた者の日常生活を容易にし介護者の負担の軽減を図るためリフト、エレベーター設置工事に要した経費の一部を助成（認定工事の合計額2分の1（1住宅につき30万円限度））する。（介護保険給付対象工事は除く。）		
成果・実績	<p>介助を要する高齢者等の居住する住宅等の改造費を助成し、福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 7件</p>		
事業評価	介助を要する高齢者等の居住する住宅等を改造費を助成することで、福祉の増進を図り、高齢者の経済的負担を軽減することができた。在宅での日常生活向上のため、平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	高齢者あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう施術費助成事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	12,790千円
事業内容	高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図るため、はり・きゅう・マッサージなどの施術費の一部を助成する。（対象者は市民税非課税の満65歳以上の方。）		
成果・実績	<p>施術費の一部を助成し、健康の保持及び増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成券交付件数 2,267件</p>		
事業評価	対象者が受けた施術料を助成し、経済的負担を軽減するとともに、健康保持・増進を図ることができた。高齢化の進行によって高齢者数は増加しており、高齢者の生活を総合的な制度で支えるという考えのもと、平成25年度は事業対象者を低所得者に見直し実施した。平成26年度も継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域介護・福祉空間整備費補助金	所管課	健康生きがい課						
		決算額	12,000千円						
事業内容	地域における公的介護施設等の計画的な整備等を促進するため、国庫補助金の対象となる施設整備について、事業者へ補助を行う。								
成果・実績	<p>「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づいた施設整備等を計画的に進めるため、地域介護・福祉空間整備推進交付金の対象となる施設整備に対して、事業者へ補助金を交付した。</p> <p style="text-align: center;">(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">施設種別</th> <th style="width: 40%;">補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>複合型サービス</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> </tr> </tbody> </table>			施設種別	補助金額	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10,000	複合型サービス	2,000
施設種別	補助金額								
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10,000								
複合型サービス	2,000								
事業評価	「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づいた施設整備について、事業者へ補助金を交付した。今後も国・京都府の動向を踏まえ、計画に基づいた整備を進めるために実施する。								

事務事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金	所管課	健康生きがい課																
		決算額	31,085千円																
事業内容	介護基盤の緊急整備及び円滑な開設など施設整備事業を支援するため、府補助金の対象となる施設整備について、事業者へ補助を行う。																		
成果・実績	<p>「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づいた施設整備等を計画的に進めるため、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金の対象となる施設整備等に対して、事業者へ補助金を交付した。</p> <p style="text-align: center;">(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">施設種別</th> <th style="width: 40%;">補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプリンクラー整備</td> <td style="text-align: right;">1,485</td> </tr> <tr> <td> 小規模多機能</td> <td style="text-align: right;">1,485</td> </tr> <tr> <td>定期借地</td> <td style="text-align: right;">18,800</td> </tr> <tr> <td> 認知症グループホーム等</td> <td style="text-align: right;">18,800</td> </tr> <tr> <td>施設開設準備経費助成特別対策事業</td> <td style="text-align: right;">10,800</td> </tr> <tr> <td> 認知症グループホーム</td> <td style="text-align: right;">10,800</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">31,085</td> </tr> </tbody> </table>			施設種別	補助金額	スプリンクラー整備	1,485	小規模多機能	1,485	定期借地	18,800	認知症グループホーム等	18,800	施設開設準備経費助成特別対策事業	10,800	認知症グループホーム	10,800	合計	31,085
施設種別	補助金額																		
スプリンクラー整備	1,485																		
小規模多機能	1,485																		
定期借地	18,800																		
認知症グループホーム等	18,800																		
施設開設準備経費助成特別対策事業	10,800																		
認知症グループホーム	10,800																		
合計	31,085																		
事業評価	「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づいた施設整備について、事業者へ補助金を交付した。今後も国・京都府の動向を踏まえ、計画に基づいた整備を進めるために実施する。																		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	83,262千円
事業内容	<p>介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、平成18年度に地域包括支援センターを市内6カ所の日常生活圏域（東宇治南、北宇治圏域は支所も設置）に設置した。要支援者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように指定介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。</p>		
成果・実績	<p>3職種 of 専門職を配置し、圏域内 of 高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、指定介護予防支援、高齢者やその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。</p> <p style="text-align: right;">新規相談者数（実人数） 4,226人</p>		
事業評価	<p>国の指針に基づいて、日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援することができた。今後も高齢者数は増加する見込みであり、効率的な業務や適切な体制の整備など、地域包括ケアの推進や包括的支援事業の充実に向けて取り組んでいく必要がある。</p>		

事務事業名	初期認知症総合相談支援事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	11,629千円
事業内容	<p>認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行う。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化等による支援体制の構築を図る。</p>		
成果・実績	<p>認知症の人とその家族に訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内5圏域で20回開催し、認知症の人に社会参加ができる場や、居場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 認知症スクリーニング訪問対象者数（延べ人数） 668人 認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数） 596人 認知症初期集中支援チーム対象事例数 53事例 </p>		
事業評価	<p>認知症の人が社会参加できる場の提供や認知症の早期発見、早期支援を行い、事例を蓄積、検証することで、個別の状況に応じた適切な医療や介護、社会資源などの支援体制の構築を推進することができた。今後は、認知症への支援方法の確立や認知症の在宅ケア体制の構築に向けて、成果を検証しつつ取り組む必要がある。</p>		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課																										
		決算額	5,589千円																										
事業内容	<p>要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。</p> <p>紙おむつ等購入費助成：要介護4・5の在宅高齢者の紙おむつ等を給付する。（月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5千円上限、市民税非課税世帯）</p> <p>リフレッシュ事業：介護者の交流事業とともに、介護者の誕生日に花束を贈呈する。</p> <p>家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。</p> <p>家族介護者教室：介護者自身の健康づくりを目指し、健康管理等の知識を指導する。</p> <p>はいかい高齢者家族安心事業：徘徊のおそれがある高齢者やその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用などを助成する。</p>																												
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">紙おむつ支給事業</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,364千円</td> </tr> <tr> <td> 助成件数</td> <td style="text-align: right;">775件</td> </tr> <tr> <td>リフレッシュ事業</td> <td style="text-align: right;">2,710千円</td> </tr> <tr> <td> 介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 参加人数</td> <td style="text-align: right;">101人</td> </tr> <tr> <td> 介護者花束贈呈者数</td> <td style="text-align: right;">557人</td> </tr> <tr> <td>家族介護慰労事業</td> <td style="text-align: right;">200千円</td> </tr> <tr> <td> 支給者数</td> <td style="text-align: right;">2人</td> </tr> <tr> <td>家族介護者教室</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td> 介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 参加者実数</td> <td style="text-align: right;">49人</td> </tr> <tr> <td>はいかい高齢者家族安心事業</td> <td style="text-align: right;">14千円</td> </tr> <tr> <td> 平成25年度未利用者数</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> </table>			紙おむつ支給事業	2,364千円	助成件数	775件	リフレッシュ事業	2,710千円	介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。		参加人数	101人	介護者花束贈呈者数	557人	家族介護慰労事業	200千円	支給者数	2人	家族介護者教室	300千円	介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。		参加者実数	49人	はいかい高齢者家族安心事業	14千円	平成25年度未利用者数	2名
紙おむつ支給事業	2,364千円																												
助成件数	775件																												
リフレッシュ事業	2,710千円																												
介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。																													
参加人数	101人																												
介護者花束贈呈者数	557人																												
家族介護慰労事業	200千円																												
支給者数	2人																												
家族介護者教室	300千円																												
介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。																													
参加者実数	49人																												
はいかい高齢者家族安心事業	14千円																												
平成25年度未利用者数	2名																												
事業評価	<p>教室の実施やサービス提供などによって、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減や介護者同士の交流等を図ることができた。今後も在宅介護が必要な高齢者は増加すると考えられ、在宅生活を支える家族への支援は重要であり、介護者の状況やニーズに対応しながら平成26年度も継続実施する。</p>																												

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	6,006千円
事業内容	介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して、二次予防事業の対象者を決定するため、生活機能について回答する「お元気チェックリスト」の配布・回収を行う。平成24年度から平成26年度まで3年かけて全数把握を行う。		
成果・実績	<p>「お元気チェックリスト」の回答により二次予防事業対象者を決定し、二次予防事業への参加を呼び掛けた。</p> <p>配布対象者数 14,347人 二次予防事業対象者数 3,696人</p>		
事業評価	介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して、生活機能を評価し、二次予防事業対象者を把握することができた。今後は把握した対象者に対して生活機能の低下を防ぎ、効果的な支援が行えるよう、予防教室や各種事業との連携に努め、実施方法の工夫を図りながら、平成26年度も継続実施する。		

事務事業名	複合型介護予防教室開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	27,153千円
事業内容	二次予防事業対象者に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学ぶことで全身的な機能の改善を図る。		
成果・実績	<p>二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした複合型介護予防教室を市内8会場で行った。</p> <p>実人員 224人</p>		
事業評価	運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防の各プログラムを複合的に実施することで、二次予防事業対象者の機能改善を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、対象者把握事業等との連携を図り、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	11,274,553千円
事業内容	要支援・要介護被保険者が介護予防サービス・介護サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		平成25年度	平成24年度
	介護サービス等諸費	10,770,810	10,237,296
	居宅介護サービス	4,152,355	3,943,964
	地域密着型介護サービス	1,103,415	1,038,930
	施設介護サービス	4,222,271	4,068,590
	特定入所者介護サービス	415,544	361,864
	その他	877,225	823,948
	介護予防サービス等諸費	490,300	474,394
	介護予防サービス	395,889	384,426
	地域密着型介護予防サービス	18	0
	特定入所者介護予防サービス	397	342
	その他	93,996	89,626
	その他諸費	13,443	13,510
	審査支払手数料	13,443	13,510
事業評価	国制度に基づき、適正に給付を行った。今後も高齢者数の増加に伴い要支援・要介護認定者、サービス利用者が増加する見込みであり、持続可能な事業運営のため、的確に状況把握し分析する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,854千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者等に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止することや、利用者や家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事後的な対応を行う。		
成果・実績	介護相談員を通して利用者の疑問や不安を事業者側へ伝え、解消・改善につなげた。また、事業所ごとのサービスの現状を把握した。		
		派遣事業所数 (力所)	派遣人数 (人)
	特別養護老人ホーム	7	15
	介護老人保健施設	2	5
	グループホーム	12	20
	地域密着型特別養護老人ホーム	1	2
事業評価	利用者の疑問や不安を解消し、サービスの質の向上を図ることができた。相談員は利用者と施設をつなぐ役割を担っており、相談員の資質の向上を図りながら平成26年度も継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	輝き支援 2 0 1 5 福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課																																	
		決算額	800千円																																	
事業内容	介護保険制度創設後、要介護認定者やサービス利用者は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業者を対象にサービスの質の確保及び向上を目的とした研修を行い、利用者が適切なサービスを選択できる環境を整備する。																																			
成果・実績	<p>(一財)宇治市福祉サービス公社に委託し、ケアマネジャー・介護サービス事業者へ研修を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">研修名</th> <th style="width: 15%;">参加者数(人)</th> <th style="width: 35%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修 -1</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修 -2</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -1</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">介護サービス事業所 職員</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -2</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -1</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -2</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	参加者数(人)	対象者	ケアマネジャー向け研修 -1	29	ケアマネジャー	ケアマネジャー向け研修 -2	28	ケアマネジャー向け研修	37	ケアマネジャー向け研修	39	ケアマネジャー向け研修	33	ケアマネジャー向け研修	27	介護サービス事業所向け研修 -1	25	介護サービス事業所 職員	介護サービス事業所向け研修 -2	26	介護サービス事業所向け研修	20	介護サービス事業所向け研修	35	介護サービス事業所向け研修	33	介護サービス事業所向け研修 -1	11	介護サービス事業所向け研修 -2	11	介護サービス事業所向け研修	39
研修名	参加者数(人)	対象者																																		
ケアマネジャー向け研修 -1	29	ケアマネジャー																																		
ケアマネジャー向け研修 -2	28																																			
ケアマネジャー向け研修	37																																			
ケアマネジャー向け研修	39																																			
ケアマネジャー向け研修	33																																			
ケアマネジャー向け研修	27																																			
介護サービス事業所向け研修 -1	25	介護サービス事業所 職員																																		
介護サービス事業所向け研修 -2	26																																			
介護サービス事業所向け研修	20																																			
介護サービス事業所向け研修	35																																			
介護サービス事業所向け研修	33																																			
介護サービス事業所向け研修 -1	11																																			
介護サービス事業所向け研修 -2	11																																			
介護サービス事業所向け研修	39																																			
事業評価	研修の実施によって、ケアマネジャー及び介護サービス事業者の資質向上やサービスの質の確保を図ることができた。引き続き、現状の検証や課題抽出を的確に行い、実態に合った効果的な研修となるよう関係団体や関係課と連携を図り実施するが、平成26年度で終了する事業であり、これまでの事業効果の分析や評価などの総括が必要である。																																			

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課																													
		決算額	2,948,855千円																													
事業内容	平成24年度から平成26年度までの第1号被保険者の保険料は、第5期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等を基に算出し、13の段階の設定としている。																															
成果・実績	第1号被保険者数	47,701人（平成26年3月末現在）																														
	保険料収納率	現年度分	98.95%																													
		滞納繰越分	12.14%																													
		合計	97.28%																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">保険料段階</th> <th style="width: 50%;">年間保険料額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1段階</td><td style="text-align: right;">27,950</td></tr> <tr><td>第2段階</td><td style="text-align: right;">27,950</td></tr> <tr><td>第3段階(特例措置)</td><td style="text-align: right;">40,370</td></tr> <tr><td>第3段階</td><td style="text-align: right;">46,580</td></tr> <tr><td>第4段階(特例措置)</td><td style="text-align: right;">52,790</td></tr> <tr><td>第4段階</td><td style="text-align: right;">62,100</td></tr> <tr><td>第5段階</td><td style="text-align: right;">68,310</td></tr> <tr><td>第6段階</td><td style="text-align: right;">80,730</td></tr> <tr><td>第7段階</td><td style="text-align: right;">102,470</td></tr> <tr><td>第8段階</td><td style="text-align: right;">121,100</td></tr> <tr><td>第9段階</td><td style="text-align: right;">139,730</td></tr> <tr><td>第10段階</td><td style="text-align: right;">158,360</td></tr> <tr><td>第11段階</td><td style="text-align: right;">183,200</td></tr> </tbody> </table>		保険料段階	年間保険料額(円)	第1段階	27,950	第2段階	27,950	第3段階(特例措置)	40,370	第3段階	46,580	第4段階(特例措置)	52,790	第4段階	62,100	第5段階	68,310	第6段階	80,730	第7段階	102,470	第8段階	121,100	第9段階	139,730	第10段階	158,360	第11段階	183,200	（基準額）	
	保険料段階	年間保険料額(円)																														
	第1段階	27,950																														
	第2段階	27,950																														
	第3段階(特例措置)	40,370																														
	第3段階	46,580																														
	第4段階(特例措置)	52,790																														
	第4段階	62,100																														
	第5段階	68,310																														
	第6段階	80,730																														
第7段階	102,470																															
第8段階	121,100																															
第9段階	139,730																															
第10段階	158,360																															
第11段階	183,200																															
<p style="text-align: center;">保険料段階が第3段階(特例措置)又は第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている。</p>																																
事業評価	現年度分の収納率については、第5期介護保険事業計画策定時において見込んだ収納率を上回ることができた。厳しい経済状況の中ではあるが、今後もケースごとに応じた納付指導等を行い、引き続き収納率の向上に努める必要がある。																															

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																																																																
		決算額	339,679千円																																																																
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児及び小学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式か償還給付方式で助成を行う。																																																																		
成果・実績	<p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>受給者数 19,926人 扶助費 327,115千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6"></th> <th colspan="6" style="text-align: center;">小学生</th> </tr> <tr> <th>0歳</th><th>1歳</th><th>2歳</th><th>3歳</th><th>4歳</th><th>5歳</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">入院</td> <td colspan="12" style="text-align: center;">現物給付（月200円負担）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">外来</td> <td colspan="6"></td> <td colspan="6" style="text-align: center;">市独自</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="6"></td> <td colspan="6" style="text-align: right;">償還 （3,000円超）</td> </tr> </tbody> </table>										小学生						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1	2	3	4	5	6	入院	現物給付（月200円負担）												外来							市独自													償還 （3,000円超）					
							小学生																																																												
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1	2	3	4	5	6																																																							
入院	現物給付（月200円負担）																																																																		
外来							市独自																																																												
							償還 （3,000円超）																																																												
事業評価	制度に基づいて適正に執行した。平成25年9月診療より市独自医療費無料制度を小学校低学年まで対象拡大したことで、乳幼児・児童の健康保持と、子育て家庭の経済的負担の軽減を一層図ることができた。平成26年度は現行制度を継続実施するとともに、9月診療より市独自医療費無料制度を3歳から小学校修了まで対象とするように拡大する。一方、少子化対策の一環として子育てに要する経済的負担の軽減は、本来国において対策すべきであり、引き続き国等へ要望を行う。																																																																		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	347,905千円
事業内容	安心して医療を受けられるよう、65歳から69歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額を除いて助成する。		
成果・実績	<p>対象となる医療費について助成を行った。</p> <p>受給者数 4,980人 扶助費 338,342千円</p>		
事業評価	適正に事業実施し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図ることができた。今後は、国・京都府の制度変更を踏まえ、動向を注視しながら、平成26年度も継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	健康診査費	所管課	年金医療課
		決算額	50,602千円
事業内容	後期高齢者医療制度において努力目標として明記されている健診事業を行うために実施する。健診は疾病の早期発見に役立ち医療費の抑制につながるものとする。保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して事業を行う。		
成果・実績	6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>受診者数</div> <div>5,342人</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>健診委託料</div> <div>50,328千円</div> </div>		
事業評価	制度に基づいて適正に執行し、被保険者の健康の保持促進を図れた。今後も高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、的確な状況把握と、医療費を抑制する効果の検証が必要である。		

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課																			
		決算額	1,740,143千円																			
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、平成24・25年度保険料については、均等割額が46,390円に、所得割率が9.12%に改定された。																					
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">被保険者数</td> <td colspan="3">20,044人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">保険料収納率</td> <td>現年度分</td> <td colspan="2">99.46%</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td colspan="2">20.23%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">98.03%</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 保険料 （限度額55万円） </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">=</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 均等割額 （被保険者一人あたり） 46,390円 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">+</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 所得割額 （総所得金額等 - 基礎控除額（33万円）） × 9.12% </td> </tr> </table> <p>保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の被保険者均等割額が軽減される。 所得割額の算定に係る基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合には所得割額が5割軽減される。</p>			被保険者数	20,044人			保険料収納率	現年度分	99.46%		滞納繰越分	20.23%		合計	98.03%		保険料 （限度額55万円）	=	均等割額 （被保険者一人あたり） 46,390円	+	所得割額 （総所得金額等 - 基礎控除額（33万円）） × 9.12%
被保険者数	20,044人																					
保険料収納率	現年度分	99.46%																				
	滞納繰越分	20.23%																				
	合計	98.03%																				
保険料 （限度額55万円）	=	均等割額 （被保険者一人あたり） 46,390円	+	所得割額 （総所得金額等 - 基礎控除額（33万円）） × 9.12%																		
事業評価	徴収した保険料を、京都府後期高齢者医療広域連合に保険料負担金として納付することにより、京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営ができた。今後も安定した事業運営のため、継続して収納に努める。																					

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	年金医療課				
		決算額	6,619千円				
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">228人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診補助金</td> <td style="text-align: right;">6,479千円</td> </tr> </table>			受診者数	228人	人間ドック受診補助金	6,479千円
受診者数	228人						
人間ドック受診補助金	6,479千円						
事業評価	健診料補助について適正に執行した。平成25年度は定員を拡充し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減をより一層図ることができた。平成26年度も継続実施する。						

事務事業名	障害基礎年金裁定請求等診断書料助成金	所管課	年金医療課				
		決算額	266千円				
事業内容	国民年金法に規定する障害基礎年金（障害厚生年金・障害共済年金と併せて請求するものは除く）の裁定請求等の際に要する診断書料の全部または一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">助成件数</td> <td style="text-align: right;">91件</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: right;">266千円</td> </tr> </table>			助成件数	91件	助成額	266千円
助成件数	91件						
助成額	266千円						
事業評価	裁定請求等に要する診断書料の助成を行い、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成26年度も継続実施する。						

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課								
		決算額	437,871千円								
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち本人負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。										
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">重度障害者</td> <td style="text-align: right;">1,728人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児</td> <td style="text-align: right;">2,591人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児の親</td> <td style="text-align: right;">1,696人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">431,259千円</td> </tr> </table>			重度障害者	1,728人	ひとり親家庭児	2,591人	ひとり親家庭児の親	1,696人	扶助費	431,259千円
重度障害者	1,728人										
ひとり親家庭児	2,591人										
ひとり親家庭児の親	1,696人										
扶助費	431,259千円										
事業評価	制度に基づいて適正に執行した。平成25年度より父子家庭を含むひとり親家庭児並びにその親まで助成対象を拡大し、対象者の経済的負担の軽減をより一層図ることができた。平成26年度は継続実施するとともに、安心して医療を受けられるように制度運営について引き続き京都府へ要望を行う。										

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課				
		決算額	157,954千円				
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。						
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受給者数</td> <td style="text-align: right;">1,738人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">156,629千円</td> </tr> </table>			受給者数	1,738人	扶助費	156,629千円
受給者数	1,738人						
扶助費	156,629千円						
事業評価	適正に事業実施し、医療機関への受診の必要性が高い重度の障害のある高齢者の経済的負担を軽減することができた。高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、平成26年度も継続実施するとともに、高齢者が安心して医療を受けられる制度運営について引き続き京都府へ要望を行う。						

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在日外国人重度障害者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,728千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、既に重度の障害者となっている在日外国人は、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金に移行）の適用から除外され、無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>昭和56年12月31日以前に既に重度の障害があり、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金）の対象外とされた制度的無年金である在日外国人を対象に、月額36,000円の給付を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;"> 受給者総数 4人 支給額 1,728千円 </p>		
事業評価	<p>適正に事業実施し、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、国制度の不備を補うものであり、国の救済措置がなされるまでの暫定措置であるため、国の施策実施がなされるよう引き続き働きかける必要がある。</p>		

事務事業名	在日外国人高齢者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,080千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、大正15年4月1日以前生まれの在日外国人は、老齢年金を受給できず無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>大正15年4月1日以前生まれの制度的無年金者である在日外国人高齢者を対象に、月額10,000円の給付を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;"> 受給者総数 9人 支給額 1,080千円 </p>		
事業評価	<p>適正に事業実施し、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、国制度の不備を補うものであり、国の救済措置がなされるまでの暫定措置であるため、国の施策実施がなされるよう引き続き働きかける必要がある。</p>		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	国民健康保険課																				
		決算額	72,944千円																				
事業内容	生活習慣病の予防による医療費削減を目的とし、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施する。メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																						
成果・実績	<p>特定健康診査は、6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。</p> <p style="text-align: center;">特定健康診査委託の支払件数と支払額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> <th style="width: 15%;">24</th> <th style="width: 15%;">25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td style="text-align: center;">7,857</td> <td style="text-align: center;">8,614</td> <td style="text-align: center;">9,373</td> <td style="text-align: center;">9,293</td> <td style="text-align: center;">8,487</td> </tr> <tr> <td>支払額(千円)</td> <td style="text-align: center;">50,786</td> <td style="text-align: center;">55,159</td> <td style="text-align: center;">60,395</td> <td style="text-align: center;">80,067</td> <td style="text-align: center;">72,944</td> </tr> </tbody> </table>					年度	21	22	23	24	25	件数	7,857	8,614	9,373	9,293	8,487	支払額(千円)	50,786	55,159	60,395	80,067	72,944
年度	21	22	23	24	25																		
件数	7,857	8,614	9,373	9,293	8,487																		
支払額(千円)	50,786	55,159	60,395	80,067	72,944																		
事業評価	「高齢者の医療の確保に関する法律」等に基づいて適正に執行した。国民健康保険被保険者の生活の質の維持・向上に大きく影響し、また医療費の適正化に資するものであることから、「第2期宇治市特定健診等実施計画」に基づいた、効果的かつ効率的な事業実施となるよう継続して取り組んでいく。																						

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	国民健康保険課																										
		決算額	45,506千円																										
事業内容	35歳以上の国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図り健康管理に対する自覚を深め、健全な保険給付を行うことを目的とし、半日人間ドック、脳ドックに係る健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。																												
成果・実績	<p>半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。</p> <p style="text-align: center;">ドック受診者数と決算額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> <th style="width: 15%;">24</th> <th style="width: 15%;">25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">1,145</td> <td style="text-align: center;">1,160</td> <td style="text-align: center;">1,134</td> <td style="text-align: center;">1,151</td> <td style="text-align: center;">1,162</td> </tr> <tr> <td>脳ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">553</td> <td style="text-align: center;">580</td> <td style="text-align: center;">564</td> <td style="text-align: center;">587</td> <td style="text-align: center;">583</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td style="text-align: center;">44,169</td> <td style="text-align: center;">45,152</td> <td style="text-align: center;">44,073</td> <td style="text-align: center;">45,484</td> <td style="text-align: center;">45,506</td> </tr> </tbody> </table>					年度	21	22	23	24	25	人間ドック(人)	1,145	1,160	1,134	1,151	1,162	脳ドック(人)	553	580	564	587	583	決算額(千円)	44,169	45,152	44,073	45,484	45,506
年度	21	22	23	24	25																								
人間ドック(人)	1,145	1,160	1,134	1,151	1,162																								
脳ドック(人)	553	580	564	587	583																								
決算額(千円)	44,169	45,152	44,073	45,484	45,506																								
事業評価	受診料補助について適正に執行し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。平成26年度は定員を拡充し、継続実施する。																												

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備



所管部局
建設部

事務事業名	道路台帳整備費	所管課	建設総務課
		決算額	18,993千円
事業内容	道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に沿って、道路の変化した状況を図面と調書からなる道路台帳に的確に反映させ、効果的な道路行政を推進する。		
成果・実績	<p>道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供した。</p> <p>平成24年度中の道路改良工事や新規認定等によって変化した道路の状況及び占用物件の変更についての経年補正を行った。</p> <p>道路台帳経年補正業務委託料 18,900千円</p>		
事業評価	道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供し、市民の利便性の向上を図ることができた。今後は道路管理情報のより多目的な活用に向けて、課題の検討が必要である。		

平成25年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業費	所管課	道路建設課
		決算額	3,184千円
事業内容	平成24年に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、本市で管理する318橋について修繕を実施する。		
成果・実績	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、宇治川橋の長寿命化のための実施設計と一部修繕工事を実施した。		
	 <p>宇治川橋ガードレール修繕状況</p>	 <p>宇治川橋防護柵修繕状況</p>	
事業評価	本市管理の道路橋について、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき修繕を実施し、安全で快適な通行を確保と維持管理の省力化を図ることができた。今後も、計画に基づき効率的な維持管理を実施する。		

事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	77,717千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	地元町内会等からの要望を受け、狭あい部の拡幅や舗装等の道路改良工事を実施した。平成25年度は、五ヶ庄253号線ほか22路線について設計や道路整備を行った。		
	五ヶ庄253号線(道路改良工事)		
	 <p>着工前</p>	 <p>完成後</p>	
事業評価	市民の要望等により小規模な道路改良工事を実施し、安全で安心な道路網が確保できた。要望等も多く、今後も必要な箇所の道路改良について継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	56,210千円
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール・カーブミラー・歩道の設置、段差解消などを実施する。		
成果・実績	交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 3路線の安全対策事業と市内全域の安全施設設置を実施した。また、5路線の測量・調査・設計・委託工事等の委託業務を発注した。		
	安全施設設置	14,021千円	
	道路反射鏡設置	23基	
	防護柵設置	46m	
	警戒標識設置	9カ所	
	区画線設置	3,200m	
	安全対策事業	34,139千円	
	宇治白川線 宇治槇島線（左折レーン設置） 宇治五ヶ庄線（福角交差点） 測量・設計・委託工事等	7,347千円	
	槇島137号線（向島2号踏切） 菟道84号線ほか3路線 補償費	209千円	
	宇治白川線 < 宇治槇島線 >		
			
着工前	完成後		
< 宇治五ヶ庄線（福角交差点） >			
			
着工前	完成後		
事業評価	道路の安全対策に多くの要望がある中、必要な箇所の事業を進め、歩行者等の安全を確保できた。特に、通学路等の安全対策については、重点的に取り組む必要がある。また、高齢者、身体障害者への対応としてバリアフリー化の推進が強く求められており、歩道の段差解消の整備等を継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	私道改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	9,618千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	実施数 6件 補助金額 9,618千円		
事業評価	自治会へ補助を実施し、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、地域要望も多く継続実施する。		

事務事業名	折坂三番割線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	187,027千円
事業内容	当該踏切は、JRと京阪の兼掌踏切であり、歩道と車道が分離がされておらず、通過交通量も多いことから踏切の拡幅改良を行い、歩行者等の安全確保を図る。		
成果・実績	踏切の拡幅改良工事を実施した。		
			
	着工前	完成後	
事業評価	鉄道事業者との基本協定に基づき工事を実施し、歩行者等の安全確保・渋滞の緩和等を図ることができた。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	



事務事業名	人にやさしい道づくり事業費	所管課	道路建設課
		決算額	10,265千円
事業内容	公共用地等を活用し、ゆとりと潤いのある道路づくりを実施する。		
成果・実績	<p>城南荘地域で地域との協働により立案した桜を活かした道路整備計画に基づき、測量・詳細設計業務を実施するとともに、公共下水道敷設工事に合わせて舗装のカラー化及び高質化を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	計画立案から地域と協働で道路のカラー舗装化及び高質化を実施し、人にやさしい歩行空間を整備し、ゆとりと潤いのある道づくりを行うことができた。引き続き、高齢者・障害者などにやさしい歩行空間の整備に取り組む。		

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	15,328千円
事業内容	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、東笠取地域・炭山地域における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	<p>道路拡幅に伴う梅谷大平線の用地買収ならびに久田底広線の境界確定測量を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>久田底広線（現況）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>梅谷大平線（現況）</p> </div> </div>		
事業評価	道路改良工事によって、幅員狭隘で通行が危険な箇所の改善に効果を上げることができるよう、引き続き「辺地に係る公共施設の総合整備計画」に基づき事業を進め、山間部の生活環境の改善を図る。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	槇島地区道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	34,952千円
事業内容	地域の要望及び「槇島地区道路整備計画」に基づき槇島町210号線の拡幅工事を行う。		
成果・実績	<p>槇島地域の道路基盤整備として、槇島町210号線の拡幅工事を行った。</p> <p style="text-align: center;">工事延長 121m 用地取得面積 71.71㎡</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	地域の要望及び「槇島地区道路整備計画」に基づく道路の拡幅工事を完了し、産業発展の基盤整備を図ることができた。		

事務事業名	遊田線道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	106,957千円
事業内容	井川改修事業に伴う遊田橋架け替えにより市道遊田線の道路拡幅を行う。		
成果・実績	<p>遊田線の道路拡幅に必要な遊田橋の架け替え工事を府へ委託するとともに、道路拡幅に伴う西宇治交番の移転工事を行った。</p> <p>新遊田橋 平成25年度6月供用開始。 遊田線全体は26年度末完成予定</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>遊田橋完成状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交番移転完了状況</p> </div> </div>		
事業評価	遊田線の道路拡幅に向けて整備を進めることができた。今後も京都府と連携しながら継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	宇治五ヶ庄線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	40,655千円
事業内容	東宇治地域の主要な道路として多くの利用者がある宇治五ヶ庄線について、歩道の整備等を行う。		
成果・実績	第2工区である東宇治中学校前において、道路西側（約50m）の歩道拡幅工事を実施した。		
	 <p style="text-align: center;">着工前</p>	 <p style="text-align: center;">完成後</p>	
事業評価	歩道の整備等を行い、歩行者等の安全確保を図ることができた。今後も沿道の関係機関と調整しながら継続実施する。		



平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	通学路対策事業費	所管課	道路建設課
		決算額	14,803千円
事業内容	平成24年度に発生した京都府亀岡市通学路交通事故を受けて実施した、通学路危険箇所調査（通学路緊急合同点検）結果に基づき、危険箇所等を「早期・中期・長期・未定（対策を要する）」に位置付け、通学路について順次、安全対策を実施する。		
成果・実績	通学路安全対策事業のうち、平成24年度は「早期」、平成25年度は、主として「中期」対策に位置付けられる事業を実施し、「早期」、「中期」対策事業について完了した。また、「未定（対策を要する）」箇所に位置付けられていた大久保町59号線についても、学校、地域及び警察などの関係者との協議を経て歩道整備事業を実施した。		
	＜通学路安全対策工事（市内一円）＞		
			
	着工前	完成後	
成果・実績	＜大久保町59号線＞		
			
	着工前	完成後	
	事業評価	要対策箇所のうち「早期」、「中期」対策箇所についての安全対策を完了させ、通学の安全確保を図ることができた。引き続き、「長期」対策箇所等の整備に取り組む。	

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	大久保駅周辺地区整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	78,887千円
事業内容	大久保駅周辺地区において、交通結節機能及び駅周辺利用者の利便性の向上を図り、広域拠点にふさわしい魅力あるまちづくりを進める。		
成果・実績	<p>過年度より近鉄大久保駅東側に市営駐車場の整備工事を行い、平成25年4月1日に供用を開始した。 平成26年度の完了を目指し、一般送迎車両用の一時停車スペース、シェルターの整備の工事に着手した。</p> <p>整備面積 1,080㎡ 駐車場台数 31台</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	交通結節機能の向上及び本市の南の玄関口として、商業施設を中心とした広域拠点にふさわしい魅力あるまちづくりに寄与している。引き続き駅前広場周辺の整備を実施し、より一層の交通結節機能を向上させ、魅力あるまちづくりを推進する。		

事務事業名	橋梁耐震点検事業費	所管課	道路建設課
		決算額	2,727千円
事業内容	京都府の橋梁耐震補強3ヶ年プログラムに基き、本市が管理する橋長15m以上の橋梁に対し、耐震点検を実施する。		
成果・実績	<p>市が管理する橋梁318橋の内、橋長15m以上の橋梁28橋に対して点検を実施した。28橋のリストは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治川橋 ・ 天神高架橋 ・ 槇島高架橋 ・ 平町高架橋1 ・ 大峰橋 ・ 天ヶ瀬吊橋 ・ 東隼上り跨道橋 ・ 菟道上野跨道橋 ・ 山吹橋 ・ 六地藏小橋 ・ 平町第二跨道橋 ・ 第四新田橋 ・ 観流橋 ・ 平町高架橋2 ・ 多田橋 ・ 巡礼橋 ・ 広野橋 ・ 桧橋 ・ 勢の谷橋 ・ 蛸橋 ・ 岩分大橋 ・ 夕波橋 ・ 黒橋 ・ 第一志津川橋 ・ 木幡池小橋 ・ 北ノ山1号橋 ・ 鴨沢橋 ・ 朝霧橋 		
事業評価	28橋について点検を完了することができた。今後は橋梁長寿命化修繕計画に併せて効率的に点検結果に基づいた対応に取り組む。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	716,903千円
事業内容	<p>道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。</p>		
成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（4,050m）や舗装補修（14,850㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝等の清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植等の道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕245件、道路保全242件、防災関係233件、交通安全施設の補修等175件、浚渫105件で、全体では1,554件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は32件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <p>道路維持修繕事業費 611,754千円 街灯設置保全事業費 105,149千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>機動修理班による道路維持作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>伊勢田町12号線ほか（側溝改修工事）</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分 33,971千円</p>		
事業評価	<p>道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施し、着実に道路等の環境整備及び安全な通行の確保を図ることができた。道路整備に対しての市民要望が年々増加しているが、引き続き計画的に快適な道路環境等の整備及び安全な通行の確保を推進する。</p>		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	大島・針ノ木排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	7,313千円
事業内容	国及び京都府からの委託に基づき、国土交通省所管である排水機場の操作保守業務を常駐体制（年間委託により操作員配置）により実施し、堂ノ川及び岡本川流域の内水排除と水害防除を図る。		
成果・実績	排水機場の操作を行った。 大島排水機場操作 3,659千円 針ノ木排水機場操作 3,637千円		
事業評価	年間を通じて、国、京都府の指針に基づき適正に排水機場の操作保守業務を行い、流域の水害防除に努めた。今後も引き続き適正に実施する。		

事務事業名	井川・黄檗排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	17,707千円
事業内容	流域における水害防除のため、井川・黄檗排水機場の適切な運転と施設管理を行う。		
成果・実績	排水機場の操作管理を行った。 井川排水機場管理費（操作・機械・電気） 9,434千円 黄檗排水機場管理費（操作・機械・電気） 2,690千円 除草業務委託（黄檗） 300千円 消防設備点検（井川・黄檗） 71千円 消火器更新業務委託（黄檗） 25千円		
事業評価	年間を通じて、適正に排水機場の運転と施設管理を行い、流域の水害防除に努めた。今後も引き続き適正に実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	排水路改理事業費	所管課	雨水対策課
事業内容			
成果・実績	<p>排水路の流下能力の向上を図るため、バイパス水路の設置や老朽化施設（排水路）の改良工事を行った。</p> <p>榎島町目川地区排水路改良工事 34,836千円 水路工 2.0m×1.1m 工事延長 L=141m 水路改良・流下能力向上</p> <p>伊勢田10号系統排水路改良工事 48,136千円 推進工 1,000mm 工事延長 L=93m バイパス水路設置 流下能力向上</p> <p>小倉5号排水路改良工事 17,127千円 老朽化護岸補修 工事延長 L=107m</p> <p>他工事 16件 56,259千円 老朽化水路等の改良工事</p> <p>詳細設計等業務委託 13件 5,544千円 浸水対策等の調査、設計測量</p> <p>支障物件移設補償 3件 951千円 改良工事に伴い、支障となるガス管等の移設</p> <p>用地費 1,685千円</p>	決算額	164,853千円
事業評価	<p>各所で発生している浸水被害の軽減に向け、排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改築工事を行うなど、安全快適な都市基盤の整備に努めた。引き続き「宇治市公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画」との整合を図り、排水路の改良工事を実施する。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	河川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	24,702千円
事業内容	都市化の進行に伴う雨水流出量の増大と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、市民の日常生活に関連した河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
成果・効果	増水時に未改修部の土砂流出が懸念されるため、護岸改修工事に着手した。		
	菟道大谷川護岸改修工事 延長 L=115m		23,705千円
	菟道大谷川護岸仮復旧工事 他 1 件		997千円
事業評価	雨水流出量の増大と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、河川の機能増強等に努めた。引き続き安全快適な都市基盤の整備に努める。		

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	31,969千円
事業内容	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	老朽化に伴う河川護岸等の補修工事や調査、測量設計業務を行った。		
	宇治半白地区排水路修繕工事 BOX 0.6m×0.6m L=18m		5,256千円
	宇治霊園地内調整池補修工事 A池 貯留量 V=3,600m3		19,383千円
	他工事 7件 老朽化水路の維持修繕工事		4,914千円
	測量設計等業務委託 4件		1,968千円
	支障物件移設補償 1件 水路修繕工事に伴うガス管移設工事		448千円
事業評価	河川施設等の適正な維持管理を行い、排水機能の向上に努めた。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	名木川改修事業費	所管課	雨水対策課																				
		決算額	156,099千円																				
事業内容	<p>名木川流域の水害対策として流下能力不足区間の解消と、名木川散策道整備の一環として、沿川部の修景整備を行うなど快適な都市環境づくりを目標として、京都府が行う新宇治淀線整備事業と整合を図り、近鉄大久保駅周辺地区まちづくり整備事業において名木川改修事業を実施する。</p>																						
成果・実績	<p>府道城陽宇治線から市道新田城陽線までの区間の改修工事が完成し、市道新田城陽線から市道一里山寺山線までの区間の改良工事に着手した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">準用河川名木川改修工事（A-1）工区</td> <td style="text-align: right;">41,312千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延長 L=20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川改修工事（A-2）工区</td> <td style="text-align: right;">61,889千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延長 L=56m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川改修工事（A-3）工区</td> <td style="text-align: right;">28,460千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延長 L=83m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川改修工事（B-3-1）工区</td> <td style="text-align: right;">15,440千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延長 L=42m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支障移設補償（水道）</td> <td style="text-align: right;">7,687千円</td> </tr> <tr> <td>物件補償調査積算業務委託 他1件</td> <td style="text-align: right;">962千円</td> </tr> </table>			準用河川名木川改修工事（A-1）工区	41,312千円	延長 L=20m		準用河川名木川改修工事（A-2）工区	61,889千円	延長 L=56m		準用河川名木川改修工事（A-3）工区	28,460千円	延長 L=83m		準用河川名木川改修工事（B-3-1）工区	15,440千円	延長 L=42m		支障移設補償（水道）	7,687千円	物件補償調査積算業務委託 他1件	962千円
準用河川名木川改修工事（A-1）工区	41,312千円																						
延長 L=20m																							
準用河川名木川改修工事（A-2）工区	61,889千円																						
延長 L=56m																							
準用河川名木川改修工事（A-3）工区	28,460千円																						
延長 L=83m																							
準用河川名木川改修工事（B-3-1）工区	15,440千円																						
延長 L=42m																							
支障移設補償（水道）	7,687千円																						
物件補償調査積算業務委託 他1件	962千円																						
事業評価	<p>名木川改修事業の早期完成に向け取り組んでいるが、一部地権者との用地交渉が難航していること、及び支障となる占用物件の移設工事の遅れにより、完成時期が遅延している。引き続き事業の早期完成に向け、京都府が行う新宇治淀線整備事業との整合を図りながら事業進捗に取り組む。</p>																						

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	中学校雨水流出抑制対策事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	97,343千円
事業内容	<p>「流域貯留浸透施設設置計画」に基づき、局地的豪雨（ゲリラ豪雨）の発生による浸水対策の一環として、中学校敷地に降った雨を一時的にグラウンドに貯留し、徐々に排出することで、周辺地域や下流域における浸水被害の軽減に努める。</p>		
成果・実績	<p>南宇治中学校のグラウンドを利用した雨水流出抑制施設が完成し、宇治中学校においては、雨水流出抑制施設の外周（側溝整備）工事が完成した。また、西宇治中学校において、雨水貯留浸透事業の一環としてグラウンドの整備（補修）工事を行った。</p>		
	<p>南宇治中学校 雨水流出抑制施設設置工事 73,399千円 貯留面積 12,400㎡ 最大貯留量 4,181㎡</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>完成写真(南宇治中学校)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>完成写真(宇治中学校)</p> </div> </div> <p>宇治中学校 雨水流出抑制施設設置工事 14,352千円 貯留面積 9,400㎡ 最大貯留量 1,087㎡</p> <p>西宇治中学校 グラウンド整備工事 9,508千円 貯留面積 11,400㎡ 最大貯留量 1,200㎡</p>		
事業評価	<p>局地的豪雨等の発生に伴う中学校周辺や下流域における浸水被害の軽減に努めた。今後は、「公共下水道（洛南処理区）雨水施設整備事業」において、小・中学校の雨水流出抑制施設設置の拡大に向け取り組む。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	04 住宅の整備

所管部局
建設部

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	10,251千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化や、入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。		
	交付件数	1件	
	補助金額	10,251千円	
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅の入居者の家賃補助について適正に執行した。今後も高齢者の居住の安定の確保に努める。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	01 行政サービスの充実・改善

所管部局
建設部


事務事業名	ウトロ地区住環境改善基本構想策定事業	所管課	住宅課												
		決算額	10,902千円												
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、国・京都府・市の三者連携のもと、ウトロ地区の住環境改善基本構想を策定する。														
成果・実績	<p>平成24年度の基礎調査結果をもとに基本構想を策定した。</p> <p>平成25年度住民意向調査結果 地区住民意向調査 世帯数 55 世帯 (調査対象者数 151人)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">将来の居住の意向</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">55</td> <td style="padding: 5px;">ウトロに住み続けたい</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">54</td> <td style="padding: 5px;">公的住宅</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">53</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="padding: 5px;">その他</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1</td> <td style="padding: 5px;">その他</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1</td> </tr> </table>			将来の居住の意向	55	ウトロに住み続けたい	54	公的住宅	53			その他	1	その他	1
将来の居住の意向	55	ウトロに住み続けたい	54	公的住宅	53										
		その他	1	その他	1										
事業評価	基礎調査結果をもとに基本構想が策定できた。今後は、本市を事業主体とし国・京都府との連携のもとウトロ地区住環境改善事業基本構想に沿って、住環境改善の基本計画策定を進める。														

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	712千円
事業内容	「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施し、保全のために処置が必要な場合には補助金を交付する。		
成果・実績	<p>貴重な名木を保全するため、全名木の調査を3年周期で行うとともに、申請に基づき処置が必要な名木に対し、適切な保全策を講じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木調査委託費 20千円 ・補助金交付件数 4件 ・補助金 635千円 ・選定名木数 98本 		
事業評価	樹木の管理・保全を行い、緑化の啓発及び緑の保全を図ることができた。指定した名木は、本市の緑のシンボル、由緒ある木や文化的な価値のある木であるため、平成26年度も引き続き支援を行う。また、指定した名木について、市民により親しまれる取組を検討する必要がある。		

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,735千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園の一部や道路敷等の公共空をボランティア団体などに提供し、花や木を植えて花だん化する。		
成果・実績	<p>町内会や喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗、肥料等の支給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇箇所数 62ヶ所 <div style="text-align: center;">  <p>まちかどふれあい花だん</p> </div>		
事業評価	ふれあい花だんを町内会や喜老会等のボランティア団体に維持管理してもらうことにより、緑化意識の高揚を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。平成26年度もゆとりとうるおいのある花と緑のまちづくりを実現するために、より多くの実施団体等が参画できる環境を整える必要がある。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	1,517千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」及び秋の都市緑化月間の「緑化フェア」を中心に啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>各種イベントの実施により多くの参加者に楽しみながら緑の大切さを伝えることができた。</p> <p>緑のウォークラリー 開催日 4月29日 開催場所 植物公園、太陽ヶ丘 参加者数 1,650人</p> <p>緑化フェア 開催日 10月13日 開催場所 植物公園 参加者数 4,256人</p>		
事業評価	緑化啓発の取組を通して、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後は、より市民の「みどり思想」の高揚を図るため、今まで以上の多くの市民に参加してもらえるイベント等の工夫をするとともに、事業効果の検証が必要である。		



緑化フェア

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,214千円
事業内容	本市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識や技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識や技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>ボランティア登録数 58人(平成26年3月末時点)</p>		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成や、その活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア会員の増員と活動の幅を広げる必要がある。		



ボランティア活動の様子

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園バリアフリー整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	42,562千円
事業内容	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び関係法令が平成18年12月に施行され、当該規定に基づき、都市公園におけるバリアフリー化の目標及び新設等に際してバリアフリー化を義務付ける公園施設のバリアフリー化基準等が定められた。国土交通省が実施する都市公園バリアフリー緊急支援事業を活用して複数箇所での公園施設のバリアフリー化等を実施する。</p>		
成果・実績	<p>利用者の利便性を向上を図るため、園路や便所のバリアフリー化及び公園遊具の更新を行った。</p> <p>園路及び便所のバリアフリー化 2公園（琵琶台第2児童公園及び西町公園） 遊具更新公園数 17公園（老ノ木児童公園他） 更新遊具数 37基</p>		
事業評価	<p>法令に基づいた都市公園のバリアフリー化対策を実施し、利用者の利便性を向上させることができた。今後の公園のバリアフリー対策については、画一的な対策ではなく公園個別の利用実態に即した柔軟な対策をする必要がある。平成26年度も引き続き計画的に整備を進める。</p>		

事務事業名	公園管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	46,306千円
事業内容	<p>公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。</p>		
成果・実績	<p>市内にある500カ所の公園のうち、公園公社が管理する6カ所を除く494カ所の公園の維持管理を行った。</p> <p>公園管理報償費 5,450千円 清掃・パトロール 3,301千円 除草業務委託 7,082千円 高木剪定・薬剤散布 15,992千円 光熱水費 9,693千円</p>		
事業評価	<p>清掃や剪定などについては外部委託を実施し、利用者の適正な利用を増進することができた。地元自治会による公園管理については、高齢化等の理由により辞退が増加しており、施設管理費、委託費は増額傾向にある。今後は、公園施設の状況把握に努め、計画的な修繕・更新を進める必要がある。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部



事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課						
		決算額	315,624千円						
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕等を（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。								
成果・実績	<p>各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">指定管理料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">179,545千円</td> </tr> <tr> <td>人件費補助</td> <td style="text-align: right;">122,082千円</td> </tr> <tr> <td>体育館トレーニング室運営事業費</td> <td style="text-align: right;">13,997千円</td> </tr> </table>			指定管理料	179,545千円	人件費補助	122,082千円	体育館トレーニング室運営事業費	13,997千円
指定管理料	179,545千円								
人件費補助	122,082千円								
体育館トレーニング室運営事業費	13,997千円								
事業評価	（公財）宇治市公園公社を指定管理者として、黄檗公園、西宇治公園、植物公園などの運営管理を適切に行うことができた。施設の老朽化等に伴い管理経費が増加傾向にあるが、計画的に施設や設備等の修繕等を行うとともに、今後も利用者の利便性向上のため、指定管理者に適正な管理・運営を指導する。								

事務事業名	源氏ゆめほたる事業費	所管課	公園緑地課				
		決算額	4,300千円				
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。						
成果・実績	<p>平成18年度に蛍の棲息地として整備した植物公園の「秋のゾーン」を中心に「蛍ナイト開園」を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">開催期間</td> <td style="width: 50%;">20日間(5月25日～6月16日)</td> </tr> <tr> <td>夜間入園者数</td> <td style="text-align: right;">17,448人</td> </tr> </table>			開催期間	20日間(5月25日～6月16日)	夜間入園者数	17,448人
開催期間	20日間(5月25日～6月16日)						
夜間入園者数	17,448人						
事業評価	市民等へ身近に蛍と触れ合う憩いの場を提供し、植物公園の集客力向上を図ることができた。蛍の発生数や天候等の自然状況に大きく左右されるなどの課題もあるが、植物公園の魅力アピールできる絶好の機会である。平成26年度も蛍が増えるような環境を整え、蛍観賞だけでなく付加価値のある充実した事業内容を展開する。						

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成


所管部局
都市整備部

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	762千円
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づくまちづくりへの市民参加を推し進めるため、まちづくり活動への支援を行うとともに、条例の趣旨・制度の周知を目的とした「まちづくり地域セミナー」や地域のまちづくり活動のリーダー育成を目的とした「まちづくり塾」を開催し、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を促す。		
成果・実績	<p>地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月17日～9月20日 目的 協議会の活動内容について紹介</p> 	「地区まちづくり協議会パネル展」	
	<p>うじ井戸端会議 開催期間 9月20日 目的 協議会やまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報や意見の交換、交流</p>		
事業評価	<p>宇治市まちづくり審議会 2回開催</p> <p>認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 1件 活動費助成件数 1件</p> 	「うじ井戸端会議」	
	<p>まちづくり活動への支援を通じてまちづくりへの市民参加の担い手を増やすことができた。「うじ井戸端会議」については、定期開催等の継続的な取り組みを検討する必要がある。今後は本市からの働きかけのみならず、先行して活動している協議会やまちづくりマイスターなど市民相互間の協力等を活用し、協議会の設立や地区まちづくり計画の策定など、市民参加のまちづくりの活性化に努める。</p>		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくり

所管部局
都市整備部


事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園史跡ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	38,548千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、史跡公園の整備を行う。		
成果・実績	<p>史跡整備のためAゾーンの現地測量と実施設計を行った。また遺構再現に使用するGRCパネル34㎡を製作した。このパネルを利用して当時の太閤堤を実感してもらう原寸大の体験学習用太閤堤を約50㎡規模で製作し、市民500名の参加を得て体験学習を開催した。Bゾーンでは未調査部分の発掘調査を行い、以前に発見されていたレンガ窯跡の範囲や内容を確認し今後の整備方法について検討した。啓発普及のためパンフレットを作成するとともに生涯学習センターで太閤堤フォーラムを開催し140名の参加を得た。</p> 		
事業評価	史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、太閤堤再現体験を市民とともにに行い、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。引き続き宇治川太閤堤跡の良好な保存・活用、未来への継承のため、周辺地域と一体となったまちづくりを推進する。		

事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園交流ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	18,593千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、平成21年7月に国の史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の保存・活用していくため、歴史公園の交流ゾーンの整備を行う。		
成果・実績	<p>歴史公園交流ゾーンの整備に向けて、平成24年3月に国の認定を受けた、歴史的風致維持向上計画で示された「宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する」や「歴史のまちにふさわしい観光振興を図る」などの基本方針を実現するため、情報発信・観光交流施設の機能等の見直しや、情報発信・観光交流施設の運営を含めた民間活力の導入の検討を行い、歴史公園の基本計画の見直しを行った。また、事業費の財源を確保するため、国土交通省所管の補助金の交付申請に必要な「都市再生整備計画」の策定に着手した。</p>		
事業評価	基本計画の見直し等、交流ゾーンの整備に向け整備進捗を図ることができた。引き続き、周辺地域と一体となった観光振興、地域振興を図るため、観光歴史情報発信機能を有す多機能複合施設の整備を検討するとともに、最も効果的な事業手法を選定し、市民理解を得ながら取組を進める。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくり

所管部局
都市整備部


事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	51,651千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その保全と活用を図るため、整備計画を策定するとともに、重要構成要素の修理・修景事業を推進し、白川地区・黄檗地区への重要文化的景観区域の拡大を目指す。		
成果・実績	重要文化的景観に選定されている宇治地区の整備計画を策定するため、祭礼や伝統民俗などの調査を実施しつつ基礎原稿を取りまとめた。修理事業としては茶商の近代化過程を建築的によく伝える中村藤吉本店の表屋修理を行い、改変されていた旧焙炉場を再現した。また、全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、高知県四万十市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2014を開催し90名の参加を得た。 平成24年の京都府南部地域豪雨及び平成25年の台風18号で被災した重要構成要素に選定されている白川地区茶畑9カ所の復旧工事を実施した。		
	重要構成要素修理修景業務	41,627千円	
うち京都府南部地域豪雨災害対応分	6,135千円		
うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分	970千円		
事業評価	中宇治地区の整備計画策定のため調査等の実施や重要構成要素の修理修景業務を行い、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。引き続き整備計画の策定を進め、個性豊かな景観を継承するとともに、市民への啓発を図りながら、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに取り組む。		



事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	407千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した宇治市歴史的風致維持向上計画により、（仮称）史跡宇治川太閤堤跡歴史公園の整備など様々な取組を総合的に実施する。		
成果・実績	平成24年3月5日に国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣の3大臣認定を受けた法定計画の2年目の進行管理として、外部委員により構成され、計画の変更や進捗評価等を担う、歴史的風致維持向上協議会（以下「法定協議会」）の運営や、庁内の横断的な協議を行う組織である、歴史まちづくり推進調整会議の運営を行い、歴史的風致維持向上に資する取組の進行管理を実施した。 また、（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園の整備に向けた意見を聴取するため、法定協議会の開催回数を増やす等協議の拡充を図った。		
	事業評価	法定協議会において計画の変更及び進捗評価を行う等、宇治の歴史的風致の維持向上に資する事業を計画的に実施することができた。今後も、関係者と調整を図り円滑な事業実施に努める。	

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	02 都市景観の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	74千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行う。		
成果・実績	<p>除却推進団体員として、3団体32人を登録している。 市民が自ら違反広告物を撤去することで、除去推進団体員以外の市民にも違反広告物に対する意識向上を図った。</p> <p>違反広告物撤去枚数 321枚</p>		
事業評価	市民と協働して違反広告物の除去を推進し、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。違反広告物は減少傾向にあるが、今後も、登録団体数の増加を図るとともに、登録団体と連携し、地域の目による抑止力向上及び景観への意識向上に努める。		

事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	4,688千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を実施する。また、近隣市町村との意見交換や景観アドバイザーの助言などを受け、良好な景観の形成を推進する。		
成果・実績	<p>景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の6件の建築物等に対して、景観形成助成を行った。また、平成25年4月より、新たに萬福寺を中心とした黄檗地区を景観計画重点区域に指定し、景観形成助成エリアの拡大を行った。</p> <p>本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。景観アドバイザー会議を4回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成に努めた。</p>		
			
	改修前	改修後	
事業評価	景観計画重点区域における景観形成助成を行い、良好な景観の形成を図ることができた。今後も「宇治市景観計画」の周知等啓発により、地域住民の景観に対する意識を高め、良好な景観が形成されるよう努める。また、住民が主体的に良好な景観の形成に取り組む手法を検討する必要がある。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	03 文化財保護と伝統文化の継承	

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	4,517千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>国宝の平等院鳳凰堂や宇治上神社拝殿などの文化財指定建造物の修理や三室戸寺の自動火災報知機修理、市指定無形民俗文化財の大幣神事などに補助を行った。</p> <p>また、平成24年の京都府南部地域豪雨及び平成25年の台風18号で被災した萬福寺境内、龍興院や獅子林院等7件の災害復旧事業に補助を行った。</p> <p>うち京都府南部地域豪雨災害対応分 1,040千円 うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分 602千円</p>		
事業評価	文化財の修理等へ補助を行い、保全に努めることができた。今後も文化財保護の推進を図るとともに、国・京都府及び未指定文化財の修理等に補助を行い、保存・活用を図る。あわせてより活用ニーズに対応のできる補助制度のあり方について検討する必要がある。		



事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	11,211千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	<p>平安後期の貴族藤原基房の造営と伝わる重要な邸宅遺跡である木幡の松殿跡の内容確認のための発掘調査と測量を実施し、史跡指定等の保存措置に必要なデータを収集した。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、浄妙寺跡、池山古墳の緊急発掘調査2件の発掘調査監理を受託事業として実施した。</p> <p>受託発掘調査 2件 1,211千円 国庫補助発掘調査 1件・試掘調査 2件 10,000千円</p>		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査を行い調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開し、文化財保護の啓発を図ることができた。今後も開発事業と重要な遺跡保存の調和を図る。		



平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	風致地区内建築行為等許可事務費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	17千円
事業内容	風致地区内建築行為等の審査・許可・指導を行うべく、条例及び規則制定に向けて、検討・協議を行う。		
成果・実績	<p>第2次地域主権改革一括法を受けて、平成27年4月より京都府から本市に市内4地区の風致地区に関する権限が移譲される。</p> <p>風致地区内の建築物等の規制に関する許可事務を本市が行うこととなることから、条例・規制の制定に向けて京都府、関連機関と協議を行った。</p>		
事業評価	平成27年4月の権限移譲に向けて、法整備等の準備・調整を進めることができた。引き続き、体制整備等に取り組む。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成


所管部局
都市整備部

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																			
		決算額	148千円																			
事業内容	<p>無秩序な宅地開発を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。</p>																					
成果・実績	<p>本市における宅地開発等について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>開発指導事務費 148千円</p> <p>平成25年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: right;">21,363</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: right;">33,523</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;">1,784</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: right;">56,670</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額(千円)	宅地開発事業		9	21,363	特定用途 建築行為	集合住宅	13	33,523	集合住宅以外	3	1,784	合計		25	56,670
		件数	金額(千円)																			
宅地開発事業		9	21,363																			
特定用途 建築行為	集合住宅	13	33,523																			
	集合住宅以外	3	1,784																			
合計		25	56,670																			
事業評価	<p>宅地開発等について条例に基づき指導を行い、良好な居住環境の保全を図ることができた。また、協力寄付金については、25件の事業者の協力を得ることができた。事業者には、引き続き指導を行うとともに、本市のまちづくりに対する理解と協力を求め、良好な居住環境の保全に努める。</p>																					

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
都市整備部

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	55,044千円
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律第6条」により、平成20年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を策定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物（木造住宅・共同住宅）について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
成果・実績	<p>12月14日に大久保小学校で行われた防災訓練他、各地域の防災訓練に参加し「耐震診断相談コーナー」の設置や、自治会の防災出前講座でのPR等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <p>木造住宅耐震診断 128棟 木造住宅耐震改修 63棟 （本格改修50棟、簡易改修13棟）</p> 		
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施し、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。東日本大震災の影響や啓発の効果もあり、耐震診断、耐震改修ともに増加傾向にあるが、平成27年度末目標の耐震化率90%に達するのが困難な状況である。しかし、今後も目標数値達成に向け、さらなる啓発活動に努めるとともに補助を実施し、耐震化を促進する。</p>		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	784 千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事や民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法的的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>33</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>691</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>723</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>724</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>761</td> </tr> </tbody> </table>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	33	3	2	38	民間確認検査機関	691	17	15	723	合計	724	20	17	761
		建築物	昇降機等	工作物	計																		
本市	33	3	2	38																			
民間確認検査機関	691	17	15	723																			
合計	724	20	17	761																			
	<p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるよう、以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>違反建築物対策（行政指導件数 22件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発や現場パトロールなどを実施した。 また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>長期優良住宅の認定（認定件数 139件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 437件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のための広報や現場パトロールを実施した。</p> <p>省エネルギー法に基づく業務（届出件数 41件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について省エネルギー措置の届出と定期報告が義務付けられている。</p> <p>京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 5件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して計画書等の届出が義務付けられている。</p>																						
事業評価	<p>建築基準法・各種関係法令に基づく届出・申請受理や、パトロール等の啓発活動により、建築確認・検査制度の的確な履行を図り、適正な建築物の供給を担保することができた。引き続き、安全・安心な建築物の供給、法の適正な履行に取り組むとともに啓発活動の拡充を検討する必要がある。</p>																						

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	交通安全対策事務費	所管課	交通政策課
		決算額	658千円
事業内容	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。		
成果・実績	<p>実施希望のあった町内会等を対象に、警察の協力による参加体験型の交通安全研修会を実施した。また、幼児・児童に対して交通安全思想の普及を図るため、交通安全教室を春・秋に保育所、幼稚園、小・中学校で開催し、交通安全ルール・マナーについて学習した。</p> <p>また、市民の交通の円滑化と事故防止のため、地域からの要望を踏まえ、安全対策や交通規制の実施のために警察や関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全の向上に努めた。</p> <p>交通安全教室 開催数 72回 受講者数 延べ約6,000人</p>		
事業評価	市民へ交通安全意識を向上することができた。交通安全対策は、抜本的な解決策を見出すことが難しく、交通安全啓発の効果が直ちに現れるものではないが、今後もハード・ソフトの多面的な取組手法について、関係機関とより一層の連携を深め交通安全対策を行う。		

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																							
		決算額	153,398千円																							
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上や自転車等の放置防止、歩行者や通行車両等の安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に17の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学や買い物などで利用される自転車等を収容する。																									
成果・実績	<p>自転車等駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自転車</td> <td>一時利用</td> <td>99,855</td> <td>99,535</td> <td>95,769</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>14,274</td> <td>13,434</td> <td>14,512</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機付き自転車等</td> <td>一時利用</td> <td>39,813</td> <td>38,285</td> <td>38,911</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>4,016</td> <td>3,708</td> <td>3,485</td> </tr> </tbody> </table>			年度		23	24	25	自転車	一時利用	99,855	99,535	95,769	定期利用	14,274	13,434	14,512	原動機付き自転車等	一時利用	39,813	38,285	38,911	定期利用	4,016	3,708	3,485
年度		23	24	25																						
自転車	一時利用	99,855	99,535	95,769																						
	定期利用	14,274	13,434	14,512																						
原動機付き自転車等	一時利用	39,813	38,285	38,911																						
	定期利用	4,016	3,708	3,485																						
事業評価	市民の利便性の向上や、景観の維持とともに、歩行者や通行車両などの安全確保を図ることができた。今後も、市民の利便性の向上や安全確保を図りながら、より効率的な管理・運営を目指す。一方で、自転車等駐車場間での稼働率の差や施設の老朽化等の問題があるため、今後の市内の自転車等駐車場のあり方について検討する必要がある。																									

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課																
		決算額	8,194千円																
事業内容	<p>駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者や通行車両などの安全確保を図る。</p>																		
成果・実績	<p>撤去自転車のうち375台は所有者に引き取られ、その他は福祉施設に無償譲渡及び、有価物として売却を行った。</p> <p style="text-align: center;">放置自転車撤去台数等 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td style="text-align: center;">1,217</td> <td style="text-align: center;">1,081</td> <td style="text-align: center;">962</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td style="text-align: center;">480</td> <td style="text-align: center;">501</td> <td style="text-align: center;">375</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td style="text-align: center;">470</td> <td style="text-align: center;">373</td> <td style="text-align: center;">272</td> </tr> </tbody> </table>			年度	23	24	25	撤去台数	1,217	1,081	962	返還台数	480	501	375	売却処理台数	470	373	272
年度	23	24	25																
撤去台数	1,217	1,081	962																
返還台数	480	501	375																
売却処理台数	470	373	272																
事業評価	<p>自転車放置対策に係る啓発や、放置自転車の撤去などを行い、歩行者や通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により、自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、平成26年度も引き続き放置防止対策に努める。</p>																		

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課												
		決算額	11,317千円												
事業内容	<p>JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。</p>														
成果・実績	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等が利用した。</p> <p>近鉄大久保駅前は駅前広場の整備に伴い閉鎖していたが、整備完了に伴い平成25年4月に供用を開始した。</p> <p style="text-align: center;">自動車駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td style="text-align: center;">22,734</td> <td style="text-align: center;">21,967</td> <td style="text-align: center;">19,375</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">75,055</td> </tr> </tbody> </table>			年度	23	24	25	JR宇治駅前	22,734	21,967	19,375	近鉄大久保駅前	-	-	75,055
年度	23	24	25												
JR宇治駅前	22,734	21,967	19,375												
近鉄大久保駅前	-	-	75,055												
事業評価	<p>条例により指定管理者を指定し、適正に管理・運営し、安全で快適な駅前交通環境を維持することができた。今後も、迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持しながら、より効率的な管理・運営を実施する。</p>														

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	02 公共交通機関の整備促進

所管部局
都市整備部

事務事業名	JR奈良線高速化・複線化事業費補助金	所管課	交通政策課
		決算額	14,220千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業について、京都府・本市を含む沿線市町・JR西日本で締結した「基本協定書」・「実施等に関する協定書」に基づき、補助金をJR西日本に支出し事業の推進を図る。		
成果・実績	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に先立ち、環境影響評価法に基づく手続きのうち、「配慮書」手続きが平成25年11月から始まり、平成26年1月に完了し、「方法書」の手続きは平成26年3月に地元説明会が完了した。 地質調査・現地測量が完了し、鉄道施設等の設計を行った。		
事業評価	平成25年度に第二期事業の「基本協定書」・「実施等に関する協定書」を締結し、事業補助を行い市民の利便性の向上のための事業推進に取り組むことができた。今度も関係機関と連携しながら事業の進捗管理を行う。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部



事務事業名	管渠建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	2,761,888千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、事業認可区域内において、管渠等の整備を行う。		
成果・実績	汚水管渠は24件の工事に着手し、4件を完了した。また、20件については、一部を平成26年度に繰り越した。なお、平成24年度からの繰越分はすべて完了した。		
	 <p style="text-align: center;">下水道工事(推進工法)</p>		
事業評価	管渠の整備を行い、公衆衛生の向上及び水質の保全を図ることができた。今後も、国庫補助の状況、市財政の見通し及び「宇治市公共下水道整備計画」と整合を図りながら、引き続き整備を進める。		

事務事業名	処理場建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	968,260千円
事業内容	東宇治処理区の管渠整備の進展・接続率の向上に合わせた下水処理施設の増設を行うとともに、さらなる処理水質の向上のため、高度処理化を図る。		
成果・実績	放流水質の向上につなげるため、施設の高度処理化を順次進めた。また、増加する流入下水道量に対応するため、昨年度に引き続き9・10池の増設工事、第2ポンプ棟の増設工事等を実施した。		
	<p style="text-align: center;">東宇治浄化センター</p>  <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 全景 工事中 </p>		
事業評価	流入下水道量の増加及び「大阪湾・淀川流域別下水道整備総合計画」に沿った放流水の水質向上への対応ができた。今後も、国庫補助の状況、市財政の見通し及び「宇治市公共下水道整備計画」と整合を図りながら、引き続き、流入下水道量の増加や高度処理化への対応のため、処理水量・水質の推移と設備の老朽化について常に分析し必要な施設整備を進める。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	管渠維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	80,354千円
事業内容	管渠等の下水道施設の維持管理として、調査・清掃・補修工事等を行うとともに、下水道施設の正確な把握のため下水道台帳の調製を行う。		
成果・実績	<p>下水道施設補修工事の実施、下水道台帳調製、管渠内清掃等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">管渠内清掃</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>着工後</p> </div> </div>		
事業評価	下水道施設の維持管理を適切に実施し、水質の保全につなげることができた。今後も、将来を見通した維持管理を効果的、効率的に管渠の老朽化への対応及び長寿命化の取組を進める。		



事務事業名	処理場維持管理費	所管課	下水道計画課																					
		決算額	237,196千円																					
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、単独公共下水道で実施している東宇治処理区内の汚水を、東宇治浄化センターにおいて処理し、良好な水質で河川に放流する。なお、平成22年度から一部（8池）において高度処理による浄化を行っている。																							
成果・実績	<p>流入下水量は6,305千m³、放流量は6,248千m³であり、水質は以下の通り。</p> <p style="text-align: right;">(mg/l、大腸菌群数は個/ml)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>BOD</th> <th>SS</th> <th>大腸菌群数</th> <th>COD</th> <th>全窒素</th> <th>全りん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流入下水</td> <td>154</td> <td>116</td> <td>1.3 × 10⁵</td> <td>78.1</td> <td>30.7</td> <td>2.13</td> </tr> <tr> <td>放流水</td> <td>7.1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>10.2</td> <td>13.8</td> <td>1.67</td> </tr> </tbody> </table>				BOD	SS	大腸菌群数	COD	全窒素	全りん	流入下水	154	116	1.3 × 10 ⁵	78.1	30.7	2.13	放流水	7.1	4	0	10.2	13.8	1.67
	BOD	SS	大腸菌群数	COD	全窒素	全りん																		
流入下水	154	116	1.3 × 10 ⁵	78.1	30.7	2.13																		
放流水	7.1	4	0	10.2	13.8	1.67																		
事業評価	東宇治処理区内の汚水を適正に処理し、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。今後も、放流水質を維持するため適正な維持管理を行う。																							

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	下水道普及費	所管課	下水道計画課			
		決算額	28,631千円			
事業内容	公共下水道の整備にあわせて各家庭、事業所などに、下水道に関する啓発活動、融資あっせん制度の実施、未接続世帯の各戸訪問や文書送付を行う。特に、供用開始後3年を超える未接続世帯は水洗化普及促進員が訪問を行い、水洗化の普及促進を行う。					
成果・実績	下水道整備率 (各年度3月末の計画に対する下水道整備の進展度合)					
	年度	22	23	24	25	前年比 2.3ポイント増加
	整備率(%)	79.3	81.3	82.5	84.8	
	処理区域内人口(下水道が使用可能な人口) ÷ 下水道計画区域内人口					
戸数接続(水洗化)率 (各年度3月末の整備した下水道に対して接続した戸数の割合)						
年度	22	23	24	25	前年比 0.9ポイント減少	
接続率(%)	84.8	84.7	84.5	83.6		
水洗化戸数(下水道に接続した戸数) ÷ 処理区域内戸数						
水洗化普及促進員訪問戸数 3,032 戸 (接続戸数 141 戸)						
事業評価	公共下水道の整備が進み、供用区域の拡大に伴って未接続世帯が増加しており、下水道接続の勧奨を強化する必要がある。今後も接続率の向上に向け、戸別訪問等を積極的に行う。					

事務事業名	特定環境保全公共下水道維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	13,139千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、志津川地域内の汚水を志津川浄化センターで処理し、良好な水質にして河川に放流する。		
成果・実績	放流量は、25千m ³ である。		
	志津川浄化センター		
			
事業評価	志津川処理区の汚水を適正に処理し、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。今後も、放流水質を維持するため適正な維持管理を行う。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	05 上水道の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	飲料水供給施設事業維持管理費	所管課	水道総務課・市民環境部環境企画課
		決算額	3,339千円
事業内容	飲料水供給施設事業を運営する。		
成果・実績	池尾地域の生活水の安定供給に努めた。 給水戸数 15戸 年間総配水量 1,298m ³		
事業評価	水道施設の運転管理業務、水質管理業務などを適切に実施し、生活水の安定供給を図ることができた。		

事務事業名	飲料水供給施設再整備事業費	所管課	水道総務課・市民環境部環境企画課
		決算額	4,005千円
事業内容	池尾飲料水供給施設事業を上水道事業へ経営統合するため、施設の再整備を行う。		
成果・実績	池尾飲料水供給施設事業を上水道事業へ統合するための施設再整備に係る改良工事に着手した。 既設浄水場改良工事 電気計装設備の改良		
事業評価	簡易水道事業施設再整備事業の遅れに影響を受け、進捗に遅れが生じている。引き続き早期事業の完成に向け、簡易水道事業施設再整備事業との整合を図り事業進捗に取り組む。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防団活動費	所管課	消防総務課
		決算額	43,926千円
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修等を逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。		
成果・効果	消防団員の報酬	372人	12,506千円
	消防団員退職報償金	23人	9,953千円
	出場費用弁償	延べ5,158人	8,300千円
	消防団資機材（消防団用消防ホース等）購入		173千円
	京都府消防協会宇城久支部負担金等		617千円
	消防団員安全装備品購入 （ライフジャケット60着）		283千円
事業評価	消防団による年末特別警戒や街頭での防火意識啓発など、きめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体での安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。平成25年12月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」により、消防団にかかる期待と責務がこれまで以上に増大していることを踏まえ、今後も消防団活動の活性化を図る。		



消防団 市長査閲

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課	
		決算額	6,461千円	
事業内容	全国消防長会のほか、総務省消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。			
成果・実績	研修実績（主なもの）			
	研修名	場所	期間	人数
	初任教育	京都府立消防学校	8カ月	8人
	専科教育(危険物・救急・警防各科)	京都府立消防学校	51日	11人
	専科教育(予防査察・特殊災害・火災調査各科)	京都市立消防学校	20日	3人
	幹部教育 中級幹部科	京都府立消防学校	7日	1人
	消防大学校 専科教育 救助科	消防大学校	34日	1人
	近畿救急医学会	大阪府・兵庫県・京都市	4日	4人
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講や各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も、複雑多様化、専門化している災害対応等について、計画的に知識・技能の向上を図る必要がある。			

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	593千円
事業内容	市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で住みよい災害に強いまちづくりを推進する。また、防火啓発チラシ等を配布することにより、市や消防を身近なものとし、より相談しやすく親しみやすい環境づくりを目指す。		
成果・実績	事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本、市民への防火啓発リーフレットの作成配布等により、火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。 また、市民に訓練の重要性や初期消火における消火器の有効性を認識してもらうために町内会等の消火訓練に使用した消火器や、初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。		
事業評価	防火啓発ポスターやリーフレットの作成配布等を行い、火災予防への意識高揚や、火災発生防止の効果が繋がった。また、消火薬剤の補填については、初期消火及び訓練の重要性を意識付けるために重要な方策の一つとなっており、火災予防を進める上で効果が高いことから、継続実施する。		

事務事業名	消防水利維持管理・拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	8,727千円
事業内容	消火活動において、消防水利が有効に活用できるよう維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消防水利の基準（昭和39年消防庁告示7号）に沿って、消火栓等を新設し、基準の充足を図る。		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利の維持管理、新設を行った。</p> <p>消火栓維持管理 消火栓維持管理として、伊勢田町・槇島町・宇治・小倉町・木幡・広野町・五ヶ庄・羽拍子町・大久保町の各地区において、消火栓20基の維持管理に係る工事を行った。</p> <p>消防水利新設 消火栓新設工事実施計画分として、宇治・槇島町の各地区において2基設置した。</p>		
事業評価	消火栓の補修・改修や新設によって、消防水利の確保を行い、火災へ備えることができた。消防水利の空白地や、設置後に相当年数の経過した公設防火水槽などがあるため、今後も計画的な改修・設置に努める。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課
		決算額	60,202千円
事業内容	老朽化している消防車両等を更新整備するとともに、災害活動時の安全管理対策につながる各種装備・機械器具について、軽量化・高機能化等を行う。		
成果・実績	<p>小型水槽付消防ポンプ自動車及び24m級消防はしご自動車オーバーホール業務 小型水槽付消防ポンプ自動車更新整備 29,799千円 24m級はしご車オーバーホール業務 24,875千円</p> <p>消防用ホース、消防水囊更新整備業務 消防用ホース85本更新整備 消防水囊10基を更新整備</p> <p>空気呼吸器本体、面体及び空気呼吸器用軽量ポンベ更新整備業務 空気呼吸器本体4基、面体22基更新整備 空気呼吸器用軽量ポンベ4本を更新整備</p>		
事業評価	各種装備・機械器具の更新により、被害の軽減や隊員の安全管理を図ることができた。今後も、各種装備の軽量化や高機能化などについて研究を行い、消防機能の充実を図るとともに、被害の軽減や隊員の安全管理を図るため、引き続き計画的な消防機械器具の更新を行う。		



事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課																
		決算額	3,818千円																
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																		
成果・実績	<p>救急救命士の新規養成1人と、処置拡大救急救命士として気管挿管認定1人及び薬剤投与認定者2人の養成を行い、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p>救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>場 所</th> <th>期 間</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与追加講習</td> <td>救急救命九州研修所</td> <td>1カ月</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期 間	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1人	薬剤投与追加講習	救急救命九州研修所	1カ月	2人
研修名	場 所	期 間	人数																
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人																
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1人																
薬剤投与追加講習	救急救命九州研修所	1カ月	2人																
事業評価	より質の高い救急業務を目的に救急高度化に取り組み、救命率向上を図ることができた。今後も計画的に救急救命士を養成する必要がある。																		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	03 消防・救急の充実	

事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課
		決算額	3,108千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。設置AEDと同型のAEDトレナーを活用し、適切な取り扱いの習得に努める。		
成果・実績	<p>AEDが更新時期のため、適切に使用できるよう、同系機種での5年間の賃貸借契約（長期継続契約）を更新した。さらに、設置箇所を11カ所増設し、87カ所とした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>AED(自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>AEDマーク</p> </div> </div>		
事業評価	心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備したことにより、救命率の向上を図り、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も、設置場所や台数など、効果的、効率的な維持管理の検討を行い、救命率の向上を図る。		

事務事業名	消防救急無線再整備事業費	所管課	指揮指令課								
		決算額	209,810千円								
事業内容	消防本部と、消防・救急・救助隊を結ぶ消防救急無線は、消防救急救助活動の高度化及び電波の有効利用の観点から関係法令の一部が改正され、アナログ方式からデジタル方式に平成28年5月31日で移行されることから、現在使用している消防救急無線のデジタル化を図り、災害に強い無線通信基盤を構築する。										
成果・実績	<p>災害現場における無線の秘匿性が高まり個人情報保護され、大規模災害に備えて京都府内全体のネットワーク接続が可能となった。また、衛星携帯電話による不感地対策で情報通信網の確保ができた。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">内訳</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>消防救急デジタル無線再整備事業業務委託</td> <td style="text-align: right;">189,000千円</td> </tr> <tr> <td>消防救急デジタル無線携帯型移動局無線装置の整備</td> <td style="text-align: right;">19,950千円</td> </tr> <tr> <td>衛星携帯電話の整備</td> <td style="text-align: right;">860千円</td> </tr> </table>			内訳		消防救急デジタル無線再整備事業業務委託	189,000千円	消防救急デジタル無線携帯型移動局無線装置の整備	19,950千円	衛星携帯電話の整備	860千円
内訳											
消防救急デジタル無線再整備事業業務委託	189,000千円										
消防救急デジタル無線携帯型移動局無線装置の整備	19,950千円										
衛星携帯電話の整備	860千円										
事業評価	デジタル化や高度情報化時代に即した災害に強い無線通信基盤を構築することができた。今後は、複雑化、大規模化する災害等に迅速かつ、的確に対応するため適切な維持管理に努める。										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	事務事業点検評価事業費	所管課	教育総務課
		決算額	120千円
事業内容	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に関する事務・事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、結果を市民へ公表し議会に報告する。		
成果・実績	<p>教育委員会の基本方針に沿って効果的な教育行政が実施できたか、学識者とともに点検・評価し、市民への説明責任を果たした。</p> <p style="text-align: center;">学識経験者等謝礼 120千円</p>		
事業評価	点検・評価を行うことにより、効果的な教育行政を進めることができた。今後も、市民にとって、よりわかりやすい点検・評価となるよう、学識者の意見を踏まえて目標達成度や評価項目の設定など検討を行う必要がある。		

事務事業名	教育振興基本計画策定費	所管課	教育総務課
		決算額	3,750千円
事業内容	国や京都府の教育施策の動向、本市が直面する様々な教育課題への対応、そして少子高齢化や家族規模の縮小といった時代の潮流を見据えながら、これからの時代にふさわしい本市の教育施策の指針を示す「宇治市教育振興基本計画」を策定する。		
成果・実績	<p>「宇治市教育振興基本計画」の策定に向け、学識経験者、社会教育関係者、青少年関係者、産業界代表、スポーツ関係代表、幼小中学校代表、幼小中学校保護者代表、行政などで構成する「宇治市教育振興基本計画策定委員会」を設置し、本市の教育施策にかかる主な課題について議論を行った。</p> <p style="text-align: center;">策定委員会開催数 5回（平成24年度開催数 2回）</p>		
事業評価	外部有識者等で構成する「宇治市教育振興基本計画策定委員会」を円滑に運営し、本市の教育の礎となる計画を策定した。今後も本計画に基づき教育行政の推進を図る。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	36,767千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校図書館司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	図書館教育充実事業費 19,694千円 拠点校7校に学校図書館司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動や読書活動の充実を図った。 図書館ボランティア養成事業費 73千円 ボランティア養成講座開催数 2回 ボランティア登録者数 471人 学校図書館図書充実費 小学校 9,600千円 中学校 7,400千円		
事業評価	図書の購入・配架、司書による支援や、ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動や読書活動の充実を図ることができた。今後も、特に中学校での生徒の読書活動を促進するため、事業成果の確認、検証をしながら読書環境の充実を図る。		

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校教育課
		決算額	129,954千円
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断の実施や環境衛生の確保に努め、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	園児、児童・生徒の健康診断や各種検診・検査を実施した。 小学校保健管理費 80,929千円 中学校保健管理費 35,695千円 幼稚園保健管理費 5,072千円 小学校心臓検診充実費 5,532千円 中学校心臓検診充実費 2,672千円 結核予防対策費 54千円		
事業評価	適切な健康管理と環境衛生の確保によって、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることができた。今後も継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校教育課						
		決算額	15,841千円						
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の疲労を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。								
成果・実績	笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童の送迎を含む） <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">67千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">990千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td style="text-align: right;">14,784千円</td> </tr> </table>			特認入学パンフレット印刷費	67千円	笠取地区通学バス等維持管理費	990千円	笠取地区通学バス等運行委託料	14,784千円
特認入学パンフレット印刷費	67千円								
笠取地区通学バス等維持管理費	990千円								
笠取地区通学バス等運行委託料	14,784千円								
事業評価	へき地における教育水準の維持・向上を図ることができた。山間部の通学と特認校制度維持に必要であり、継続実施する。								

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課				
		決算額	70,925千円				
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、教材備品の整備に関する規程を設けるなど学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材の充実を図る。						
成果・実績	小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">48,442千円</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">22,483千円</td> </tr> </table>			小学校教材充実費	48,442千円	中学校教材充実費	22,483千円
小学校教材充実費	48,442千円						
中学校教材充実費	22,483千円						
事業評価	教材等の購入費用について適正に執行し、児童・生徒の教育環境を整備できた。今後も国の方針等に基づき継続して教材の充実に努める。						

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課										
		決算額	152,869千円										
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校に必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。												
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">小学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">103,803千円</td> </tr> <tr> <td>中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">49,066千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分</td> </tr> <tr> <td>小学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">5千円</td> </tr> <tr> <td>中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">10千円</td> </tr> </table>			小学校就学援助費	103,803千円	中学校就学援助費	49,066千円	うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分		小学校就学援助費	5千円	中学校就学援助費	10千円
小学校就学援助費	103,803千円												
中学校就学援助費	49,066千円												
うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分													
小学校就学援助費	5千円												
中学校就学援助費	10千円												
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会を確保することができた。様々な生活環境の子どもが均等に義務教育を受けられるよう、平成26年度も継続実施する。												

事務事業名	私立幼稚園就園助成費補助金	所管課	学校教育課												
		決算額	218,748千円												
事業内容	宇治市内に居住し、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、国庫補助基準額による所得基準に応じて助成を行うことにより、保護者の経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図る。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">助成者数 (人)</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">満3歳児</td> <td style="text-align: right;">79</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td style="text-align: right;">589</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td style="text-align: right;">827</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td style="text-align: right;">905</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,400</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">満3歳児は3歳の誕生日を迎えた園児</p>			助成者数 (人)		満3歳児	79	3歳児	589	4歳児	827	5歳児	905	合計	2,400
助成者数 (人)															
満3歳児	79														
3歳児	589														
4歳児	827														
5歳児	905														
合計	2,400														
事業評価	国庫補助基準に沿って適正に助成し、保護者の経済的負担を軽減することができた。平成26年度も継続実施する。														

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	緊急安全対策事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	38,407千円
事業内容	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 37,885千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 522千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	私立幼稚園の安全対策補助金を適正に執行するとともに、幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じ、園児、児童・生徒の安全を確保することができた。今後は、活動実態の把握、分析とともに、スクールサポーターの高齢化への対応や他の地域安全活動との連携を検討しながら、引き続き安全確保に努める。		

事務事業名	学校版環境ISO実施事業費	所管課	学校教育課
		決算額	765千円
事業内容	幼稚園、小・中学校が環境問題に目を向け、身近な学校生活の中で環境に配慮した生活態度を実践するため、園児、児童・生徒、教職員が環境活動について計画、行動、点検、見直しを行う。		
成果・実績	各幼稚園、小・中学校において、園・校内の緑化運動や、ごみの分別、ペットボトルのエコキャップ回収運動、節電・節水など、環境に配慮した学習や活動を実施した。		
事業評価	学校生活の中での環境活動を促し、環境教育を進めることができた。今後も自主的な活動を促進し、環境意識を啓発できるよう継続して実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課
		決算額	11,509千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域や子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。		
成果・実績	小学校「総合的な学習の時間」推進費	6,314千円	
	主な学習内容 ・地域と食生活に関する学習 ・環境保護活動		
成果・実績	中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,195千円	
	主な学習内容 ・国際（異文化）理解学習 ・職場体験学習		
事業評価	社会人講師等によって従来の授業とは異なる学習を行うことにより、幅広い教育振興を図ることができた。今後も自主的・実践的な児童・生徒を育成できるよう様々な分野の学習機会の提供に努める。		

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課・一貫教育課
		決算額	4,970千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。		
成果・実績	小学校特別支援教育費	2,268千円	
	うち扶助費（学校教育課分） 1,960千円 うち備品等（一貫教育課分） 308千円		
成果・実績	中学校特別支援教育費	828千円	
	うち扶助費（学校教育課分） 746千円 うち備品等（一貫教育課分） 82千円		
成果・実績	小学校21校36学級、中学校10校18学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。		
	小学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	982千円	
	中学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	892千円	
事業評価	就学奨励費の支給や物品の購入などによって、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会を確保することができた。今後も継続実施する。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小学校歯科治療助成事業費	所管課	学校教育課
		決算額	5,864千円
事業内容	<p>児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に歯の治療を行い、口腔衛生を保つことは重要である。特に低学年で未処置歯のある者の割合が高いため、小学1年生を対象に治療費の助成を行い、児童の歯の治療を促進する。</p>		
成果・実績	<p>宇治市在住の小学校1年生を対象に歯科治療費保険診療分の自己負担金に対する一部助成を行った。</p>		
事業評価	<p>治療費の助成によって、保護者の経済的負担を軽減するとともに、歯の治療を促進して児童の健全な発育を図ることができた。子育て支援医療制度の拡充に伴い、平成26年3月診療分をもって本事業を廃止する。</p>		

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	1,856千円						
事業内容	<p>児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。</p>								
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>事業実施児童数</td> <td style="text-align: right;">9,666人</td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td style="text-align: right;">約90%</td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td style="text-align: right;">29回</td> </tr> </table>			事業実施児童数	9,666人	事業実施率	約90%	平均実施回数	29回
事業実施児童数	9,666人								
事業実施率	約90%								
平均実施回数	29回								
事業評価	<p>フッ化物洗口による虫歯予防を行い、児童の健全な発育を促進することができた。平成26年度も継続実施する。</p>								

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校教育課												
		決算額	200,524千円												
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">調理業務委託料</td> <td style="width: 20%;">14校委託</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">169,756千円</td> </tr> <tr> <td>嘱託栄養士配置</td> <td>10校</td> <td></td> <td style="text-align: right;">26,263千円</td> </tr> <tr> <td>磁器食器購入費</td> <td>委託校の食器の補充</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,505千円</td> </tr> </table>			調理業務委託料	14校委託		169,756千円	嘱託栄養士配置	10校		26,263千円	磁器食器購入費	委託校の食器の補充		4,505千円
調理業務委託料	14校委託		169,756千円												
嘱託栄養士配置	10校		26,263千円												
磁器食器購入費	委託校の食器の補充		4,505千円												
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進することができた。平成26年度も継続実施し、効果的な給食運営を図るとともに、給食食器の更新を計画的に進める必要がある。														

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校教育課																								
		決算額	4,340千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを原則としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	利用実績 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">8.1%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">1.3%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">1.0%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">1.7%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">1.7%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">1.2%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">1.1%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">1.5%</td> </tr> <tr> <td>槇島中学校</td> <td style="text-align: center;">1.8%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">1.4%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	8.1%	西宇治中学校	1.3%	西小倉中学校	1.0%	広野中学校	1.7%	宇治中学校	1.7%	東宇治中学校	1.2%	北宇治中学校	1.1%	木幡中学校	1.5%	槇島中学校	1.8%	黄檗中学校	1.4%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	8.1%	西宇治中学校	1.3%																								
西小倉中学校	1.0%	広野中学校	1.7%																								
宇治中学校	1.7%	東宇治中学校	1.2%																								
北宇治中学校	1.1%	木幡中学校	1.5%																								
槇島中学校	1.8%	黄檗中学校	1.4%																								
事業評価	弁当が持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供することにより、生徒の健全な発育を促進できた。平成26年度も継続して実施する。																										

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	学校施設耐震改修事業費	所管課	学校教育課
		決算額	613,145千円
事業内容	平成18年度実施の第2次耐震診断の結果を踏まえ、補強が必要な建物について耐震性能を確保するため、耐震工事を実施する。		
成果・実績	耐震診断によって、耐震力が不足すると判断された学校施設のうち、4校の耐震工事を行った。 小学校耐震改修事業費 502,525千円 西小倉・北小倉・南小倉小学校耐震補強工事ほか 中学校耐震改修事業費 110,620千円 西小倉中学校耐震補強工事ほか		
事業評価	計画に沿って耐震補強工事等を行い、中学校については耐震化が完了した。小学校についても、引き続き、学校運営上の影響を最小限に抑えるように努めながら、完了に向けて取り組む。		

事務事業名	幼稚園、小・中学校維持整備事業	所管課	学校教育課
		決算額	812,083千円
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化と損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施する。さらに、第2次学校施設整備計画に基づいて、トイレ改修や空調機の設置など大規模改造事業を実施する。		
成果・実績	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。 幼稚園維持修繕費 各幼稚園施設の小修理ほか 3,461千円 小学校維持修繕費 各小学校施設の小修理ほか 47,446千円 小学校施設整備費 西大久保小学校多目的便所設置工事ほか 60,202千円 小学校大規模改造事業費 空調機設置工事ほか 455,427千円 中学校維持修繕費 各中学校施設の小修理ほか 24,417千円 中学校施設整備費 宇治中学校グラウンド防球ネット改修工事ほか 36,854千円 中学校大規模改造事業費 空調機設置工事ほか 184,276千円		
事業評価	施設の維持・保全によって、園児、児童・生徒の安全確保と良好な教育環境整備を図ることができた。今後も計画的な施設の維持・整備を行うとともに、各施設の状態に応じて適切な対応を行う。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	神明小学校増築事業費	所管課	学校教育課				
		決算額	11,542千円				
事業内容	児童数推計において児童数が増加するため教室不足が見込まれる神明小学校の増築等を実施する。						
成果・実績	<p>教室不足が見込まれる神明小学校の教室改修工事を実施し、普通教室2教室の整備を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">神明小学校特別教室改修工事</td> <td style="text-align: right;">11,308千円</td> </tr> <tr> <td>工事に伴う配線移設ほか</td> <td style="text-align: right;">234千円</td> </tr> </table>			神明小学校特別教室改修工事	11,308千円	工事に伴う配線移設ほか	234千円
神明小学校特別教室改修工事	11,308千円						
工事に伴う配線移設ほか	234千円						
事業評価	教室不足への対応のため、校舎内部改修を適切に実施し事業を完了した。						

事務事業名	宇治中学校改築事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	312,865千円						
事業内容	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るため、老朽化した宇治中学校の改築を実施する。								
成果・実績	<p>老朽化した宇治中学校の校舎改築工事を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">校舎改築工事</td> <td style="text-align: right;">309,258千円</td> </tr> <tr> <td>工事に伴う配線移設ほか</td> <td style="text-align: right;">2,662千円</td> </tr> <tr> <td>体育館跡地整備設計業務委託</td> <td style="text-align: right;">945千円</td> </tr> </table>			校舎改築工事	309,258千円	工事に伴う配線移設ほか	2,662千円	体育館跡地整備設計業務委託	945千円
校舎改築工事	309,258千円								
工事に伴う配線移設ほか	2,662千円								
体育館跡地整備設計業務委託	945千円								
事業評価	老朽化、耐震化への対応を計画的に進めており、順調に事業実施できた。今後も生徒の学校教育環境を維持・向上するため、整備を進める。								

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	教育情報ネットワークシステム環境整備事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	26,587千円						
事業内容	教育情報ネットワークのシステム環境の整備等を行うことで、急速に進む校務の情報化に対応し、かつセキュリティ対策も講じたネットワークに再構築し、学校イントラを取り巻く課題の解決を図る。								
成果・実績	<p>整備事業の第3期として、モデル校（南部小・西小倉中）以外の学校の教職員（校長、副校長、教頭、主幹教諭、教務主任、養護教諭、学校事務）にコンピュータの貸与及びプリンターの配備等を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">校務ネットワークシステム設定業務委託</td> <td style="text-align: right;">12,064千円</td> </tr> <tr> <td>校内LAN整備業務委託</td> <td style="text-align: right;">9,970千円</td> </tr> <tr> <td>校務ネットワークシステム周辺機器一式貸借</td> <td style="text-align: right;">4,553千円</td> </tr> </table>			校務ネットワークシステム設定業務委託	12,064千円	校内LAN整備業務委託	9,970千円	校務ネットワークシステム周辺機器一式貸借	4,553千円
校務ネットワークシステム設定業務委託	12,064千円								
校内LAN整備業務委託	9,970千円								
校務ネットワークシステム周辺機器一式貸借	4,553千円								
事業評価	モデル校以外の学校の教職員に対して教育情報ネットワークのシステム環境の整備等を行い、校務環境やセキュリティ対策の充実を図ることができた。引き続き、効果等を検証しつつ、全教職員へのコンピュータの配備を含めた教育情報ネットワークの整備に向けて取り組む。								

事務事業名	小倉小学校給食施設改築事業費	所管課	学校教育課		
		決算額	14,427千円		
事業内容	施設の維持・保全を図るため、また給食調理室の衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生を確保するために、老朽化した小倉小学校給食室の改築等を実施する。				
成果・実績	<p>老朽化した小倉小学校給食室の改築他設計業務を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">小倉小学校給食室改築他設計業務委託</td> <td style="text-align: right;">14,427千円</td> </tr> </table>			小倉小学校給食室改築他設計業務委託	14,427千円
小倉小学校給食室改築他設計業務委託	14,427千円				
事業評価	老朽化に対応し、計画的に改修設計を行った。今後も生徒の学校生活環境を維持・向上するため整備を進める。				

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課												
		決算額	1,962千円												
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。														
成果・実績	<p>利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">視聴覚室</th> <th style="width: 20%;">音楽室</th> <th style="width: 20%;">美術室</th> <th style="width: 20%;">調理室</th> <th style="width: 20%;">図書室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">76件</td> <td style="text-align: center;">166件</td> <td style="text-align: center;">82件</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td style="text-align: center;">763人</td> </tr> </tbody> </table> <p>西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、ダンス、コーラス、楽器演奏など、日頃の活動の成果を発表した。</p>					視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	76件	166件	82件	3件	763人
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室											
76件	166件	82件	3件	763人											
事業評価	地域住民のニーズに応じた特別教室の開放により、地域の活性化を図ることができた。近年、登録団体数や利用者数が減少傾向であり、地域の運営委員会や事業のあり方について検討する必要がある。														

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課																											
		決算額	130千円																											
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。																													
成果・実績	<p>障害の種別に応じた講座を開催し、延べ551人の参加があった。</p> <p>各障害者教室開催状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級（2回）</td> <td>心身障害者</td> <td>131</td> <td>社会見学</td> <td>聴覚障害者</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">やまぶきコーヒーハウス（10回）</td> <td rowspan="2">心身障害者</td> <td rowspan="2">249</td> <td>社会見学</td> <td>肢体障害者</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>生活講座</td> <td>視覚障害者</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>社会見学</td> <td>視覚障害者</td> <td>15</td> <td>健康講座</td> <td>聴覚障害者</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>			内容	対象者	人数	内容	対象者	人数	やまぶき学級（2回）	心身障害者	131	社会見学	聴覚障害者	43	やまぶきコーヒーハウス（10回）	心身障害者	249	社会見学	肢体障害者	31	生活講座	視覚障害者	31	社会見学	視覚障害者	15	健康講座	聴覚障害者	51
内容	対象者	人数	内容	対象者	人数																									
やまぶき学級（2回）	心身障害者	131	社会見学	聴覚障害者	43																									
やまぶきコーヒーハウス（10回）	心身障害者	249	社会見学	肢体障害者	31																									
			生活講座	視覚障害者	31																									
社会見学	視覚障害者	15	健康講座	聴覚障害者	51																									
事業評価	障害者の自立と社会参加を促す本事業は、学習機会の提供や仲間づくりに役立っており、障害者施設の職員や保護者がスタッフとして参加するなど福祉分野とも連携ができています。今後も講座・教室ごとに協議を重ね、企画に取り組む。																													

事務事業名	人材バンク事業費	所管課	生涯学習課																																													
		決算額	58千円																																													
事業内容	市内を中心に活動する個人講師やグループの人材情報等を集めた「宇治市生涯学習人材バンク」を構築し、市ホームページ上と冊子版（市内公共施設に配付）で情報を提供することにより、総合的な市民の学習活動を促進する。また、登録講師の指導技術向上と人材バンクの広報のため、講座・イベント等を開催する。																																															
成果・実績	<p>ホームページと冊子版による情報提供のほか、広報や登録講師の意識向上を目的とした講座・研修会を開催して延べ111名が参加した。市役所1階においてイベント「展示と体験コーナー」（出展講師4組）を開設し、5日間で延べ75名が体験に参加した。</p> <p>登録者数の推移 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>149</td> <td>172</td> <td>137</td> <td>127</td> <td>121</td> <td>125</td> <td>144</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td> 個人</td> <td>107</td> <td>127</td> <td>98</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>94</td> <td>110</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td> 団体</td> <td>42</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>うち新規</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>運用開始時（平成19年1月11日）の登録者数：125件</p>			年度	18	19	20	21	22	23	24	25	登録者数	149	172	137	127	121	125	144	113	個人	107	127	98	95	91	94	110	81	団体	42	45	39	32	30	31	34	32	うち新規	-	23	16	10	12	19	15	8
年度	18	19	20	21	22	23	24	25																																								
登録者数	149	172	137	127	121	125	144	113																																								
個人	107	127	98	95	91	94	110	81																																								
団体	42	45	39	32	30	31	34	32																																								
うち新規	-	23	16	10	12	19	15	8																																								
事業評価	平成25年度より利用者向けのアンケートや市役所で登録講師による講座開催をするなど、活動の広がりを促すことができた。今後も、学びたい人と教えたいたい人のニーズをマッチングしていくとともに、効果的な広報手段を検討する。																																															

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	子どもの居場所づくり支援事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	232千円
事業内容	土曜日午前公民館の一室を開放し、公民館サークルや地域ボランティアによる遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導を行う。子どもに生活体験・社会体験・自然体験の機会を提供し、健やかな成長を促す。		
成果・実績	遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導により、子どもたちが学校や家庭では経験できない種々の体験をし、優しさやたくましさを育む活動や場所を提供・支援した。5公民館で開催回数は71回、延べ1,591人が参加した。		
事業評価	公民館サークルや地域住民の協力による種々の体験活動により、地域の人との触れ合いを通して子どもの健やかな成長を促すことができた。今後も地域ぐるみでの子育て支援となるよう創意工夫して事業実施に努める。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																																			
		決算額	2,787千円																																																			
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲や社会の変化に対応する各種講座や教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>																																																					
成果・実績	<p>高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学や各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けてもらうよう、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p>																																																					
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">中央公民館活動費</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">1,363千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木幡公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宇治公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">295千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小倉公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">477千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広野公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">292千円</td> <td></td> </tr> </table>			中央公民館活動費	1,363千円		木幡公民館活動費	360千円		宇治公民館活動費	295千円		小倉公民館活動費	477千円		広野公民館活動費	292千円																																					
	中央公民館活動費	1,363千円																																																				
	木幡公民館活動費	360千円																																																				
	宇治公民館活動費	295千円																																																				
	小倉公民館活動費	477千円																																																				
	広野公民館活動費	292千円																																																				
	<p style="text-align: center;">高齢者を対象とした学級・講座等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">公民館名</th> <th style="width: 45%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">講座数</th> <th style="width: 25%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中央</td> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰大学（4コース）</td> <td style="text-align: center;">各10</td> <td style="text-align: center;">3,921</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰大学 大学祭</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">大雪警報 中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰学級</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,220</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木幡</td> <td style="text-align: center;">許乃国教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,020</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小倉</td> <td style="text-align: center;">小倉蓮の実教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">830</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広野</td> <td style="text-align: center;">広野久里古教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,071</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	3,921	宇治鳳凰大学 大学祭	1	大雪警報 中止	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,220	木幡	許乃国教室	8	1,020	小倉	小倉蓮の実教室	8	830	広野	広野久里古教室	8	1,071																								
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																																																		
	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	3,921																																																		
		宇治鳳凰大学 大学祭	1	大雪警報 中止																																																		
	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,220																																																		
	木幡	許乃国教室	8	1,020																																																		
	小倉	小倉蓮の実教室	8	830																																																		
	広野	広野久里古教室	8	1,071																																																		
<p style="text-align: center;">公民館まつり等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">公民館名</th> <th style="width: 45%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">回数</th> <th style="width: 25%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">中央</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人形劇フェスティバル</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">350</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">思いを綴るエッセー講座</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">宇治</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4,700</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治の形・学びの広場</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">59</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">木幡</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">700</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">201</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">小倉</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1,018</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">茶香服大会</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">盆おどり大会・講習会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">258</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ふれあい読み語り講座</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">広野</td> <td style="text-align: center;">ジャズコンサート</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">150</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">地域生涯学習支援事業</td> <td style="text-align: center;">今昔しゃべり場</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ひろの人形劇</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">73</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	中央	公民館まつり	1	2,000	人形劇フェスティバル	1	350	思いを綴るエッセー講座	5	66	宇治	公民館まつり	1	4,700	宇治の形・学びの広場	3	59	木幡	公民館まつり	1	700	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	5	201	小倉	公民館まつり	1	1,018	茶香服大会	1	27	盆おどり大会・講習会	3	258	ふれあい読み語り講座	2	28	広野	ジャズコンサート	1	150	地域生涯学習支援事業	今昔しゃべり場	12	32	ひろの人形劇	11	73
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数																																																			
中央	公民館まつり	1	2,000																																																			
	人形劇フェスティバル	1	350																																																			
	思いを綴るエッセー講座	5	66																																																			
宇治	公民館まつり	1	4,700																																																			
	宇治の形・学びの広場	3	59																																																			
木幡	公民館まつり	1	700																																																			
	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	5	201																																																			
小倉	公民館まつり	1	1,018																																																			
	茶香服大会	1	27																																																			
	盆おどり大会・講習会	3	258																																																			
	ふれあい読み語り講座	2	28																																																			
広野	ジャズコンサート	1	150																																																			
	地域生涯学習支援事業	今昔しゃべり場	12	32																																																		
		ひろの人形劇	11	73																																																		
事業評価	<p>公民館を拠点とした多くの市民の事業への参加・活動により、地域での交流や、生きがいがづくり、地域づくりを進めることができた。今後も年齢を問わず様々な市民が活動できるよう支援するとともに、地域貢献に取り組む人材を育成できるよう事業内容を工夫する必要がある。</p>																																																					

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	公民館修繕事業費（臨時分）	所管課	生涯学習課												
		決算額	10,676千円												
事業内容	公民館において、利用者の安心・安全の確保や利便性を高めることを目的として、バリアフリー化等の改修工事を行う。														
成果・実績	<p>木幡公民館において、防水改修（1階、2階屋上部分）工事を行った。また、木幡公民館・小倉公民館の耐震診断を行ったところ、耐震性に問題はなかった。</p> <p>（防水改修）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">木幡公民館</td> <td style="width: 15%;">工事費</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">7,127 千円</td> </tr> </table> <p>（耐震診断）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">木幡公民館</td> <td style="width: 15%;">耐震診断委託料</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">1,867 千円</td> </tr> <tr> <td>小倉公民館</td> <td>耐震診断委託料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,682 千円</td> </tr> </table>			木幡公民館	工事費		7,127 千円	木幡公民館	耐震診断委託料		1,867 千円	小倉公民館	耐震診断委託料		1,682 千円
木幡公民館	工事費		7,127 千円												
木幡公民館	耐震診断委託料		1,867 千円												
小倉公民館	耐震診断委託料		1,682 千円												
事業評価	適切な工事の実施により、利用者の安心・安全の確保や利便性を高めることができた。														

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																								
		決算額	133,277千円																								
事業内容	「自然とふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																										
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。平成25年度までの延べ利用者数は約123万人となった。</p> <p>利用者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 10%;">21</th> <th style="width: 10%;">22</th> <th style="width: 10%;">23</th> <th style="width: 10%;">24</th> <th style="width: 10%;">25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td>40,666</td> <td>41,417</td> <td>40,491</td> <td>40,370</td> <td>39,281</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>57,191</td> <td>60,736</td> <td>65,131</td> <td>57,500</td> <td>60,778</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97,857</td> <td>102,153</td> <td>105,622</td> <td>97,870</td> <td>100,059</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分 169千円</p>			年度	21	22	23	24	25	宿泊	40,666	41,417	40,491	40,370	39,281	日帰り	57,191	60,736	65,131	57,500	60,778	合計	97,857	102,153	105,622	97,870	100,059
年度	21	22	23	24	25																						
宿泊	40,666	41,417	40,491	40,370	39,281																						
日帰り	57,191	60,736	65,131	57,500	60,778																						
合計	97,857	102,153	105,622	97,870	100,059																						
事業評価	指定管理者により適切に管理・運営を行った。今後も様々な野外活動を通して、生涯学習の充実に努める。																										

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及

所管部局
教育部

事務事業名	全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	所管課	生涯学習課
		決算額	4,396千円
事業内容	<p>(一財)地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」として、平成19年度から平成28年度までの10年間の予定で、本市、宇治市教育委員会、(財)宇治市体育協会、(公財)全日本ボウリング協会などの主催により中学生の全国ボウリング選手権大会を開催する。スポーツ推進とともに、多世代交流、地域交流などを図る。</p>		
成果・実績	<p>42の都道府県から選手229人の参加のもと、7月22日～24日の3日間で大会を実施した。さらに、大会参加者の宿泊所であるアクトパル宇治でお茶会・交流会を開催した。また、同大会の一環として、小学生を対象としたふれあいボウリング教室や、小学4年生～中学2年生を対象としたジュニアボウリングスクールを開催した。</p>		
事業評価	<p>大会の実施によって、スポーツ推進及び地域交流を図ることができた。平成26年度も、参加者の満足度を高めるとともに、全国的に本市の取組を広める機会として、知名度の向上を目指し、さらなる実施内容の充実を図る必要がある。</p>		

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	生涯学習課																									
		決算額	5,136千円																									
事業内容	<p>市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。</p>																											
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">府民総体選手派遣費</td> <td style="text-align: right;">1,553千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加団体数</td> <td>21団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">世界大会等参加者激励金</td> <td style="text-align: right;">2,606千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">交付件数</td> <td>207件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">交付人数</td> <td>270人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">生涯スポーツ育成事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(財)宇治市体育協会に委託</td> <td>参加団体数</td> <td>13団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ジュニア技術講習会</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">宇治市中学校体育連盟に委託</td> <td>参加者数</td> <td>232人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">第21回宇部市・宇治市スポーツ交流大会</td> <td style="text-align: right;">526千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;"></td> <td>参加者数</td> <td>164人</td> </tr> </table>			府民総体選手派遣費	1,553千円	参加団体数	21団体	世界大会等参加者激励金	2,606千円	交付件数	207件	交付人数	270人	生涯スポーツ育成事業	300千円	(財)宇治市体育協会に委託	参加団体数	13団体	ジュニア技術講習会	150千円	宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数	232人	第21回宇部市・宇治市スポーツ交流大会	526千円		参加者数	164人
府民総体選手派遣費	1,553千円																											
参加団体数	21団体																											
世界大会等参加者激励金	2,606千円																											
交付件数	207件																											
交付人数	270人																											
生涯スポーツ育成事業	300千円																											
(財)宇治市体育協会に委託	参加団体数	13団体																										
ジュニア技術講習会	150千円																											
宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数	232人																										
第21回宇部市・宇治市スポーツ交流大会	526千円																											
	参加者数	164人																										
事業評価	<p>各取組によって市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。平成26年度も継続実施するが、基金は有限の財源であるため、活用については計画的な財源運用を行う必要がある。</p>																											


平成 2 5 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	生涯学習課																				
		決算額	4,905千円																				
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。																						
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進や団体育成に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">市長杯等各種競技大会補助金</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">965千円</td> </tr> <tr> <td> 参加者数</td> <td>11,810人</td> </tr> <tr> <td>障害者スポーツ大会補助金</td> <td style="text-align: right;">340千円</td> </tr> <tr> <td> 参加者数</td> <td>630人</td> </tr> <tr> <td>地域体育振興事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td> 加盟数</td> <td>39,023世帯</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団育成事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,100千円</td> </tr> <tr> <td> 団体数</td> <td>64団体</td> </tr> <tr> <td>宇治川マラソン大会記念事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,000千円</td> </tr> <tr> <td> 参加者数</td> <td>2,510人</td> </tr> </table>			市長杯等各種競技大会補助金	965千円	参加者数	11,810人	障害者スポーツ大会補助金	340千円	参加者数	630人	地域体育振興事業補助金	1,500千円	加盟数	39,023世帯	スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円	団体数	64団体	宇治川マラソン大会記念事業補助金	1,000千円	参加者数	2,510人
市長杯等各種競技大会補助金	965千円																						
参加者数	11,810人																						
障害者スポーツ大会補助金	340千円																						
参加者数	630人																						
地域体育振興事業補助金	1,500千円																						
加盟数	39,023世帯																						
スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円																						
団体数	64団体																						
宇治川マラソン大会記念事業補助金	1,000千円																						
参加者数	2,510人																						
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、本市の競技レベルの向上や市民スポーツの推進を図ることができた。平成26年度も継続して支援を行う。																						

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	教育だより発行費	所管課	一貫教育課				
		決算額	476千円				
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、高等学校、保育所の保護者及び市民に対して、本市の教育施策や特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。						
成果・実績	<p>第64・65・66号を発行し、本市小中一貫教育全面実施の取組を中心に、幼稚園児や小・中学生の活躍の様子、各幼稚園、小・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、本市の教育行政及び幼稚園・学校教育等に係る情報を記載した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育だより発行回数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">3回</td> </tr> <tr> <td>教育だより発行部数</td> <td style="text-align: right;">19,500部（1回につき）</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			教育だより発行回数	3回	教育だより発行部数	19,500部（1回につき）
教育だより発行回数	3回						
教育だより発行部数	19,500部（1回につき）						
事業評価	教育だよりの発行によって、保護者・市民へ本市教育行政の周知と理解を深めることができた。今後も内容の充実を図り、積極的に教育情報の発信を行う。						

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	一貫教育課								
		決算額	43,372千円								
事業内容	<p>児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。</p> <p>また、教職員研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。</p>										
成果・実績	<p>本市の友好都市であるカナダのカムループス市から招致した2人と、JETプログラムで招致した8人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">英語指導助手</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">10人</td> </tr> <tr> <td>小学校派遣日数</td> <td style="text-align: right;">841日</td> </tr> <tr> <td>中学校派遣日数</td> <td style="text-align: right;">808日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園派遣日数</td> <td style="text-align: right;">58日</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			英語指導助手	10人	小学校派遣日数	841日	中学校派遣日数	808日	幼稚園派遣日数	58日
英語指導助手	10人										
小学校派遣日数	841日										
中学校派遣日数	808日										
幼稚園派遣日数	58日										
事業評価	英語指導助手の活用によって、園児、児童・生徒の国際理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。今後の継続実施にあたって、英語指導助手の効果を検証し、効果的な活用や手法の検討を進める必要がある。										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	講座等開催費	所管課	一貫教育課
		決算額	284千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修への助成を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>一般研修 開催数 26回 受講者数 940人 道徳教育公開授業講座、中堅教職員 研修講座、人権教育研修講座など</p> <p>専門研修 開催数 2回 受講者数 33人 小学校外国語活動研修講座 小学校外国語活動公開授業講座</p> <p>情報教育研修 開催数 9回 受講者数 107人 ICT活用講座、情報モラル教育研修講座など</p>		
事業評価	多くの教職員が参加し、指導力の向上を図ることができた。近年は退職者・新規採用者が多く、多様な教育課題に対応できる学校全体の教育力の維持・向上と人材育成を進めるため、平成26年度も継続実施する。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	教育研究費	所管課	一貫教育課																		
		決算額	2,219千円																		
事業内容	<p>様々な教育課題を解決するため、指導主事と教育研究員が協働して学校教育に係る指導・助言や相談を行う。また、教育研究員が日常の教育実践に基づいた教育研究を行い、学校教育の充実を図る。</p> <p>平成25・26年度の2カ年計画で「家庭学習促進実践研究指定事業」を2中学校ブロックに研究校として指定し、家庭学習の定着に向けた実践研究を行う。</p>																				
成果・実績	<p>5部会で教育研究を行い、その成果を公開授業や本市教育委員会ホームページ、本市教職員研修講座などにより報告した。</p> <p style="text-align: center;">教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">設置部会</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 55%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学力充実研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小・中学校の学力充実・向上に関する研究</td> </tr> <tr> <td>学校安全研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>学校防災計画改編のためのモデルに関する研究</td> </tr> <tr> <td>外国語活動研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究</td> </tr> <tr> <td>道徳教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究</td> </tr> <tr> <td>情報教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>教科指導における効果的なICT活用に係る研究</td> </tr> </tbody> </table> <p>家庭学習促進実践研究指定事業 「個に応じた家庭学習のあり方」や「授業につながる家庭学習のあり方」についての研究が進んでいる。（西小倉中学校ブロック・広野中学校ブロック）</p>			設置部会	部員数	主な研究内容	学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究	学校安全研究部	6	学校防災計画改編のためのモデルに関する研究	外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究	道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究	情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究
設置部会	部員数	主な研究内容																			
学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究																			
学校安全研究部	6	学校防災計画改編のためのモデルに関する研究																			
外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究																			
道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究																			
情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究																			
事業評価	<p>教育研究員の日常の教育実践に基づいた研究によって、本市学校教育の課題解決を図ることができた。研究校の指定により家庭学習の定着に向けての取組が進んでいる。時宜に応じて教育課題に適切に対応する教育力向上の一助とし、児童・生徒の健やかな成長を図るため平成26年度も継続実施する。</p>																				

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	一貫教育課
		決算額	47,807千円
事業内容	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。全ての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進め、小中一貫教育を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに、各中学校ブロックの取組への支援やリーフレット発行による広報や啓発を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">宇治市小中一貫教育推進協議会 173千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、本市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">小中一貫教育取組推進教員の配置 46,582千円 全中学校ブロックに小中一貫教育非常勤講師（チーフコーディネーター後補充教員並びに教科連携教員）を配置し、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p style="margin-left: 20px;">広報及び啓発 951千円 小中一貫教育の推進並びに啓発を目的として広報紙を作成し、市内保育所、幼稚園および小・中学校の各家庭並びに公民館等の市関係公共機関に配布した。 また、各中学校ブロックの取組推進並びに啓発を目的としてブロック広報紙等を作成した。</p>		
事業評価	<p>平成24年4月から全面実施している小中一貫教育は、各中学校ブロックにおいて整えられた体制に基づき円滑に進めることができた。今後も本市の小中一貫教育の取組について市民や保護者へ周知を図るとともに、教育の効果について検証を行った上で改善を図っていく必要がある。また、家庭や地域との連携を図りながら取組を推進する。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	青少年電話相談活動費	所管課	教育支援課																					
		決算額	1,282千円																					
事業内容	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。																							
成果・実績	<p>午前9時～午後5時まで3交替制で244日、相談を実施した。相談内容は「家族」、「性」、「教育」、「健康」に関わる相談が全体の6割を占めており、さらに青少年に関わる相談は全体の4割程度となっている。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">相談件数推移</th> <th colspan="5">(件)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td></td> <td>886</td> <td>630</td> <td>697</td> <td>477</td> <td>471</td> </tr> </tbody> </table>			相談件数推移		(件)					年度		21	22	23	24	25	件数		886	630	697	477	471
相談件数推移		(件)																						
年度		21	22	23	24	25																		
件数		886	630	697	477	471																		
事業評価	相談体制の整備によって相談者にとっての心の支えとなることができた。30年以上の取組であり、啓発も行っている中で相談件数は減少傾向である。市民ニーズや事業効果を考慮した上で、京都府等ほかの様々な相談窓口との役割分担や制度の周知など、運営手法を検討する必要がある。																							

事務事業名	教育研究支援創造事業費	所管課	教育支援課
		決算額	5,859千円
事業内容	いじめや不登校といった教育課題への取組を推進するため新たな組織的体制の構築を行うとともに、学校現場だけでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行える体制について検討を行う。		
成果・実績	<p>教育部の組織機構改革により教育支援センターの設置について検討を進めた。また、学校等だけでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要する問題について、専門的な助言や支援を行い、現場の教職員が幼児、児童生徒と向き合う時間をより一層確保できるよう、社会福祉士、臨床心理士等の専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を試行設置し、学校支援の取組を進めた。</p> <p style="text-align: center;">支援チーム会議開催数 7回</p>		
事業評価	学校現場で起こる解決困難な問題等に対して、支援を行える体制、取組などについて検討を進めた。また、支援チーム会議を円滑に運営し、学校等へ専門的な助言、支援することができた。今後は、本事業で検討した教育支援センターの事業等を適正に実施し、教育環境の充実を図る。		

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 青少年の健全育成

所管部局
教育部

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,464千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動等を実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<p>各小学校区ごとに補導委員として117人を委嘱し、毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭り、宇治川花火大会での全体補導、パネル展、街頭啓発活動、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などを実施した。</p> <p>啓発パネル展 2回開催 （7月2日～12日、11月5日～14日） 地域懇談会（校区の小・中学校及び育友会と共催） 10中学校区で開催</p>		
事業評価	地域住民による警察と連携した活動により、青少年の非行の未然防止に取り組んだ。今後も市民啓発と委員研修の充実を行うとともに、委員の人材確保に努める必要がある。		


事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	677千円
事業内容	中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表し、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、第32回宇治市「中学生の主張」大会を開催した。</p> <p>開催日 11月9日 開催場所 宇治市文化センター 大ホール 発表者数 中学生11人 参加者 530人</p>		
事業評価	中学生が学校や家庭・地域での生活の中で、考え、悩み、求めていることを発表することにより、同世代の青少年が学び合うとともに、中学生への理解と認識を深めることができた。一般参加の増加を図るため広報の充実を図り、平成26年度も継続実施する。		



平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 青少年の健全育成

所管部局
教育部

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課						
		決算額	2,364千円						
事業内容	<p>青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。</p>								
成果・実績	<p>市内団体で組織されている地区青少年健全育成協議会の活動に対し支援を行った。また、次世代の地域活動を担う人材育成のため、ジュニアリーダーの養成学習会をマリンピアで行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 40%;">青少年健全育成協議会補助金</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,500千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>ジュニアリーダー養成学習会</td> <td style="text-align: right;">864千円</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			青少年健全育成協議会補助金	1,500千円		ジュニアリーダー養成学習会	864千円	
青少年健全育成協議会補助金	1,500千円								
ジュニアリーダー養成学習会	864千円								
事業評価	<p>各種関係団体が連携しながら、青少年の自発的な社会参加を求め、青少年の健全育成を図ることができた。中・高校生を中心としたジュニアリーダー活動をより活性化するために、活動の内容や広報の充実に努める必要がある。</p>								

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課												
		決算額	4,474千円												
事業内容	<p>児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備、保護者に対する啓発などを行う。</p>														
成果・実績	<p>生徒指導の研究や保護者への啓発を行うとともに、児童・生徒の問題行動に対し適切な指導を行うため、教職員に対して研修助成、事例研究セミナーなどを開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 20%;">問題行動</td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 10%;">小学校</td> <td style="width: 15%;">818人（前年比 123人増）</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1,350人（前年比 277人減）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不登校</td> <td rowspan="2">人数</td> <td>小学校</td> <td>54人（前年比 2人増）</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>178人（前年比 13人増）</td> </tr> </table>			問題行動	延べ指導人数	小学校	818人（前年比 123人増）	中学校	1,350人（前年比 277人減）	不登校	人数	小学校	54人（前年比 2人増）	中学校	178人（前年比 13人増）
問題行動	延べ指導人数	小学校	818人（前年比 123人増）												
		中学校	1,350人（前年比 277人減）												
不登校	人数	小学校	54人（前年比 2人増）												
		中学校	178人（前年比 13人増）												
事業評価	<p>研修や啓発などにより、適切な生徒指導を行うことができた。今後は、問題行動の低年齢化や、新たなタイプの問題行動・不登校にも対応するために、専門家による相談体制の充実や学校・教員への支援などの検討を行いながら、さらなる指導力の向上を図る必要がある。</p>														

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 青少年の健全育成

所管部局
教育部

事務事業名	適応指導教室運営費	所管課	教育支援課																				
		決算額	7,981千円																				
事業内容	不登校の児童・生徒が学校生活や社会生活に適応できるよう、教室を開設し、指導員とカウンセラーが個別及び集団による援助・指導を行う。																						
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて適応指導教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、学校復帰へ向けて支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">在籍児童生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">10人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td style="text-align: right;">1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>部分登校</td> <td style="text-align: right;">2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>好転</td> <td style="text-align: right;">7人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>変化なし</td> <td style="text-align: right;">0人</td> <td></td> </tr> </table>			在籍児童生徒数		10人		改善状況	学校復帰	1人			部分登校	2人			好転	7人			変化なし	0人	
在籍児童生徒数		10人																					
改善状況	学校復帰	1人																					
	部分登校	2人																					
	好転	7人																					
	変化なし	0人																					
事業評価	教室を通して支援・指導を行うことで、児童・生徒の学校・社会生活への適応を促進することができた。複合した要因を持つ不登校児童・生徒が増加傾向にあり、多様な対応が求められるため、今後も学校や関係機関との連携を強化し、学校復帰できるよう効果的な教室運営に努める。																						

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	教育支援課								
		決算額	2,699千円								
事業内容	問題行動や不登校の未然防止を図るため、生徒がいつでも気軽に相談できるよう、身近に感じられる兄弟的な若い世代の相談員を配置し、別室登校や不登校傾向生徒が悩みなどを気軽に話せる環境をつくる。										
成果・実績	<p>別室登校や不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に計18名派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">相談件数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">544件</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>対応延べ人数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,048人</td> <td></td> </tr> </table>			相談件数		544件		対応延べ人数		2,048人	
相談件数		544件									
対応延べ人数		2,048人									
事業評価	相談員の配置によって気軽に相談できる環境を整備し、家庭・学校・関係機関等と連携しながら問題行動や不登校の未然防止を図ることができた。相談件数は増加しており、学校からの派遣要望も多く、今後も相談員となる人材の確保に努める必要がある。										

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 青少年の健全育成	

事務事業名	メンタルフレンド推進事業費	所管課	教育支援課										
		決算額	906千円										
事業内容	家庭に閉じこもった状態の不登校児童・生徒宅へ学生ボランティアを派遣し、心のふれあいを通して学校復帰へのきっかけをつくる。												
成果・実績	<p>学生ボランティアが家庭訪問を行い、不登校、引きこもり状態の児童・生徒（小学校3年生～中学校3年生）の家庭を定期的に訪問し、「よき友」「よき兄姉」として寄り添いながら、生活に密着した相談活動を行い、学校生活への復帰を支援した。</p> <table border="0"> <tr> <td>派遣家庭児童・生徒数</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>改善状況</td> <td>学校復帰 1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>部分登校 4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>好転 0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>変化なし 0人</td> </tr> </table>			派遣家庭児童・生徒数	5人	改善状況	学校復帰 1人		部分登校 4人		好転 0人		変化なし 0人
派遣家庭児童・生徒数	5人												
改善状況	学校復帰 1人												
	部分登校 4人												
	好転 0人												
	変化なし 0人												
事業評価	児童・生徒の生活に寄り添った相談を実施し、学校復帰へのきっかけを提供できた。今後も学校と連携し、訪問対象家庭への働きかけを強化するとともに、個別のケースごとの対応ができるよう、研修の充実を図り、学校復帰できるよう効果的な支援を行う。												

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進


所管部局
教育部

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課										
		決算額	161千円										
事業内容	<p>平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。</p>												
	<p>遊びや学びの場を提供する地域活動に対して、学習アドバイザー及び安全管理員の派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p>												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">教室名</th> <th style="width: 25%;">開催場所</th> <th style="width: 25%;">開催期間</th> <th style="width: 25%;">開催回数</th> <th style="width: 25%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北槇つながりプロジェクト</td> <td>北槇島小学校</td> <td>5月11日～ 26年3月12日</td> <td>25</td> <td>延べ1,813人</td> </tr> </tbody> </table>			教室名	開催場所	開催期間	開催回数	参加人数	北槇つながりプロジェクト	北槇島小学校	5月11日～ 26年3月12日	25	延べ1,813人
教室名	開催場所	開催期間	開催回数	参加人数									
北槇つながりプロジェクト	北槇島小学校	5月11日～ 26年3月12日	25	延べ1,813人									
事業評価	<p>子どもを地域で育てる社会教育の重要な柱となる遊びと学びの場づくりを推進することができた。教室を持続的に運営するための地域の安定した協力体制の構築と活動場所の広がりが今後の課題である。</p>												

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	企画展示費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	2,676千円
事業内容	企画展を目的とした来館者やリピーターを誘致するとともに、ミュージアムの広報・宣伝のため、美術工芸品等の館蔵品だけではなく、他館や関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。		
成果・実績	<p>源氏物語と平安時代の文化を中心に、様々な趣向をこらした展示を行った。</p> <p>たおやかなる源氏物語の世界 後期 平成25年3月19日～4月21日 染色作家・東矢千嘉子新作の『源氏物語』をテーマとした京友禅の訪問着10点を初公開した。</p> <p>都名所図会の世界 - 能楽ゆかりの地をたずねて - 前期 4月24日～5月27日 後期 5月29日～7月7日 『源氏物語』が広く親しまれるきっかけとして、能楽の流行が挙げられる。今回は、江戸時代のベストセラーで京都のガイドブック『都名所図会』に描かれた能楽の舞台となった名所、ゆかりの地を紹介した。</p> <p>ようこそ！源氏物語の世界へ 7月10日～9月29日 館蔵品『源氏絵鑑帖』を中心に『源氏物語』の名場面を読み解きながら、源氏物語とはどのような物語なのか、またその描かれた背景となる平安時代とはどのような時代であったのか紹介した。</p> <p>源氏物語の色 前期 10月3日～11月4日 後期 11月6日～12月1日 『源氏物語』に描写された植物由来の色とはどのような色であったのか。五十四帖を丹念に読みつつ、当時の染色法そのままに再現された、染織史家・吉岡幸雄氏の染織作品を通して千年前の優美な服飾文化とともに発展した染色の世界を紹介した。</p>  <p>江戸の源氏物語 よむ・みる・あそぶ 前期 12月4日～平成26年1月13日 後期 平成26年1月15日～平成26年2月16日 江戸人も熱中した『源氏物語』。解説書『源氏小鏡』や、時代設定を替えた『修紫田舎源氏』『室町源氏胡蝶巻』なども大流行。『源氏物語』の広がりを紹介した。</p> <p>銅版画にみる源氏物語の女人たち 平成26年2月19日～4月20日 西澤静男作 銅版画『源氏物語女人抄』を中心に、作者の目を通した独特の世界観にみる『源氏物語』の世界を紹介した。</p>		
	事業評価	毎回テーマを工夫し魅力ある企画展を開催することで、多くの入館者の誘致に努めたが、平等院鳳凰堂の平成修理等により入館者数は減少した。今後も、時宜に応じたテーマ設定や展示内容・見せ方等について工夫するとともに、積極的に広報を行い、リピーターや新たな入館者の増加を目指す。	

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	1,317千円
事業内容	源氏物語をテーマとしたまちづくりの中核的役割を担う施設として、新規来館者の獲得をはじめ、リピーター等の来館者の増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	旅行情報誌等、計6誌に当館の広告を掲載した。広告には観覧料の割引等を付け、来館者増加に向けて、積極的に周知・PRを行った。		
事業評価	旅行雑誌等への広告掲載を中心とした、広報活動に努め、当館の認知度を高めるとともに、入館者の増加を図った。今後も、観光協会等と連携したPR活動を進めながら、より効果的で効率的な広報の方法や媒体を検討し、利用促進と入館者の確保を図る。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	623千円
事業内容	源氏物語や平安時代の文化について、来館者の理解をより深めるために、講演会や講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧することによって興味・関心を抱いた利用者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムそのものの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	<p>連続講座、源氏物語セミナーは、平安時代の文学・歴史を専門とする研究者を講師に迎え、最新の研究を織り交ぜつつ講義をしていただき、より深く学べる場を提供した。かるた教室は、子どもたちが積極的に参加し、恒例の行事として定着してきた。</p> <p>連続講座「美と心、そして歌ー日本文化のなかの源氏物語ー」（全10回） 5月～平成26年3月 参加者数 延べ987人</p> <p>入門講座 「平安貴族と京童ー源氏物語のなかの庶民たちー」（全8回） 5月～平成26年1月 参加者数 延べ1,026人</p> <p>入門講座 「絵解き源氏物語ー源氏絵鑑帖を中心にー」（全2回） 平成26年2月～3月 参加者数 延べ157人</p> <p>十二単着付け体験（1回） 7月27日 参加者数 70人</p> <p>源氏物語セミナー「源氏物語の色」（1回） 10月17日 参加者数 139人</p> <p>かるた教室（1回） 平成26年2月15日 参加者数 70人</p> <p>ひとりものがたり 「源氏物語 夢浮橋」（1回） 平成26年3月2日 参加者数 68人</p>		
事業評価	源氏物語や平安時代の文化への理解を深めることができた。年間を通じて入門・連続講座等の事業を実施し、参加者の学習機会を提供した。今後も、参加者のニーズの把握に努め、より幅広い年代層の参加を促し、参加者の満足度の高い事業展開を図る。		



平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,311千円

事業内容 宇治市生涯学習推進プランに基づき、生涯学習センターや公民館などで、市民のライフステージに対応した講座や事業を実施し、学習の機会を提供する。

各種講座を実施し、学習機会の確保と学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。

社会・時代の変化に対応する講座

事業名	回数	参加人数
環境講座「地球温暖化と気候の変化」	4	164
安心Myコミュニティのための防災減災 (木幡公民館)(小倉公民館)	4	88
インターネットを使用した講座「花木を学ぶ～育て方の基礎～」	1	-
近現代史を学ぶ「激動の幕末から明治まで」	3	155
暮らしに役立つ金融経済講座	3	367

青少年を対象とする講座・事業

事業名	回数	参加人数
スポーツチャンバラ広場	10	268
夏休み子どもフェア(2日間)	1	2,800
青少年のたまり場	12	10
「はたらく」を「はじめる」コミュニケーション力UP講座	3	31

成果・実績



安心Myコミュニティのための防災減災



夏休み子どもフェア

教養講座

事業名	回数	参加人数
国際交流講座「こんにちは！AETです」	1	20
舞台芸術体験事業 「狂言の世界へようこそ！～狂言を実際に体験してみよう～」	1	149
方丈記を読む	3	207
初心者向け！安心・安全登山の心得講座	3	71
ロボット研究者に聴く、次世代ロボットの可能性	3	44

映画鑑賞事業

事業名	回数	参加人数
文化庁優秀映画鑑賞推進事業(2日間)	1	420
第16回バリアフリー映画上映会「北のカナリアたち」	1	220

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部



事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,311千円

成果・実績	生涯学習団体等の育成・人材養成と活用																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター協力者・グループ交流会</td> <td>1</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>ロビー展 ミニ講習会</td> <td>12</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>うじ市民活動サポート事業(12事業)</td> <td>40</td> <td>1,407</td> </tr> <tr> <td>ボランティア活動をはじめのための手話入門講座</td> <td>5</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>セカンドライフ相談・交流会</td> <td>6</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>Uji 手づくり市</td> <td>10</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>情報紙編集講座</td> <td>6</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	センター協力者・グループ交流会	1	31	ロビー展 ミニ講習会	12	158	うじ市民活動サポート事業(12事業)	40	1,407	ボランティア活動をはじめのための手話入門講座	5	71	セカンドライフ相談・交流会	6	75	Uji 手づくり市	10	127	情報紙編集講座	6	45
	事業名	回数	参加人数																								
	センター協力者・グループ交流会	1	31																								
	ロビー展 ミニ講習会	12	158																								
	うじ市民活動サポート事業(12事業)	40	1,407																								
	ボランティア活動をはじめのための手話入門講座	5	71																								
	セカンドライフ相談・交流会	6	75																								
	Uji 手づくり市	10	127																								
	情報紙編集講座	6	45																								
家庭の教育力向上のための講座																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おやこっころんど</td> <td>12</td> <td>1,103</td> </tr> <tr> <td>中学生の福祉体験事業</td> <td>1</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>小学生の親のための講座「子どものやる気と好奇心」</td> <td>2</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>思春期講座「ネット世代の子どもたちを育てていくために」</td> <td>2</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>学ぼう！子どもの食と栄養</td> <td>4</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	おやこっころんど	12	1,103	中学生の福祉体験事業	1	75	小学生の親のための講座「子どものやる気と好奇心」	2	84	思春期講座「ネット世代の子どもたちを育てていくために」	2	37	学ぼう！子どもの食と栄養	4	42							
事業名	回数	参加人数																									
おやこっころんど	12	1,103																									
中学生の福祉体験事業	1	75																									
小学生の親のための講座「子どものやる気と好奇心」	2	84																									
思春期講座「ネット世代の子どもたちを育てていくために」	2	37																									
学ぼう！子どもの食と栄養	4	42																									
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボランティア活動をはじめのための 手話入門講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>セカンドライフ相談・交流会</p> </div> </div>																											
その他の事業																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NHK公開セミナー「中世のモナリザ、貴婦人と一角獣の謎に迫る」</td> <td>1</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>NHK公開セミナー「竹内栖鳳 作品を通して味わう近代日本画の魅力」</td> <td>1</td> <td>135</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	NHK公開セミナー「中世のモナリザ、貴婦人と一角獣の謎に迫る」	1	101	NHK公開セミナー「竹内栖鳳 作品を通して味わう近代日本画の魅力」	1	135																
事業名	回数	参加人数																									
NHK公開セミナー「中世のモナリザ、貴婦人と一角獣の謎に迫る」	1	101																									
NHK公開セミナー「竹内栖鳳 作品を通して味わう近代日本画の魅力」	1	135																									

事業評価	講座等の開催により、市民の生涯学習の充実、地域での市民交流、地域で活動する人材の育成を図ることができた。今後も市民が主体的に生涯学習に取り組む機会を提供するとともに、成果を活かしながら地域の活性化を目指す。
------	---

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	所管課	生涯学習センター
		決算額	302千円
事業内容	「つながれ・ひろがれ・まなびの”わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる人々の日常活動の発表と交流及び、これから何かを始めたい人にきっかけづくりの場を提供するため、「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」を開催する。		
成果・実績	<p>市民公募による実行委員会形式によって、「宇治まなびんぐ2014」を平成26年2月8日・9日に開催した。例年と同じく、実行委員が準備や当日の運営を主体的に行った。また、当日ボランティアが出展者補助などを積極的に行った。</p> <p>両日の参加団体・個人(出展数)46、参加者延べ人数は約1,300人を数えた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>手づくり体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>よさこい踊り体験</p> </div> </div>		
事業評価	市民主体で生涯学習の発表の場を設け、学習意欲の向上と市民相互の交流を進めることができた。今後も出展者同士、また来場者との交流を進めるとともに、参加者の増加を促し、市全体での生涯学習の発展を目指す。		

事務事業名	生涯学習推進費(学習情報の収集と提供)	所管課	生涯学習センター
		決算額	72千円
事業内容	市民へ適切かつ迅速に情報提供できるよう、学習情報を収集・整理し、生涯学習センター内に情報コ-ナ-を設置する。また、視聴覚ビデオライブラリーの活用を図る。		
成果・実績	<p>視聴覚ライブラリーで、多様なジャンルの視聴覚教材を1,550本所蔵し、市民の生涯学習や小中学校での学習に活用されるよう広報に取り組んだ。貸出し件数は187件、延べ719本のソフトを貸し出した。</p> <p style="text-align: center;">視聴覚ライブラリー教材購入費 72千円</p>		
事業評価	学習情報の提供により、市民の生涯学習や地域活動を促進することができた。今後も周知方法の工夫等により、多くの市民が幅広く活用できるよう継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	生涯学習センター
		決算額	299千円
事業内容	<p>京都府南部地域で日頃から活動しているおおむね65歳以上の高齢者で組織されている合唱団に発表の場を提供するとともに、出演団体による実行委員会を組織して協議を進めることによって、生涯学習の実践と市町の枠を越えての交流を深めることを目的としている。</p>		
成果・実績	<p>「第15回2013シルバーコーラスの集い」を実行委員会形式によって、10月26日に文化センター大ホールで開催した。京都府南部地域からの参加も含め、市内9団体と市外5団体の計14団体、出演者・来場者合わせて約800人が集い、日頃の活動成果の発表と参加者同士の交流を行った。</p> <p>なお、シルバーコーラスの集いは今回で終了とし、次年度からはこれまでの活動成果を活かして実行委員会の自主運営でのコーラス発表会を開催する。</p>		
事業評価	<p>高齢者の生きがいづくりと参加者同士の交流を図ることができた。今後は、新たな高齢者活動の事業を企画・実施する団体を支援し、自主的な活動を促進するとともに、生涯学習グループのさらなる活性化及び世代間交流や生涯学習活動の担い手となる後継者の育成を図る。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供事業	所管課	各図書館		
		決算額	19,939千円		
事業内容	<p>市民の生涯学習推進のため、教養書、参考書、実用書、児童書などの資料を幅広く収集し、知識・情報を豊富に提供する。また、インターネットでの図書検索・予約や、図書館以外の施設での予約本の受け取り、土日・祝日の開館などのサービスを実施するとともに、イベント、図書館見学や職場体験学習など、市民が読書や図書館に親しむ機会をつくる。</p>				
成果・実績	中央図書館資料提供費	11,351千円			
	東宇治図書館資料提供費	4,294千円			
	西宇治図書館資料提供費	4,294千円			
	資料数				
	館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)
	中央図書館	4,421	178,326	81	11
	東宇治図書館	2,391	61,636	48	9
	西宇治図書館	2,436	70,115	48	9
	合計	9,248	310,077	177	29
	資料の利用				
館名等	貸出冊数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率(%)	
中央図書館	375,397	89,366	82,418	42.5	
東宇治図書館	173,931	43,007			
西宇治図書館	215,555	52,709			
団体貸出	7,518	-			
合計	772,401	185,082			
団体貸出					
17団体(地域文庫・家庭文庫)に、5,552冊の貸出を行った。					
21団体(幼稚園、小・中学校)に、1,966冊の貸出を行った。					
予約配本サービス					
図書館から遠い地域の利用者へのサービス向上のため、予約図書を週1回指定された5カ所の公共施設等に搬送し、12,885冊の貸出を行った。					
資料の活用(リサイクル事業)					
平成11年度から「青空リサイクル市」を年1回開催して、除籍した図書や保存期限の過ぎた雑誌などを市民に還元した。					
リサイクルした冊数 6,292冊					

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供事業	所管課	各図書館
		決算額	19,939千円

読書の普及に向けて下記の活動を行った。

図書展示

一般書

中央図書館：「ひろがる！ ”えほん”の世界」ほか4回
 東宇治図書館：「すくすく大きくなあれ」ほか10回
 西宇治図書館：「ゆっくりのんびり家しごと」ほか6回

児童書

中央図書館：「やさしい古典のおはなし」ほか9回
 東宇治図書館：「てくてく歩こう！！花いっぱい」ほか8回
 西宇治図書館：「お月さまの本」ほか9回



図書展示「空にあこがれて
 ～ライト兄弟人類初飛行110周年～」
 読書推進事業

読書推進事業「朗読で楽しむ宮沢賢治の
 世界～宮沢賢治没後80年記念～」

成果・実績

館名	回数	参加者数	内容
中央図書館	9	510	季節、読書週間に合わせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)
東宇治図書館	6	111	
西宇治図書館	6	224	

おはなしかい

館名	回数	参加者数	内容
中央図書館	10	138	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど
東宇治図書館	10	155	
西宇治図書館	7	42	

学校等連携

館名	図書館見学会 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習	
	学校数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数
中央図書館	11	1,004	4	8
東宇治図書館	3	322	2	4
西宇治図書館	4	259	2	4


事業評価

幅広い資料の収集やインターネットでの予約サービスなどの取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の生涯学習を促進することができた。今後も、運営・整備手法を検討しながら、市民の利便性の向上と多様なニーズへの対応に努める。

平成25年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	特別展示費	所管課	歴史資料館
		決算額	1,840千円
事業内容	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査成果を市民に還元し、後世に伝えるため、展示、図録刊行、講演会開催を実施する。テーマは、その年に相応しい時宜を得たものを心がけ、原物資料や、写真パネル・映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努めている。		
成果・実績	<p>図録を刊行し、講演会を開催した。</p> <p>展覧会名 「宇治電-水力の時代へ-」 会期 9月28日～11月17日 入場者数 1,869人</p> <p>講演会「鉄道・電気事業からみた近代宇治の都市イメージ形成」 田中尚人（熊本大学准教授） 開催日時 10月20日 参加人数 40人</p> 		
事業評価	趣向をこらした展示や講演会などにより、市民が文化資料に親しむ機会を提供できた。より幅広い層の市民が観覧に訪れるよう、今後も展示の工夫に努める。		

事務事業名	企画展示費	所管課	歴史資料館												
		決算額	168千円												
事業内容	開館以来収集してきた資料を活用した企画展を開催する。多種多様な収蔵資料をテーマごとに精選して、市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられる内容とし、何度も来館する機会となるよう定期的に展示内容を変える。また、写真展等市民参加型の展覧会も開催する。														
成果・実績	<p>宇治の歴史や文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、わかりやすく展示した。</p> <table border="1" data-bbox="352 1621 1321 1783"> <thead> <tr> <th>展覧会名</th> <th>会期</th> <th>目録配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おぐら池</td> <td>6月29日～9月8日</td> <td>545</td> </tr> <tr> <td>ちょっと昔の街と暮らし</td> <td>12月7日～26年3月2日</td> <td>557</td> </tr> <tr> <td>発掘ものがたり宇治2014</td> <td>26年3月22日～6月22日</td> <td>675</td> </tr> </tbody> </table> <p>入場者推計：10,000人</p>			展覧会名	会期	目録配布枚数	おぐら池	6月29日～9月8日	545	ちょっと昔の街と暮らし	12月7日～26年3月2日	557	発掘ものがたり宇治2014	26年3月22日～6月22日	675
展覧会名	会期	目録配布枚数													
おぐら池	6月29日～9月8日	545													
ちょっと昔の街と暮らし	12月7日～26年3月2日	557													
発掘ものがたり宇治2014	26年3月22日～6月22日	675													
事業評価	常設展とは異なるテーマで展示を行うことにより、市民にわかりやすく歴史や文化の魅力を伝えられた。内容の充実に努めながら平成26年度も継続実施する。														

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	教育普及活動費	所管課	歴史資料館																
		決算額	100千円																
事業内容	歴史講座、古文書講習会の開催により、調査・研究成果を広く公開するとともに、他の研究機関から講師を迎え、市民の歴史研究や博物館活動への理解を深める。																		
成果・実績	歴史講座 1 回と古文書講習会を開催し、合わせて延べ180人の参加があった。																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">種別</th> <th style="width: 10%;">開催日</th> <th style="width: 30%;">テーマ</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 10%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史講座</td> <td>10月31日</td> <td>明治後期の琵琶湖疏水と電気事業 -宇治川電気事業との関係を中心に-</td> <td>白木正俊 (琵琶湖疏水記念館嘱託研究員)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>古文書講習会</td> <td>12月 10日～13日</td> <td>尾州様御茶詰記録を読む</td> <td>館員</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>				種別	開催日	テーマ	講師	参加者数	歴史講座	10月31日	明治後期の琵琶湖疏水と電気事業 -宇治川電気事業との関係を中心に-	白木正俊 (琵琶湖疏水記念館嘱託研究員)	100	古文書講習会	12月 10日～13日	尾州様御茶詰記録を読む	館員	80
種別	開催日	テーマ	講師	参加者数															
歴史講座	10月31日	明治後期の琵琶湖疏水と電気事業 -宇治川電気事業との関係を中心に-	白木正俊 (琵琶湖疏水記念館嘱託研究員)	100															
古文書講習会	12月 10日～13日	尾州様御茶詰記録を読む	館員	80															
事業評価	各講座の開催により、多くの市民に宇治の歴史と文化を知ってもらうことができた。講師の選定を工夫するなど魅力的な講座の開催とともに、積極的な広報に努めながら平成26年度も継続実施する。																		

平成 25 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	2,409千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 書道教室・えいごくらぶ・手作り教室・料理教室・体験合宿・学習会等を実施した。 実施回数 262回 参加者数 1,926人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 春、秋のレクリエーション・スポーツクラブ・お楽しみ会・体験シリーズ・おもしろパーティー等を実施した。 実施回数 36回 参加者数 391人		
事業評価	各活動によって青少年の学習を促進し、健全育成を図ることができた。今後も参加者の増加を目指し、事業内容を工夫しながら継続実施する。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,453千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 えいごであそぼ、工作教室、体験学習、百人一首大会、活動発表会等を実施した。 実施回数 87回 参加者数 894人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、アウトドア教室、カメレオン・パニック、チャレンジクリスマス等を実施した。 実施回数 17回 参加者数 611人		
事業評価	各活動によって青少年の学習を促進し、健全育成を図ることができた。今後も参加者の増加を目指し、事業内容を工夫しながら継続実施する。		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	大久保青少年センター運営費	所管課	大久保青少年センター
		決算額	1,938千円
事業内容	<p>青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性や協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツ等の活動事業を実施する。</p> <p>また、各種教室・催し物の開催や、こどもクラブでの活動の育成指導を行う。</p>		
成果・実績	<p>子どもたちの参加意識が高くなっており、目的をもって主体的に活動する場面が多くなった。また、学校、地域を超えた友達関係の輪が広がってきた。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>教室</p> <p>実施回数 39回</p> <p>参加者数 685人</p> <p>催し物</p> <p>実施回数 21回</p> <p>参加者数 2,180人</p> <p>こどもクラブ</p> <p>実施回数 186回</p> <p>参加者数 3,912人</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  <p>音楽クラブ デイサービスセンター訪問</p> </div> </div>		
事業評価	<p>各活動によって、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動の促進を図ることができた。市内全域から参加希望があり、事業内容を工夫しながら継続実施する。</p>		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参画システムの確立	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局																				
		決算額	909千円																				
事業内容	議会を円滑に運営するための改革を行う事業として、各委員会活動充実のための研修会及び、市民に開かれた議会を目指し、インターネット上で議会本会議（一般質問）の録画配信を行う。																						
成果・実績	委員会研修 158千円 議会運営委員会、常任委員会、広報委員会の委員会活動充実のため研修会を行った。																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">委員会</th> <th style="width: 60%;">研修内容</th> <th style="width: 25%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>議会運営</td> <td>議会は何のために必要か？</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td>市民環境</td> <td>お茶について</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td>文教福祉</td> <td>「ヤングケアラーの実態と支援」について</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>建設水道</td> <td>上水道事業の効率性について</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>総務</td> <td>近年の水害と実験施設の説明 他</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>広報</td> <td>「伝える広報」から「伝わる広報」へ</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> </tbody> </table>			委員会	研修内容	参加人数	議会運営	議会は何のために必要か？	30	市民環境	お茶について	30	文教福祉	「ヤングケアラーの実態と支援」について	16	建設水道	上水道事業の効率性について	35	総務	近年の水害と実験施設の説明 他	19	広報	「伝える広報」から「伝わる広報」へ
委員会	研修内容	参加人数																					
議会運営	議会は何のために必要か？	30																					
市民環境	お茶について	30																					
文教福祉	「ヤングケアラーの実態と支援」について	16																					
建設水道	上水道事業の効率性について	35																					
総務	近年の水害と実験施設の説明 他	19																					
広報	「伝える広報」から「伝わる広報」へ	9																					
	議会録画映像インターネット配信経費 751千円 アクセス数 5,239件																						
事業評価	本市議会録画配信については議会だより等で市民へ広報し、議会を傍聴できない市民への利便性の向上を図ることができた。しかしアクセス数が減少傾向であり、市民の議会への関心を高めるため、さらなる工夫に努めるとともに、事業効果の検証が必要である。																						

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	4,390千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	議会だより発行経費 4,015千円 発行回数 4回 発行部数 81,500部/回		
	市政概要発行経費 328千円 発行回数 1回 発行部数 250部		
事業評価	議会だよりを発行し、市民へ議会情報を発信することができた。今後も紙面の充実を図るとともに、市民の議会への関心を高めるため広報手法について検討するとともに、住民自治の高揚について事業効果の検証が必要である。		

平成 25 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参画システムの確立

所管部局
その他

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	55千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、「府政を見る会」「市政を見る会」の開催をはじめ、啓発ポスター・標語の募集、成人式における啓発資料の配布、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>選挙時の店頭啓発活動では大学生等に参加してもらい、特に若年層に対して投票に行くよう働きかけた。</p>		
事業評価	各種啓発活動等を行い、投票率の向上を図っているが、今後も特に若年層の投票を促進できるように啓発手法を工夫する必要がある。		

事務事業名	参議院議員通常選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	47,099千円																
事業内容	任期満了に伴う参議院議員通常選挙を執行する。																		
成果・実績	<p>7月21日に参議院議員通常選挙を執行した。</p> <p>執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">74,170</td> <td style="text-align: right;">39,383</td> <td style="text-align: right;">53.10</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">80,219</td> <td style="text-align: right;">39,676</td> <td style="text-align: right;">49.46</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">154,389</td> <td style="text-align: right;">79,059</td> <td style="text-align: right;">51.21</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	74,170	39,383	53.10	女	80,219	39,676	49.46	合計	154,389	79,059	51.21
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	74,170	39,383	53.10																
女	80,219	39,676	49.46																
合計	154,389	79,059	51.21																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票所の環境整備に努める。																		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	379千円
事業内容	<p>本市の行政及び財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が地方自治法の主旨に沿ってなされているかを主眼に厳正、公平の態度保持と指導監査を第一義として、違法、不当行為の防止と事務事業の改善に資す。例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査等を行う。</p>		
成果・実績	<p>定期監査は、21課3室2事務局8館2校を抽出し実施した。 随時監査は、宇治市五ヶ庄線道路改良事業に伴う工事を抽出し実施した。 例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。 決算審査は、一般会計・7特別会計・公営企業会計及び基金運用状況について実施した。 住民監査請求による監査についても実施した。 健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。 このほか、先進地である福山市、姫路市への行政視察を実施した。また、全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の構成員として総会、研修会等に参加し、監査等の手法、内容の改善を図り、監査機能の充実、強化に努めた。</p>		
事業評価	<p>全国都市監査委員会総会や研修会への参加などによって監査機能の向上を図り、事務事業の指導監査を適正に行うことができた。今後も適正に実施する。</p>		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	261千円
事業内容	<p>地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の不服申立てや勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定等を行う。</p>		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回開催し、職員団体登録事項変更に伴う審査等を行った。また、臨時会を1回開催し、公平委員会規則の一部改正の議決を行った。 このほか、全国公平委員会連合会、同近畿支部及び京都府公平委員会連合会の構成員として、総会、事務研究会等に参加し、公平委員会業務の円滑な推進に努めた。</p>		
事業評価	<p>全国公平委員会連合会総会や研修会への参加などによって審査機能の向上を図り、適正に審査を行うことができた。今後も適正に実施する。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	49千円
事業内容	<p>地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税義務者からの審査申出について審査、決定する。</p>		
成果・実績	<p>審査申出はなかったものの委員会を6回開催した。宇治市固定資産評価要領により納税者への説明責任が十分果たせるよう、内容の見直しを市へ要請するための協議を行い、また審査に必要な知識を得るための相互研修を実施した。 このほか、審査委員会業務の円滑な推進のため、(一財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加した。</p>		
事業評価	<p>研修会への参加などによって固定資産税制度の現状と課題や審査委員会の運営について見識を深めることができた。今後も適正に実施する。</p>		

平成 2 5 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
その他

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	1,062千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、農業経営基盤強化措置特別会計事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>「農業委員会等に関する法律」に基づき、農業委員会総会を12回開催し、「農地法」に基づく農地の権利移動及び転用などについて審議を行うとともに、「租税特別措置法」に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認などについて審議を行った。</p> <p>また、各部会等の活動や研修会を開催し、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、農政活動においては、関係機関と連携しながら、農地の適正管理を呼びかけるとともに、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応や、加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	法に基づき、適正に農地行政経費の執行を行い、農地利用の審議や農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努める。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,212,209	2,648,190	在 庫 用 品	1,435,981	
4,787,791	7,075,540	預 金	2,287,749	
	2,023,697	未 収 金	2,023,697	
	1,699,000	未 払 金	1,699,000	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	13,446,427	小 計	13,446,427	6,000,000
		払 出 差 益	587,716	587,716
		受 取 利 息	1,033	1,033
		雑 利 益		
0	0	雑 損 失		
588,749	588,749	一 般 会 計 繰 出 金		
588,749	588,749	小 計	588,749	588,749
6,588,749	14,035,176	合 計	14,035,176	6,588,749